

2017	1	10～ 11	倉庫内を片付け中に、仮置きしていた鉄筋に引っかかり転倒、置いてあった角材に左背中を強打した。自力で歩行等は出来るものの痛みが酷く、背中側2番目の肋骨が骨折していることが分かり、全治1ヶ月程度にて安静が必要になった。	67	30309	2	30～ 49
2017	1	15～ 16	第1生産棟調合室において、一斗缶上部をV字カッターで開口させ、内部洗浄を行っていた際、手元を滑らせてしまい、缶の切り口部分で右手親指甲部を切傷した。	24	10805	8	50～ 99
2017	1	15～ 16	取り引き先の倉庫にて、アルミ板片付け作業中、足場用アルミ板に左手人差し指を挟んでケガをした。	21	30201	6	1～9
2017	1	8～9	当社工場にて鉄板（600×700×12mm、重さ約40kg）を両手で持ち、手をすべらせて、作業台と鋼板の間に右手親指を挟み負傷した。	33	11209	7	50～ 99
2017	1	14～ 15	工場内で搬入物の鉄パイプの束を台車にのせる際に、普段は腰の負担を考慮し屈伸して運ぶが他の搬入物もあった為そのスペースもなく、前屈の状態で運ぶことを強いられ、想定以上の負荷が腰に掛かって腰痛となり、悪化して椎間板ヘルニアとなった。	29	11209	19	30～ 49
2017	1	8～9	倉庫内にて発生、高さ3m、幅2m位の鉄パイプが積まれた上での作業で、移動する際に一番上のバラ置きされた鉄パイプの上に左足を乗せたところ、左足が滑り製品の間に落ちてしまい負傷した。	51	50101	1	10～ 29
2017	1	8～9	高さ3m、幅2m位の高さでの作業で、移動する際に一番上のバラのパイプに左足を乗せた所、左足が滑り製品の間に落ちてしまい負傷した。	51	170101	1	50～ 99
2017	1	16～ 17	カゴ台車に鋼杖を載せて移動していた時、勢いがついたためカゴ台車を止めて振り向いた。その際、自身の左側に置いてあった鋼材に左脇腹をぶつけて受傷した。	54	11209	3	50～ 99
		10～	資材を置くため、単管パイプ棚を作る作業中高さ80cmの棚からト				

2017	1	11	ラックの荷台上へ移動する際に足を滑らせて転倒、右肋骨及び右足を強打し負傷した。	54	30199	2	—
2017	1	11～12	会社内資材置き場にて、片付け作業を一人で行っていて、地上にある物を拾おうとしゃがみこんだ時に、立ててあったジャッキベース（鉄製、高さ35cm、直径約35mm程度）の上に誤って股間を強打し、尿道管を損傷した。	41	30209	3	—
2017	1	10～11	工場内にて、トイレに行くため急いで歩行中、工場内に置いてあったH鋼に不注意から、ぶつけてしまった。H鋼には、危険を指すため赤い布をマーキングのためにかけていたが、それ以後、突出しない事を、従業員に指示した。	37	11209	3	1～9
2017	1	11～12	馬房の修理作業中、馬小屋の窓の鉄格子にある釘を抜いた際、釘が勢い余って右目に当たり負傷した。	63	30209	4	—
2017	1	11～12	高所ガラス清掃の為、2段梯子を使用し、作業に取りかかる際、梯子の下の部分が滑り、補助要員も支えきれず、梯子に捉まった状態のまま滑り落ちた。	47	150101	2	100～299
2017	1	17～18	本社工場内に於いて、鋸盤で切断されたパイプをパレットより下ろす作業（10kg～20kg、10本位）をした後、左手が痛み出した。以前に靭帯の損傷をしており、同じ所が痛んだ。筋肉の方は完治しているので、数日間は左手を使わないようにとの診断を受けた。	18	11209	19	30～49
2017	1	15～16	店舗外構改修工事現場に於いて、架設鋼板撤去時に、重機で吊りあげる際に単管パイプが跳ね上がり、単管パイプと接触し、顔の頬と目蓋に受傷した。	39	30199	4	—
2017	1	14～15	金型工場内で金型を製作中に、ノックピンを引き抜こうとスライドハンマーで引き抜き作業中に、スライドインハンマーの先端が鼻に当たり鼻骨を骨折した。	29	11301	6	30～49
		10～	鉄筋出来形撮影用に準備中、鉄筋を結束線で（直立させるため）				100

2017	1	11	仮止めしていたところ、垂直にしようと引っ張ったところ、反対側の結束線が外れ、鉄筋がひしゃげて右背部に倒れ被災した。	45	30199	5	～ 299
2017	1	19～ 20	当社お客様倉庫内で、機枠の解体作業で重さ20kgの鉄製梁材を分解中棚枠の下側の連結部をしゃがんだ状態で確認中に、高さ約2.2mから梁材の片側が落下して、後頭部にぶつかり負傷した。	50	170209	4	—
2017	1	17～ 18	事業所敷地内でトラックから工具類の積み降ろしをしているとき、レールを荷台から降し、片付ける際、持っているレールと置く台の間に指を挟み受傷した。	43	30104	4	10～ 29
2017	1	9～ 10	ヤード内にて整備作業中、A支柱（14kg／本）を60本束に番線結束した束の番線を切った際、崩れたA支柱が右足甲にあたり負傷した。	67	80409	5	10～ 29
2017	1	16～ 17	事業所内作業場において、研削したステンレス製品をエアーで吹いた所、保護メガネを装着するのを忘れてしまったため、ステンレス切子片が右目に入り負傷した。	20	11301	4	30～ 49
2017	1	9～ 10	鉄骨加工場において、鉄製階段を作製中、高さ60cm程の高さより降りたところ、右足首に痛みを感じ負傷した。	63	11209	19	1～9
2017	1	16～ 17	工場内にて、コラムの開先取り機にて作業台に載せて、コラム（口・250×250×9）の開先を取る際、長さ約2.5Mの品物の移動のとき、品物が足（左）安全靴の金具の無い所にずり落ちた様である。なお、災害発生時は本人しかおらず、現認者がいなかった。	26	11209	4	10～ 29
2017	1	11～ 12	土場にてトラックに足場材を運んでいた際、材料と材料の間に右手小指が挟まり、圧迫されて、右手小指つめが剥がれ、骨にひびが入った。	23	30201	7	—
2017	1	18～ 19	弊社の資材置場で片づけ作業をしていた際、積み上げていた長さ3.6mの支柱の束に誤って左足のひざを強打した。痛みを感じながら作業していたが、痛みが増してきて、骨折していることが判明	29	30209	3	1～9

			した。				
2017	1	21～ 22	駐車場で看板の積み込みをしている時、鉄製の看板を誤って手を滑らせて足に落とし、右足小指を骨折した。	47	170201	4	—
2017	1	16～ 17	工場内で金型運搬後、作業台に金型を乗せる際に作業台と金型の間に手を挟み骨折した。	34	11502	7	10～ 29
2017	1	13～ 14	鋼材をクレーンにて移動中、下に置いてあった鋼材を跨ごうとした時に、安全靴（右足）が鋼材に引っかかり靴が脱げ、脱げた足が床に着いた時に、鉄くずを踏んでしまい負傷した。	61	11209	9	10～ 29
2017	1	12～ 13	店舗工場において、車両の変速機の交換作業中、足元を滑らせバランスを崩した事から、車両より取り外した変速機に誤って触れたため、左足すね部分に変速機が落下し受傷した。	41	80202	4	—
2017	1	9～ 10	現場作業所受入コンベヤにて、エプロン取付作業中、エプロンの両端を2人でそれぞれ持ち、所定箇所にセットしようとしたところ、片側がアタッチメントに乗らず落下し、もう一方の片持ち状態になった。その際、もう一方側を持っていた被災者の左手示指と中指が、隣に仮置していたエプロンとの間に挟まれ負傷した。	47	30309	4	—
2017	1	17～ 18	レーザー加工室で、加工台に鉄板をのせるため、鉄板の下に右手を入れて持ちあげる作業を行っていた際、すき間の確保が不十分であったため、鉄板と床の間に右手をはさまれた。	23	11209	7	10～ 29
2017	1	10～ 11	プレハブ事務所にて、トンボで地面のゴミ清掃中、床に落ちていたクギを踏み、右足かかとに刺さった（深さ3～4cm位）。	19	40301	9	30～ 49
2017	1	11～ 12	解体現場で鉄骨のガス切断中、誤って足の上に落としてしまった。	43	30209	4	1～9
2017	1	8～9	L型に加工した鋼製の角パイプ部品をグラインダー作業中、角パイプが転倒し、右足の内くるぶしから甲にかけて打撲した。	26	11301	5	10～ 29
2017	1	16～ 17	工場内にて製品パイプの検品中、高さ1.0m、長さ1.7mのパイプから誤って足をすべらせ落下し負傷した。	60	11209	1	1～9

2017	1	15~ 16	トラックに道具を積込中、被災者は荷台上のリン木を抜こうとして、リン木を持っていた。Aは鋼材を前方へ押そうとしていたが、Aと被災者の意思疎通ができておらず、Aが鋼材を押したところ、被災者はリン木と鉄のカゴの間に右手薬指を挟まれ負傷した。	30	40301	7	30~ 49
2017	1	9~ 10	被災者はボデー課において車両ドアの納付運搬作業中、いつものようにライン上で完成したドア（約15kg）を工程から取り出し、台車へ積み込む作業でドアを持ち上げた際、右肩付近に痛みを感じた。	44	11502	19	1000 ~ 9999
2017	1	16~ 17	作業場にて、普段より少し重い1.75kgの導波管を伸ばす作業をしている際、両足を踏ん張り、導波管を引っ張っている時に腰の周辺の筋を捻ってしまい、腰痛を引き起こした。	50	11109	19	100 ~ 299
2017	1	19~ 20	会社の敷地内で作業中、行き先が別の品物（材料、ステンレスのアンクル）約2m前後、50~60kgを分けようとした時、重なっていた材料が左足の上に落下し、左足親指を骨折した。	48	40301	4	30~ 49
2017	1	15~ 16	クレーンを使って荷下ろし中、鋼矢版の上を歩いていたところ、足を踏み外して転倒した。	40	11709	2	
2017	1	13~ 14	組立作業場で、バルブ付属の駆動部部品を木片の上に載せて検査をしている際、バランスをくずして部品が落ちてしまい指をはさんだ。	61	11301	4	50~ 99
2017	1	7~8	警備現場内1ゲートにおいて、敷き鉄板上を移動する際に転倒し、右足首を骨折した。	76	170201	2	100 ~ 299
2017	1	8~9	生コンクリート用砂利製造プラントで、ベルトコンベアー支持ピン（重量20kg）を取替中に、取替ピンを設置場所に一時預けていて、取替ピンがバランスを崩し落下し、ベルトコンベアー基礎の上に手を置いていた被災者の左手に落下し被災した。	48	30199	4	50~ 99

2017	1	16~ 17	工場内にて当社製品部品の交換のため金網張り作業中に、上網テンション用リング（重さ約10kg）を固定しているボルトの取り外しをした際、上網テンション用リングが落下し、シリンダーBrgケースとの間に指が挟まり負傷した。	34	11301	4	1~9
2017	1	10~ 11	裏手の少し狭い所で雨天時に外部足場の解体作業中、足場材（1500手摺）を受け取りした時、雨で材料を取り損ねて滑り、手摺のくさび部分が親指と人差し指の間を強打し、左手を5針縫う怪我をした。	36	30202	6	1~9
2017	1	9~ 10	取引先に、鉄屑を引き取りに行った。積み込み終了後、積荷が落下しないようにトラックの荷台の荷物を確認していたところ、鋭利な鉄屑の角で皮手袋ごと右手親指の腹を負傷した。そのまま帰社したが血が止まらず、痛みも強くなり、右手で物が握れなくなってしまった。皮手袋を着用して作業に当たっていたが、注意不足であった。	36	80109	8	30~ 49
2017	1	16~ 17	事業所工場内において、穴あけ機で鋼材（H型鋼、H300×300、長さ5m、重量450kg）に作業台上（高さ60cm）で穴あけ作業中、移動する時に躓き、2~3歩よろけてしまい、H型鋼を跨ぎ足を下したところがH型鋼の隙間だった為に倒れて負傷した。	65	11209	2	1~9
2017	1	11~ 12	鉄板をリフトのつめの奥に置き、ホームまで移動し、ホームにあげる為にリフトのつめの奥から先へ鉄板を動かそうとした際、鉄板がリフトから落下し、足の甲にあたり負傷した。	44	40301	4	30~ 49
2017	1	13~ 14	測量をする作業において、アスファルトに金づちで目印になる測量鉋（メジャーネイル胴部径5mm×頭部径9mm×長さ40mm）を打ち込んでいたところ、鉋の頭部が欠けて右目に飛び込み、受傷した（ヘルメット、安全靴着用）。	52	30309	4	1~9
2017	1	15~ 16	工場南棟の大型旋盤で舵の部品のラダーストック（鋼材）を旋削加工中、操作確認の為、操作盤のモニターに目をうつした為に加工物から削り出された切り屑が伸びてきている事に気付かず、長	39	11209	8	10~ 29

			い切り屑が左肘に当たり裂創を負った。				
2017	1	10～ 11	荷降ろし作業中、社員がリフトを運転してトラックの荷台にある荷物（H鋼140キ口）を引き揚げる作業を荷台上で確認していた。その際、社員がリフトに積まれたH鋼をトラック横に置いてあったパレットに載せようとしたが、リフトの爪がそのままでは抜けないため、被災者が荷台から降りてH鋼の右端を持ち上げ、リフトの爪が抜けやすいように手伝った。そのとき十分に持ち上げていない中でリフトをバックさせた為、リフトの爪がH鋼に引っかかり、H鋼がパレットから転げ落ち、被災者もバランスを崩してH鋼と地面に右手中指が挟まった。	45	40301	7	30～ 49
2017	1	9～ 10	第二工場の軸・パイプ切断場にて、フォークリフトの爪に乗せた3本のBCパイプ（Φ200×3,000）と緩衝用のリン木の間にはベルトリンクを通すため、爪の角度を下げたところ、パイプが落下し、バウンドして足に当たった。	56	11301	4	50～ 99
2017	1	7～8	社内の加工場で、トラックの荷台に前日の工事に出た板金屋根廃材を荷おろし中、左手の平を廃材に引っ掛けて負傷し、10針縫う大けがを負った。	43	30202	8	—
2017	1	11～ 12	営業所に到着し、ホーム着けの準備として事前にトラック荷台の扉（後部）を開けたとき、渡りの鉄板が足元に落下し、右足先の親指を骨折した。	28	40301	4	10～ 29
2017	1	9～ 10	裏ヤード原料置場にて、古紙圧縮機（1.2m×1.2m×8m）を3分割にする為、開口部の内壁両側横方向に取り付けている30Kレール3本を圧縮機内部に入り、2m付近の位置で上部数センチ残してガス切断後、底部をさらに切断中に、切断した左側レール3本がゆっくりと倒れてきて左足の上に乗った。倒れてきたレールは、開口部側に固定されていなかった為、倒れてきたと思われる。	68	11209	4	100 ～ 299
2017	1	19～	工場内で治具（19.5kg）を台の上に平らに仮置きし、両手で掴み持ち上げようとした時、手が滑り手前に落ちた。その際、手前に	38	11209	7	30～

		20	立てかけていた治具との間に指が挟まった。				49
2017	1	16~17	第二工場で、二段に重ねた上段の金属製パイプの束（Φ5cm×1m×24本）にベルトスリングを巻き付けていた。束の座りが悪いことに気付かず束に触れた時、上段の束が手前に崩れ落ち、左足を受傷した。	25	11202	5	30~49
2017	1	6~7	当社資材置き場にて、パイプ（塩ビ製、直径9cm、長さ4m、三本括り、重さ20kg）を車の出入りの邪魔にならない所へ2人で移動させ、地面に下ろし終わり、立ち上がろうとしたとき、腰が痛くて立てなくなった。	29	30209	19	1~9
2017	2	10~11	災害当日、被災者は木材パレットの解体作業中、解体した木材を一旦解体した木材を後ろに置いて作業していた。新たにパレットを解体していた時に、テコを利用して勢いがついてしまい後に仰け反った際、木材に刺さっている釘を左足かかとで踏んでしまった。	29	170101	9	100~299
2017	2	10~11	災害当日、被災者は木材パレットの解体作業中、解体した木材を釘が付いたままの状態後ろに置いて作業していた。新たにパレットを解体していた時に、テコを利用して勢いがついてしまい後に仰け反った際、木材を踏み、木材に刺さっている釘を左足かかとで踏んでしまった。	29	10809	9	30~49
2017	2	15~16	当社工場内に於いて、鉄骨加工作業中、一日中铁骨を持ち運んだため背中に痛みを感じ負傷した。当初は肉離れかと思っていたが、家に帰って動けなくなり、翌日は日曜だったので、その翌日に病院へ行き診察を受けた。	31	11009	19	1~9
2017	2	5~6	カニ籠漁業操業時、籠を巻き上げ中、ボンデンを引き上げるため、ドラムに瀬縄を掛けるところ、アンカー綱を掛けてしまい、勢いよく上がってきたアンカーが顔にぶつかり負傷した。	48	70201	4	1~9
			当事業所の鋼材倉庫内において、鋼材の荷降し作業を終え、鋼材				

2017	2	11~12	より降りる時（高さ1.5m）、雪で足を滑らせ片足が鋼材と鋼材の間（20cm）に入り、鋼材の端に尾?骨を打ちつけ負傷したものである。	56	11209	3	10~ 29
2017	2	11~12	1階倉庫で心電計の架台（重さ16kg）を組み立てている際、パーツ取り付けの為架台を裏返そうとして20cm程持ち上げたところ、腰部に激痛が走り動けなくなった。	37	80209	19	—
2017	2	10~11	工場外敷地内にて、H鋼を工場内から外へ移動作業中、H鋼（W150×L1500）47kgを2人で両端を持ち、H鋼を移動中、工場の外が雪で路面が凍結していた。H鋼を2人で移動中に被災者が雪で足が滑り、転倒した際に、持っていたH鋼が左膝側内腿に当たり負傷した。	20	11301	4	1~9
2017	2	10~11	自宅より徒歩5分程先の駐車場で縁石（車止め）に躓き転倒し、左足を骨折した。	28	80109	8	1~9
2017	2	12~13	材料をフライス盤で加工後、フライス盤から材料を外し、作業台から置く途中で手を滑らせ、加工面エッジ部で負傷した。	50	11301	8	1~9
2017	2	18~19	事業主の資材置場より、鉄スクラップをトラックで運搬している途中、サイドミラー越しに、荷台から鉄スクラップがはみ出ていることに気付いた。場所は公園運動場近くで、道路が駐車禁止ではないことを確認の上、その道路上でトラック荷台にのぼり、鉄スクラップを荷直ししている際、その鋭利な部分に触れ、右手を負傷した。	46	150103	8	1~9
2017	2	14~15	駐車場で、2トン車の荷台の中で、お客様より回収した不用品を整理中に、カーペットに付いていたピンを踏んでしまった。靴を履いていたが、足にまで、ピンが刺さってしまった。	21	150101	9	1~9
2017	2	14~15	E棟仕上げ作業場で仕上げ作業台の上でコラム材の反転作業をしている時、隣に置いてあったコラム材の仕口（H鋼）部分との間隔が狭く、反転しようとしたコラム材の仕口（H鋼）を持つ位置が悪く反転した時、持っていたコラム仕口と倒した側にあったコラム仕	19	11209	7	100 ~ 299

			口の中に左手人差し指を挟まれ負傷した。				
2017	2	14~15	内装解体工事において、天井補修を行っていたところ、天井ボード張り作業が終わり、脚立足場の足場板上（約750mm）から降りた際、床にコンクリート釘が残っていたため、左足親指付近に釘が刺さってしまった。	19	30209	9	—
2017	2	20~21	4Fシャワー室にて、クリーム充填機部品の洗浄作業中に、洗い終わった部品棒を立て掛けておいたところ、部品が倒れていってしまった。止めようと手を出したところ、重さに耐えられず、そのまま床まで部品が倒れてしまい、指を痛めた。（部品棒：長さ1.2m、重さ8kg程のステンレス製）	24	10104	3	100 ～ 299
2017	2	15~16	取引先でエアー配管工事中、加工した配管を手で縦に持ち、フォークリフトのパレットに乗って上昇していたら、配管が天井のクレーン形鋼に当たって、配管の直下にあった足を挟んでしまい、右足の親指と人差し指を骨折してしまう。	31	11209	7	10～ 29
2017	2	8~9	当社工場内のフライス機を使おうとして、盤上にあった鋳物をバリ取りしようとずらそうとして手元に引き寄せたところ、足がもつれ体勢が崩れて鋳物が盤上から作業者の手前にずり落ち、左下腿に触れながら落下して受傷した。	52	11009	4	10～ 29
2017	2	15~16	5番ホールのグリーン奥で、次のホールに向かいながらお客さんの方を見ていたところ、スプリンクラーに気付かずに右足が嵌り、右足首が外側に捻りながら転倒し負傷した。	23	140301	2	1～9
2017	2	10~11	アップライトピアノを搬出する作業の際、ピアノを台車（幅40～50cm）に乗せて、前後から2人で移動させ、ドアを通そうとしたが、ドア枠（幅90cm）にピアノが当たりそうになったため、台車の向きをずらそうとしたところ、台車が上手く動かず、ピアノだけが動いてしまい、ピアノに添えていた左手をドア枠との間に挟んで小指を骨折してしまった。	35	40301	7	10～ 29

2017	2	3~4	配達物の区分処理をしている際に、パレットに荷物を積んで扉を閉める際に右手中指を扉に挟んだ。	46	110101	7	500 ~ 999
2017	2	16~17	工場加工場内で切断機上部を歩行中にスリップ・転倒し尻餅をつき、その際に縦に向いていたD16の鉄筋が臀部に刺さり出血した。	39	11209	2	10~ 29
2017	2	16~17	荷主様の倉庫内で、トラックに荷台に製品のコイルを積み込もうとしている時、L型フックに積んであるコイルとL型フックの間に指を挟んでしまい負傷してしまった。	64	40301	7	1~9
2017	2	15~16	入居者の入浴後、洗濯物を干すためにリビングのカーテンレールに掛ける際、身長が低いのでリビングにある椅子に乗って掛けようとした際に、左足に加重がかかり「グギッ」と音がし、膝折れして立てなくなった。	61	130201	7	10~ 29
2017	2	11~12	現場地上にて、被災者以外の5名と共に屋根材吊治具トラス（L=5,500、100kg/本）を組立作業中、トラス接合部分のプレートに手を添えてしまい、接合時に、プレートとプレートの間で手を挟まれ、負傷した。	62	30209	7	—
2017	2	14~15	事業所にて、ベルトコンベアの銅線の仕分作業中に銅線が誤って左手中指に刺さり負傷したものである。	66	11109	8	10~ 29
2017	2	15~16	不燃間仕切りの引き戸を解体中、引き戸の三方枠の上部枠を取り外した際に、縦枠が倒れて頭部に当たり受傷してしまった。	40	30209	4	10~ 29
2017	2	18~19	当該工事現場の場内にて、ゲートの戸締りをしていた際に、場内の単管（地面に埋め込まれた切口がむき出しの状態）に体重がかかる状態で転んで倒れてしまい、右足を負傷してしまった。	46	170201	8	—
2017	2	8~9	自社倉庫内にて出荷作業中に材料の上（高さ1m位）から落ちそうになり左足踵から着地した際に負傷した。	43	80209	1	1~9
			当事業場内の作業場において翌日配送分の荷物をトラック（2t）				

2017	2	17~18	の荷台に積み込む作業を行っていた際、玄関ドア（幅約930mm×高さ約60mm×高さ約2330mm、重さ約50kg）を1人で持ち、積み込んでいた時、持ち手を変えようとしたためにバランスを崩してしまい、支えようと急に動いた時に、右足を着くところを誤りひねってしまい、右足関節靭帯損傷となってしまったものである。	38	80209	19	—
2017	2	9~10	取引先の工場内で、トラックの荷台からパイプ2~3本の束を受け取り、約10m離れた場所にある専用ラックまで運ぶ作業をしている時（5回目位）に、腰を痛めた。本人より、「腰から左足指先」まで、しびれを伴う痛さで、持病のヘルニアの症状だと思う」との報告を受けた。後日、医療機関に置いて「左膝蓋骨亜脱臼、左足関節炎」と診断されたため、上司が「腰を痛めたのではないか？」と確認したところ、本人が「腰ではなく膝」と主張し、労災であると主張している。	39	40301	19	10~ 29
2017	2	15~16	プレス機の金型の取りはずし作業中、はずした金型を載せる為にハンドリフトのツメをプレス機の高さに合わせて金型を手で押してプレス機からリフトのツメにスライドさせるように動かしていた時、金型の重みでリフトのツメが傾き金型を押さえていた手の方向に金型が滑りプレス機と金型との間に左手の中指が挟まってしまい負傷した。	55	11203	7	10~ 29
2017	2	15~16	プレス機の金型の取りはずし作業中、はずした金型を載せる為にハンドリフトのツメをプレス機の高さに合わせて金型を手で押してプレス機からリフトのツメにスライドさせるように動かしていた時、金型の重みでリフトのツメが傾き金型を押さえていた手の方向に金型が滑りプレス機と金型との間に左手の中指が挟まってしまい負傷した。	55	170101	7	10~ 29
2017	2	17~18	敷地内にて、高さ2mの足場板の上から資材を受け取る際に、受け取り損ねて、右手の甲に資材が当たり負傷した。	23	30201	4	10~ 29
			作業場において、セメントを練る機械の清掃の為、トラックの荷				

2017	2	11~12	台の上のパレットを使い機械を移動し清掃する準備をしていた際、足が隙間に引っ掛かり頭から落下しかけた為、自ら荷台から飛び降りる様な形で足から落下した。その際、地面に地ならし用の鉄板が敷いてあり着地した際、左足かかとを骨折した。	43	30209	3	1~9
2017	2	10~11	加工後の製品がスキットの中で傾いてたので二人で直している最中に膝の上に倒れたと思われる。誰もはっきりと見た者がいなかった。	37	11203	6	30~ 49
2017	2	15~16	工場内で廃材を片付け中に道路上に仮置きした廃材の上で足を滑らせバランスを崩し転倒した。	54	11209	2	1~9
2017	2	18~19	大型トラックの荷台に積んであった仕切板を他の大型トラックに移そうと荷台後部の観音扉を開けた。その際、観音扉に立て掛けてあった仕切板5枚と間に挟んであった鉄板（100cm×40cm）が、左足の甲の部分に落下し、受傷した。	49	40301	4	—
2017	2	16~17	第一工場のガス切り場で、酸素解体作業をしている時、円柱のタンク（高さ2m、重量500kg）を半分に切ったところ、切った部分が転がってぶつかってしまい、骨盤を座骨骨折した。	30	11009	6	10~ 29
2017	2	14~15	本人は、仕上工程でフォークのグラインダー作業をしていた。本人は、当日入社で午前中に受入教育を受け、午後から現場に配属され作業手順の指導を受けていた。災害発生時は職長がやって見せ、やらせるを交互に行い手順を指導していた。職長が他工程の異常処置に入った際に、本人は作業を継続し、フォークの姿勢変換をしようとした。右手でフォーク立上り部を持ち、フォークを左側に倒した。その際、左手を定盤上に置いていた為、フォーク立上り部と定盤の間に左手中指を挟んで受傷した。	29	11509	5	50~ 99
2017	2	11~12	溶接作業場で溶接作業後立ち上がり歩きかけた時床に置いてある鋼材に躓き足を挫いた。	46	11209	3	1~9
			当社工場内にて、金型置場の金型が、台木（鉄アングル）上で位置がずれていると感じたので金型（約150kg）を動かそうとした				10~

2017	2	19~20	時、金型が台木から外れて落下し、当人の右環指を金型と床とで挟まれた。	43	10805	7	29
2017	2	14~15	会社の工場内で鉄材料を手を持って運んでいる時に足元の材料に足がのってしまい転倒してしまった。	29	11209	2	1~9
2017	2	8~9	倉庫でパイプから継手はずしていた時工具（スパナ）が滑った為バランスが崩れ右足に体重がかかり負傷した。	51	170209	19	1~9
2017	2	10~11	工場の産業廃棄物置き場で廃棄物の移動作業中、鉄の板（グレーチング）が右脚の親指に落ちて骨折した。	31	10903	4	10~29
2017	2	9~10	3人で軽トラックの荷台に鉄くず（車ドア）を積み込んでいたところ、その積荷が予定外に傾きだし、それらに押される状態となった。その際に左足ふくらはぎを荷台あおりと鉄くずに挟まれて左足を受傷した。	67	11701	7	10~29
2017	2	15~16	倉庫内の棚として使用する部材をフォークリフトで倉庫内を運んでいた。その部材を地面に降ろす際に、部材が、フォークリフトのタイヤに接触し乗り上げてしまった。負傷者ともう1人の計2人で部材をタイヤより外したが、外したと同時に負傷者が尻もちをついてしまい、負傷者の脛に部材が落下した。部材は跳ねて再度負傷部分の左くるぶしに落下した。	22	11202	5	50~99
2017	2	14~15	立杭下部より地上部へH鋼をクレーンにて吊り上げ、トラック荷台に仮置きした際、H鋼に溶接止めしていた部材（溝型鋼）が外れ立杭下部に落下し、立杭下部で作業を再開していた被災者に当たり負傷した。	45	30102	4	1~9
2017	2	7~8	トレーラーに乗務し、配送先に到着後、荷台上で積荷（異形棒鋼）の荷卸し作業中、積荷の段差に足をとられて体勢を崩した際に、右脚を捻り、右膝関節を痛めた。	48	40301	19	30~49
2017	2	10~11	金型倉庫内で金型収納ラックのスライド棚を引き出す際、勢いよく引き出したため、置いていた金型が滑って移動して、棚のヘリ	20	10805	4	100~

			に添えていた右手に当たり、右手人差し指を負傷した。					299
2017	2	12~13	当社工場において、レザークロス製品の巻き取り作業中、次の巻き取り棒をセットしたが、少し位置がずれていた為、もう一度やり直そうとしたところ、機台の上に置いた、使用済みの鉄製の心棒（径3cm×1m×80cm、重さ6kg）に当たり、右足の上に落下し、その際右足親指を開放骨折した。	47	170209	4		30~ 49
2017	2	8~9	工場内で焼き付けした商品を冷却後、炉から工場長と2名で台車を用いて搬出作業中、重量があるため台車の移動がスムーズにいかず、持ち手を変えながら押していた時に誤って台車のコマに指を挟んだ。	69	11209	7		—
2017	2	15~16	第一工場において、縞鋼板を加工する作業中に、倒れてきた縞鋼板（4.5mm厚、1219×2438）4枚、約440kgと運搬用に駐車していた2tトラックの荷台に左腕を挟まれ骨折した。	22	11209	5		30~ 49
2017	2	13~14	店1階中央売場にて、売場作成の為に、2人体制で長台車に什器を載せ運搬していた。台車から什器を降ろす際に台車から出ていた釘に指が引っ掛かり負傷した。	22	80209	8		100 ~ 299
2017	2	9~10	工場内で部品の組み立て作業において、部品に金属バリが出ていたことに気付かず触れたため右手第5指辺りを負傷した。	65	11409	8		—
2017	2	14~15	当社貯鋳ヤードにて、スクラップのガス切断中に切断した鉄製スクラップ（幅90cm×長200cm）が倒れ、その下敷きになり、胸部を圧迫された。	53	11209	6		10~ 29
2017	2	14~15	当社倉庫前で、単管足場の組立部材の片付作業中、軽トラックの荷台からバケツに入れたクランプを降ろす時にジャッキベース（長さ60cm、幅4cm、重さ5kg位）がバケツに引っ掛かり落下し、左足に当たった。ひどく痛んだが、出血は無かったので当日は帰宅し湿布薬を貼付した。翌日は自宅で休養した。翌々日に病院へ行ったところ、左足小指の第一関節から指先部分で完全に骨折していた。	67	30309	4		1~9

2017	2	11~12	鉄工所の工場内でステンレスのリングを作る作業をしていたところ、鉄の軸の切れ端がからまったのでそれを取り除こうとしたところ、誤って右手の小指の先を切って負傷したものである。機械は停止していた。	32	11002	8	10~ 29
2017	2	17~18	工場内旋盤（NLX2500Y/1250）でワークの内径加工の段取り中、φ25内径のバイトでφ39下穴をX-2から加工している時、機械の扉を半開きにしていたことと、ワークの掴みしろが少なかったことにより爪からワークが外れ飛んできたワークが腰に当たり左の骨盤を骨折した。	28	11709	4	50~ 99
2017	2	9~10	商品積み込み時に6t車庫内のレールにジョルダーを差し込もうとしたところ、パレットに引っ掛かり、ジョルダーを落とし、支えていた左手がジョルダーとレールに挟まれてしまった。その後、痛みが引かない為、後日に検査を受けたところ、骨折が判明した。	43	40301	7	10~ 29
2017	2	11~12	ステンレス板をクレーンにて吊って運搬中、誤って落下させ、右足の上に落とし、骨折した。	35	11209	4	1~9
2017	2	16~17	工場内で運搬台車に立て掛けてあったステンレス鋼（重さ30kg）の板材を両手で上へ引き上げた際、右手首に痛みを感じ、その痛みがその後に継続した為、業務終了後に病院に行った。	29	170101	19	50~ 99
2017	2	16~17	工場内で運搬台車に立て掛けてあったステンレス鋼（重さ30kg）の板材を両手で上へ引き上げた際、右手首に痛みを感じ、その痛みがその後に継続した為、業務終了後に病院に行った。	29	11209	19	100 ~ 299
2017	2	11~12	当社倉庫内において、片付け中に釘が刺さった木片があり、右足に釘が刺さり負傷した。	28	30203	16	—
2017	2	9~10	ビルの鉄骨増築工事において、鉄骨ストックヤードで荷捌き中に、鉄骨梁と鉄骨梁のフランジ部に指を挟んでしまった。	39	30201	7	30~ 49
			切断製品に付着しているノロを、専用工具（カス取り）で除去作				

2017	2	16~17	業中、取りづらいので力を入れて自分の方向に工具を向けた状態でノコを除去しようとした際にノコが浮いた状態となり、細くどがった先端が左手にはめていた皮手袋を突き破って刺さった。	25	11209	7	50~ 99
2017	2	13~14	工場内船底骨組みサブ加工場において、引っ張り工具（レバーブロック1.5t）を使用して仮止め溶接した鉄板（約180kg）を引き起こしていた時、仮止め溶接が割れ、鉄板が被災者の方向に倒れかかってきて、鉄板についていた補強鉄板が左足に当たり内果部位を骨折負傷したものである。	28	11501	5	1~9
2017	2	14~15	当社敷地内において、資材の整理中の事故である。被災者が、鋼矢板（L=4m、240kg）を重ね置きするために倒したところ、吊り金具（シャックル）が外れないため鋼矢板の両耳にフックを引っ掛け、クレーンで50cm程度吊り上げ、鋼矢板の下に右手を差し込み、シャックルを外そうとした時に、両耳に引っ掛けていたフックの片方が外れて落下し、下の鋼矢板と落下した鋼矢板で右手を挟まれて、右手親指及び薬指を骨折した。	54	30199	7	30~ 49
2017	2	14~15	足場工事解体中、壁つなぎを外した時、手から滑らせて下に落ちた。その時に下で、部材整理をしていたので、当たりそうになり、「危ない！」と声を出したら上を向いてしまい、その時顔に壁つなぎが当たってしまった。	34	150101	4	30~ 49
2017	2	10~11	工場内で、完成したドライバックに塗装作業中、近くにあった金属の箱に圧縮して収納されていた帯状のドライが弾性により溢れ出し、足に絡まったので除去しようとして、右足脹脛を負傷した。	19	11702	8	10~ 29
2017	2	10~11	機械が材料切れにて停止したため、機械北側原線置き場に立て掛けてある次に伸線する原線（1tコイル径7mm）のメタルタグを確認後、原線の正面に背を向けた状態で傍らに止めていたリフトに乗ろうと振り返った時、原線が倒れてきて左足が下敷きになり被災した。	52	11209	5	100 ~ 299

2017	2	15~16	仕事中、鋼材に躓き転倒して左手指を捻挫した。	65	11209	2	10~ 29
2017	2	15~16	二人で長尺荷物を持って、棚の上に上げていた時、相手方が手を滑らせて、離してしまい、荷物を落下させたので被災者が支えきれなくて、自分の手の上に落としてしまい負傷した。	25	30209	4	—
2017	2	13~14	書棚を製作するため、作業台の上で溶接作業を行っていた。作業台の上で立ち上がろうとした際ふらついてバランスを崩し、製作していた鉄枠に手をついたが鉄枠が傾き作業台から鉄枠と共に落ち鉄枠に左足が挟まれた。	53	11502	2	1000 ~ 9999
2017	2	10~11	鉄筋籠（長さ9m、直径88cm）3本をトラックに積み、荷締めをしていた。鉄筋籠をしっかりと固定するため荷締めのワイヤーをずらそうと鉄筋籠の上を歩いたところ、鉄筋から足を踏み外し（鉄筋の幅縦287mm、横282mm）膝まで鉄筋籠の中に足を突っ込むと同時に転落しかけ、宙吊りになった。その際右足脛を骨折した。	63	30199	2	30~ 49
2017	2	15~16	ハウスの解体作業中に天井部分のパイプが下に落ちてきた。下で作業中の被災者の額をかすめて、10針縫う怪我を負った。	31	60101	4	1~9
2017	3	17~18	工場内でホイールローダーの元刃出しをするため、脚立の上に乗って元刃をガス切断していた。一気に切断すると熱で弓なりになってしまうため、中央部分を少し残して冷めてから残した部分を切ろうとしていたが、そのとき作業服に火の粉が飛び、そちらに気を取られ残す部分を切ってしまい、元刃が一気に外れ自分の方に飛んできて胸に当たり、脚立から落ちて負傷した。	68	11301	4	10~ 29
2017	3	13~14	資材置場にて足場材を積み上げて片付けていたところ、積み上げていたものが崩れてきて右手小指を挟んだ。	42	30209	5	10~ 29
2017	3	15~16	被災者は構内において、大型トラックの荷台より他の作業員と2人でリヤバンパーを下ろし、2人でリヤバンパーを持ちながら構内のゴミ捨て場所まで行き、2人でリヤバンパー（スチール製、重さ約30kg）を捨てたとき、被災者が体勢を崩し腰を痛めた。	56	40301	19	10~ 29

2017	3	10~11	道路を横断して側溝を布設する工事のため、路面に鉄板を敷いて、その下を掘削していたが、高さ・巾等を確認するために中に入る際（鉄板の下をくぐろうとした際）に、鉄板に左肩をぶつけて負傷した。	19	30199	3	1~9
2017	3	11~12	鉄筋コンクリートの橋台を作る工事現場で橋台上部（地上約15m）の壁の鉄筋を組立作業中に、次の作業の段取りを行うため、内部足場から対面の足場へ移動するとき、外周の足場通路を移動せず、近道をし不安定な鉄筋の上を移動中、横筋に足を掛けたところ、横筋がはずれ体勢を崩し転倒した。その際、左大腿部に縦筋Φ16が刺さった。	50	30105	3	50~99
2017	3	11~12	会社工場内において、残土を入れる鉄製型枠容器を製造するため、鉄板（長さ3.1m×巾.52m×厚さ4.5mmの三角板、重さ約80kg）を加工中、持ち上げて位置を変えようとしたところ、誤って手が滑り、左手の指を挟み負傷した。	64	11209	7	10~29
2017	3	18~19	車検の整備工場内で車両整備のため、工具を使用しエンジン側面のボルトを外す作業中、狭いところに無理な体勢で手を入れようとしたため、右手首を捻り捻挫した。	23	11701	19	30~49
2017	3	16~17	改修工事で使用するスチール足場板（長さ3600mm）をトラックの荷台に積み込み作業中、25枚重ねた足場板を荷台の上で整えていたとき、1枚の足場板が滑り落ちてきて、それと一緒に荷台（高さ約1m）から後ろ向きに転落し、左腰部を受傷した。	67	30309	1	1~9
2017	3	13~14	金属類端材置場において、端材（両型ステンレス+1.5,1,200×300mm、重さ約3kg）を箱（1,800×900×1,000mm）に入れる際、端材の内側穴端部に右手示指が引っかかって示指表面を切り、示指第一から第二関節にかけて皮膚表面を欠損した。	43	11203	8	30~49
2017	3	11~12	型枠部材を反転時、型枠部材を安全靴の間に左人差し指を挟み切	36	10901	7	50~

			創を負った。				99
2017	3	9~10	ラフタークレーンの溶接・組立て作業をフレームの上で行っていたところ、別の作業に移る際に足を踏み外して転落し、左胸部を強打し、肋骨を骨折した。	35	11301	1	1~9
2017	3	16~17	被災者は、リニューアル工事現場において、足場解体作業中に足場資材（ブラケット）を取り損ねてしまい、資材が顔面に当たり、鼻とあごを骨折した。	22	30309	6	1~9
2017	3	15~16	事務所の資材置場でトラックへの積み込み作業中に、抱えていた部材（足場の材料）のうち的一本がスルッと抜け落ち、靴の上から左足の親指を直撃し、親指の第一関節辺り、爪の上辺りから切れて出血した。	27	30309	4	1~9
2017	3	7~8	残土の積み込みをする2tダンプを誘導していたところ、足元の鉄板がユンボの移動によりずれてしまい、両足にのってしまったため、右足の踵と左足の指を骨折した。	61	30309	6	1~9
2017	3	16~17	入社以来、プレス機による鉄板の加工作業に従事していた。主に7~8kgほど（重い物では15kg）の鉄板をプレス機に置き、プレスされた製品をプレス機から取り出して箱に入れる作業を繰り返していた。1日に2,000回程度この作業をしていたところ、だんだん腰が痛くなった。	29	11301	19	30~49
2017	3	6~7	野菜下処理室にて、排水弁の蓋を閉めようとした際に足で閉めようとして滑って転倒した。	62	10109	2	500~999
2017	3	11~12	自社工場内でコンクリート製品用の鋼製型枠を取り外す際に、鋼製型枠の一部（幅70cm、高さ70cm、厚さ10cm）を倒して備え付けの台（高さ40cm）の上に載せる作業がある。今回はその備え付けの台の上に誤って左足を乗せて作業してしまい、倒した型枠と台の間に左足甲を挟み負傷した。	24	10901	7	30~49

2017	3	15~16	週に2回程度、シリンダーヘッドの全数検査業務があり、当日の検査作業を開始して間もなくシリンダーヘッド（約13kg）を持ち上げた瞬間、背中に痛みを感じたのでその日は早退をし安静にしていたが、翌日になっても痛みがとれず、胸椎・腰椎捻挫と診断された。	19	11701	19	~	500 999
2017	3	15~16	KDライン・ミキシングロールからウォーミングロールへコンパウンド搬送するコンベアーを使用する際、切り出しナイフを上下調整する取っ手付きの重りをセットしたが、しっかりはまっていなかったため重りが左足の上に落下し、左小指を骨折した。	31	10204	4	~	100 299
2017	3	14~15	リサイクルセンター構内にて、金属の仕分け作業中に廃棄物の中に混入していた強力な磁石に指を挟まれ負傷した。	69	80109	7	10~	29
2017	3	9~10	開店前清掃中、椅子を運ぶ作業をしていたところ前方が見えにくい状況であったため、足元の突起部分に気づかずつまずいて転倒した。その際に右手首から転倒し、運んでいた椅子が右手首に落ちてきたため骨折した。	73	150101	2	30~	49
2017	3	14~15	外壁塗装工事において、仮設足場の撤去作業中、昇降用階段資材をトラックに積み込む際、右手で昇降用階段資材の下を持ち、トラック荷台に降ろしたところ、誤って昇降用階段資材のササラ桁と、既に積み込んであった昇降用階段資材との間に右手小指先端を挟み、負傷した。	42	30209	7	50~	99
2017	3	14~15	本社倉庫前の駐車場において、建築現場に向かうため倉庫からトラックへ道具や資材を積み込んでいたところ、立てかけてあった鋼材が倒れてきて左足に直撃し、左親指の付け根を骨折した。	62	30203	5	1~9	
2017	3	14~15	道路工事現場にて片側交互通誘導業務中、通行中の自転車に対し一時停止を求めたところ、前かごに乗せていた金属製の杖でいきなり殴りかかってきた。とっさに右腕で顔をかばった際に右腕を強打されるとともに杖で押されて転倒し被災した。相手はそのまま走り去ってしまったため不明である（被害届提出済）。	58	170201	99	~	100 299

2017	3	21~22	会社の資材置場にて資材の整理中に、資材（ブラケット10本、約20kg）を右手で持ち上げた際に、バキッと音がして右肩に急激な痛みがはしり負傷した。	24	30209	19	—
2017	3	20~21	試し用材料をプレスするため隣に移動させようと向かい合い2人で上げようとしたところ、腰を痛めた。当初はあまり痛くなかったため通常どおり仕事をしたが、夜に痛みが出てきた。	35	11209	19	10~29
2017	3	9~10	会社の倉庫で資材の整理をしているときに電線につまづき転倒した。	25	30301	2	1~9
2017	3	16~17	現場が終わり、事務所の置き場に戻ってきて片付け作業をしているとき、足元に転がっていた鉄筋に気がつかず、右足裏の真ん中あたりを踏み抜いた。	28	30309	9	1~9
2017	3	11~12	倉庫にて、鉄骨をトラックの荷台に積んでいたところ、鉄骨と鉄骨の間に右手人差し指を挟んでしまい、右手人差し指を負傷した。	47	30302	7	1~9
2017	3	15~16	会社工場の前にて、トラックの荷台に積んであるチャンネル（鉄製溝形鋼、長さ1.5m、重量約20kg）を降ろす作業をしていたところ、手が滑ってチャンネルを右足の甲に落としてしまい、右足の中指を負傷した。	61	11209	4	1~9
2017	3	12~13	派遣先工場内において、プレス設備で容器に入っている材料を持ち上げ、別の専用容器に材料を入れる作業を繰り返し行い、腰部を負傷した。	55	170101	19	500~999
2017	3	16~17	工場南面塗装工事にて足場をかけている際、足場材を立てて持ったときに右腕にズキッと痛みを感じた。	66	30209	19	1~9
2017	3	14~15	銅製部品（約縦50cm・横60cm・幅27cm、25kg位）を1m50cm位の台の上に置こうとしたところ、誤って落としてしまい右足甲を負傷した。	41	11203	4	1~9
			派遣労働者である本人は、就業場所であるプレス設備の近くで、				

2017	3	17~18	容器に入っている1個当たり約1kg以下の材料5~10枚くらいを持ち上げ、別の専用容器に移し替える作業（以前から行われている標準作業）に従事していたが、仕事を休むようになり、後日に本人から、当該作業により腰部を負傷したと連絡を受けた。	55	11502	19	~ 299
2017	3	0~1	建築現場で、束ねた軽量材（アルミ数本、棒状）を持ち上げて上の階へ上げる際、結束バンドがはずれて軽量材が顔にあたり受傷した。	29	30209	3	1~9
2017	3	14~15	ヤード内にて整備作業中、A支柱（14kg/本）を1本運搬し、部材の上に置く際に部材を倒し、右手親指を挟み負傷した。	64	80409	5	10~ 29
2017	3	11~12	資材置場にて業者より納入された鋼材（総重量1115kg）をトラックから荷下ろし後、フォークリフトで移動する為鋼材の下に角材を入れようとした。その時、フォークリフトの爪の上に左足を踏み入れてしまい、その瞬間に鋼材が足のほうへ滑り、フォークリフトと鋼材に左足を挟まれ、左足の内側くるぶしの上を骨折した。	59	11301	5	300 ~ 499
2017	3	10~11	外壁張替工事（当社元受け）現場において、先輩社員が下屋屋根に上がり剥がした外壁材（アタン）を地上で待つ被災労働者に渡す作業中、二人のタイミングが合わず、外壁材を受け取った際に手の中で滑り、材料端部分（切り口）で左手拇指と示指の間の指間膜を切った。	16	30209	8	10~ 29
2017	3	9~10	本社構内で丸輪っか形状のステンレスを切断中に、輪っかが安全に切断された瞬間、切断された部分が外にはね返り、はね返った部分が被災者の足にかすり足が切れた。（プラズマ溶接にて切断中）	34	80109	4	30~ 49
2017	3	11~12	構内で溶接ワイヤーの交換中、手がすべり溶接ワイヤー（20kg）が高さ約1mから落ち、左足の親指を負傷した（安全靴着用）。	22	11209	4	10~ 29
2017	3	14~15	当社工場内で機械の清掃中に、ニトローブ（ニトリロゴム）手袋で切り屑をつかみ、右手人差し指第2関節辺を切ってしまった。	34	11509	8	10~ 29

2017	3	11~12	当社第2工場内計量場において、改善活動で計量器の風よけ防止の為の鉄板を計量器が置かれている作業台の端に取り付けようとし、手袋をして鉄板（約6.3kg）を持ち上げていたところ、鉄板が手製から滑り落ち、足元の安全靴のカバーの端から少しずれた位置に鉄板の角が落下し、左足小指の付け根付近を骨折した。	58	11502	4	50~ 99
2017	3	15~16	本社工場内で、箱の中に入っている鉄屑をクレーンの下へ出している作業中、箱の中に古い機械が入っていたので取り出そうとしたところ、その機械に切りカスがついていたため、指を切り出血した。	66	150102	8	10~ 29
2017	3	7~8	土間コンクリート解体工事に着手する為、被災者は車庫にて0.15?級バックホウに取り付けるコンクリート解体用ブレーカーアタッチメント（100kg）を2tダンプトラックに積み込む作業をしていたとき、吊荷が荷台床より低い位置にあったため、ブレーカーを人力で持ち上げてブレーカーの先端を荷台に乗せた際、荷台とブレーカーの間に左手薬指を挟み負傷した。	43	30106	7	1~9
2017	3	14~15	工場内の仕上馬において、仕上げた製品を持ち上げて、他の製品の上に載せようとしたがバランスを崩して載せきれず、下にあった製品と持っている製品の間に右手中指を挟み負傷した。	25	11002	7	10~ 29
2017	3	18~19	足場製品の3.6メートルの支柱（13kg）を2本手で持ち、トラックに積み込み中、すでに積み込んであった支柱の上に先ず左側をトラックの上に置き、右側を置いて積み込もうとしていた時、一本が手から離れてしまい、積み込んであった支柱のコマと手から落ちてしまった支柱のコマに右手示指先を挟み骨折した。	25	30209	7	1~9
2017	3	11~12	作業場で部品の締め付けを行う際に、部品を安定させようと左腕で丸い部品を抱き、右手で締め付け、圧力をかけたところ肋骨が折れた。	44	11209	19	50~ 99
			第二工場にて商品引き取り時、工場2階より金網加工品（約500				

2017	3	11~12	kg) を吊り下ろしのため荷造りベルトを掛け乗せる際に、ベルトの引っ掛け元がゆるみ出したためベルトがはずれ、金網加工品と樫木の間左手第二指第一関節と第二関節の間を挟み骨折した。	56	11209	7	10~ 29
2017	3	14~15	積込現場で荷積を終了し、ラッシングベルトで銅の丸棒を個縛しようとしていた時、ベルトを引いた反動で丸棒が1本転がり地面に落花し、右足の甲に当たり打撲した。	58	40301	4	30~ 49
2017	3	3~4	スリット加工にて、母材のTOPから約1mの位置を2名で持ち上げ、テンションリールの上部へ誘導していたとき、1名は母材の先端がテンションリールにあたると同時に手を放したが、もう1名は手を放すのが遅れ、製品とスロープの間に右手中指を挟まれ被災した。	19	11009	7	50~ 99
2017	3	16~17	中庭作業場横にて、オイルパンに入った水を出す為に鉄板をひっくり返そうとし、鉄板を支えていたときに誤って手をすべらせ、左足に落ち負傷した。	20	11209	4	30~ 49
2017	3	16~17	鉄骨造倉庫の解体作業中にブレスの丸鋼をガス切断中、切断したブレスが落下し、右足の第1指と第1指の付根に接触し火傷した。	44	30309	11	10~ 29
2017	3	16~17	工場1階フロアにおいて、品物をクレーンで移動させようとした際、品物をフックにかけるため挟もうとしていたが、クラブごとはずれてしまい足元に落ち、左足を負傷した。	50	11209	4	1~9
2017	3	12~13	廃棄する鉄板を2階から1階に移動し、コンクリートの地面に下ろすときに呼吸が合わず、左手中指先端を挟み負傷する。	38	150109	7	30~ 49
2017	3	10~11	資材置場（当社）の解体作業中、重機で解体した鉄骨が足元に落下し、右足第一指粉碎骨折・第二指骨折を負った。	47	30106	4	10~ 29
2017	3	16~17	木材伐出の作業、終了後に片付けの為にトラックに鉄骨を積んでいた所、高さ50cm位から鉄骨が落下して右手の甲にあたり負傷した。	48	60201	4	1~9
			現場へ向かう途中、トラックを運転している時に腰に痛みが出て				

2017	3	16~17	動けなくなった。また、工場内で30~40kgの屋根材を中腰のまま両手を持ち上げて後方に振り返った際、急いでいたため勢い余ってバランスを崩し、腰を捻ってしまい腰痛を発症した。	28	11209	19	1~9
2017	3	16~17	当社工場内にて金物加工をしているとき、金物に油が付着していたため、作業台より移動させる際に手が滑り、金物が足に落下した。	73	11209	4	10~29
2017	3	13~14	当社車庫兼資材置場にて鉄骨の荷おろし中、鉄骨に軽く左手薬指がひっかかり負傷した。	55	50101	3	1~9
2017	3	9~10	水道配水管埋設工事現場で、ダンプに積載された土留材をバックホウにて吊り降ろしする作業中、オペレーターの指差呼称、周囲の確認不足、及び被災者の足元確認、土留材が転倒するかもしれないという予知不足により、手前の土留材を吊り上げた後、奥の土留材に玉掛ワイヤーをセットしようとして移動した際、突然土留材が転倒し、被災者の右足首が挟まれた。	53	30110	5	10~29
2017	3	16~17	当社、整備工場内にて、昇降用のアングル加工作業中、アングル（L字型の鋼材:縦5×横5×長さ88cm）を床に置き、ハンマーで先端切り込み部の曲げ加工をするため殴打していた。その際、殴打の衝撃でアングルが跳ね上がり、先端の鋭利な切断面が被災者の左手薬指に当たり、先端部分を負傷した。	55	50101	4	50~99
2017	3	13~14	当社作業場にて、船からの揚荷を船内作業中に、オープンコンテナ（2400×600×1500）にフックを掛けて、荷物（角パイプ）を足場にして下りようとして地上に足をつけた時、下に敷き詰めてあった平鋼で足を滑らせて転倒し、右手で支えようとして右手を強打し捻挫した。	37	50201	2	10~29
2017	3	14~15	当社工場内にて一人でパイプを製作中、これを移動させようとしたときに誤ってパイプを足の上に落とし負傷した。	48	11209	4	30~49
			停泊中の船舶をドックに上架作業途中に、船舶の位置決め案内・鉄パイプ（約6m）を取り外す作業を複数（約10名）で行って				

2017	3	10~11	いた。災害発生時、被災者は当該物の固定ピンを抜いた時に落ちないように支える作業に就いていた。他の作業員が当該物の固定ピンを外した時、当該物が被災者の予想外の重量であった為、支えきれず落としてしまい、右足を負傷した。	27	11509	4	10~ 29
2017	3	11~12	当社敷地内に於いて、リサイクル回収した物品を軽トラックから荷降ろし作業をする為、荷台のあおりを開いた際、ベットマットに隠れていたダンベルプレート5kgが軽トラックの荷台床面（約高さ650cm程度）から落下し、左足に直撃し左足つま先を負傷した。	42	80209	4	10~ 29
2017	3	15~16	当事業所の資材置場で資材を片付中に、被覆付銅管を整理していたときに資材の上にあがっていた為、その資材がずれてバランスを崩し、足元がぐらつき右手首を負傷した。	43	30301	1	10~ 29
2017	3	11~12	会社の倉庫を片付中、アタッチメントのピンを左足の甲の上に落とした。	37	30201	4	10~ 29
2017	3	13~14	旋盤でステンレスの材料を切削中、出てきたキリコを取り除こうと左手で引っ張ったところ、キリコで左手の人差し指と中指を切った。	65	11301	8	10~ 29
2017	3	11~12	プレス作業場で、200tプレス機で角パイプの穴開け作業中に、角パイプの穴部にプレスの切り枝が詰まったため、タガネで叩いて取り除く作業をしていた際に、保護めがねを装着していなかったため、一部はがれて跳ね返った鉄片が眼に入り負傷した。	22	11209	4	50~ 99
2017	3	15~16	工場打設機内を掃除をしていた時、床の蓋（鉄板）を整えようとして（蓋は数枚ある）、持ち上げた蓋に隣の蓋が引っ掛かっていて、引っ掛かった隣の蓋を足の上に落として負傷した。	33	10901	6	50~ 99
2017	3	14~15	工場G棟の鋼板棚にて、斜めに立てかけてあった t 16×1500×2000の鋼板を、イーグルクランプで挟み吊り上げようとしたところ、その板の前に不安定に立てかけてあった約170kgの	57	11301	5	100 ~

			鋼板 (t22×640×1500) が動き、左足に倒れ掛かったため右手で 支えようとしたが支えきれず、地面との間に左足を挟まれ、足首 を骨折した。					299
2017	3	14~15	事業所工場内にて、金型組立を分解中、金型を動かした際に左手 薬指を裂傷した。	67	11209	7	1~9	
2017	3	9~10	屋根工事の登板金取付時、棟際に押さえを差し込むのに両手の力 をいれ、バランスがくずれ、薄いビニール手袋着用のため右親指 を裂傷する。	38	30202	8	10~ 29	
2017	3	14~15	会社資材置き場の片付け作業で出たゴミを、ダンプカーでゴミ処 理業者の敷地に運搬し、そのゴミをおろす作業中に、ゴミがダン プカーから落ちにくかったため、ダンプ荷台後部の錠を外そうと し、誤って鋼板を左足に落としてしまった。	41	30199	4	1~9	
2017	3	15~16	仕事の資材や道具を保管してある倉庫にて、使い終わった塗料の 入っていた丸い空カン (20×20cm) を道具を使って踏み潰そうと した時、空カンが横にずれ、本人もバランスを崩して右方向に倒 れ、右肘関節を脱臼した。	36	30209	19	1~9	
2017	3	19~20	海上コンテナから荷物をトラックに荷台に積み込む作業を行って いた。積み込み作業終了後、トラックの扉を閉めた後に、ラッシ ング (荷物を固定する物) を取ろうと扉を開いたところ、ラッシ ングカバー2本が倒れてきて、頭部及び顔面左側に当たり怪我をし た。	40	40301	4	50~ 99	
2017	3	15~16	当該来船より揚げ荷であるC型銅の揚げ荷作業を行っていた際、 デッキマン (作業主任者) が巻き上げる為に地切りを行ったとこ ろ、移動式クレーンのジグが起こし気味だった為、船内の壁側で 作業をしていた作業員2名の方へ向かい、退避したが1名が船内の 壁とC型銅の間に右足を挟み負傷した。	65	50201	6	100 ~ 299	
2017	4	10~	足場を解体中、1段目の足場板に2本立てかけようとした時に、そ のうちの1本 (H3600) が足場が揺れて倒れかけたので押さえよう	28	30202	7	1~9	

		11	とし、左小指が支柱にはさまり怪我をした。				
2017	4	8～9	土場にて解体作業の金物を片付け中、誤って手を滑らせ厚さ5cm程度の鉄板に左手薬指を挟み、安全手袋を履いていたが左手薬指先端（第一関節から上）を負傷した。	75	150103	7	1～9
2017	4	16～17	清掃作業中、側溝の鉄格子（40kg）を取り外している際、本人の足の上に落としてしまい、左足親指を骨折した。	50	170101	4	50～99
2017	4	14～15	作業所南面外部仮設足場で足場組立の為、仮設材（プレス2本）を荷上げ作業中、プレス（3.7kg、1952mm）が足場8段目（GL+13.9m）からプレスを握り損ない、プレス1本を落下させた。その際、足場2段目（GL+3.5m）にいた被災者の左頸部にプレスの先があたった。	22	30209	4	30～49
2017	4	18～19	排水口の中を清掃後、外していたグレーチングを元に戻そうとして右手から離れた時に誤って左手中指をグレーチングと床の間に挟んでしまった。	23	170101	7	10～29
2017	4	17～18	派遣先の製造部組立課前工程にて、配線切断機から切断済みの配線を取り、手で巻き取る作業をしていた際、作業指示通りに作業していたが生産量が多かった為、巻き取る速度を速めていた。そのため勢い余って配線が跳ね上がり、左目眼球を損傷した。	48	170101	4	100～299
2017	4	9～10	倉庫のラック内にて、材料（鋼管12m結束）の取り出し時に玉掛けをして吊り上げたところ、結束間に隙間が生じたので、避難のため隣のトラックへ移ろうとした際に、防錆式油で足が滑り隙間に右足を滑らせた。その衝撃で隣の鋼管（12m10本の結束）が足の上に倒れ、足が挟まり負傷した。	51	80209	7	1～9
2017	4	10～	当社メッキ加工作業場内にて（メッキ加工最終工程）、水洗い後、メッキ付着量を計量するため、台秤で測定しようとした際に発生した。クレーンで吊った状態から安定した状態（前倒しして平にする）で測定するため、手前に倒そうとしたとき、なまし鉄	67	11209	5	1～9

		11	線1本で吊っていた鉄板重ね8枚（1000mm×1300mm×450mm重量470kg）が倒れ、作業員右足を圧迫し負傷した。原因は、加工製品の重量に対するなまし鉄線の選定と使用状況、および作業員数を増やすなどの状況判断の甘さにある。				
2017	4	8～9	被災者は、第1工場内の電気集塵機改修工事現場にて、集塵機内部の部品を取りはずす作業中に、部品を支えていた手がすべり、左手を部品と集塵機ケースの間にはさみ被災した。	43	30302	7	1～9
2017	4	11～12	溶解炉の下で脚立を押える作業時に、上部でスレート屋根材を撤去作業中だったが、下方での作業報告をせずに作業をしていた結果、上から物が落ちて来て肩と首に当たった。	44	30201	4	10～29
2017	4	15～16	工場内で2人1組で作業台にあったH型鋼を手でゆっくり一回転させる作業をしようとしていた。かけ声をかけ2人同時に動かしたあと、手を離さなければいけなかったのにそのまま離さなかったため、当人に鉄が傾き、作業台との間に指を挟んで骨折した。	18	11209	7	30～49
2017	4	18～19	資材置場新設工事の現場において、地面に置いた単管パイプを取ろうとした際に誤って単管パイプを踏んでしまい、転倒したときに左膝を強く打ちつけた。	30	30209	2	1～9
2017	4	13～14	当社工場内において、新300tプレス機のインナーボディの金型を作業台からハンドリフターに載せる作業中、2人で金型をずらしながらハンドリフターの爪先に金型の端部を載せ、更に金型をリフターの方へ押し込んだところリフターが後進して作業台とリフターの間隙が生じ、その隙間に金型が落ち、金型を押さえていた右手が金型と作業台の間に挟まれた。	24	11203	7	100～299
2017	4	15～16	9番ホールのフェアウェイにて、飛んで来たボールが左足小指付根にあたった。痛みがあまりなかったのでキャディ業務を継続したところ、痛みが増し、左足小指にヒビが入っていると判明した。	56	140301	4	50～99
			塗装場にて1人で立て掛けてあった扉の枚数を確認していた所、4				

2017	4	13～ 14	枚目の扉を立てたため支えきれなくなり、扉が倒れて下敷きになった。	29	11209	5	10～ 29
2017	4	12～ 13	積込場所で鉄骨荷物を積む際に崩れそうになり、とっさに右手で押さえようとした際に負傷した。	55	40301	5	10～ 29
2017	4	14～ 15	当社屋外作業場に於いて製氷用製品のメッキ後の仕上作業をする為、高さ2mに吊り上げていた3基を地上に置き、1基を取り出そうとした際に手前に転倒し、支えようと右手を出したときに製品と地面にはさまれた。（製品：長4850mm、幅620mm、高150mm、重さ250kg）	42	11204	4	10～ 29
2017	4	6～7	20kg×3枚重ねの鉄板を一度に持ち上げた時、重さに耐えられず鉄板を落としてしまい、その鉄板が右足の甲を直撃した。	32	11203	4	10～ 29
2017	4	15～ 16	バックルームにてキャベツを1/2にカットしている際、手を滑らせてしまい、左手掌の小指付け根付近を切った。	57	80201	8	10～ 29
2017	4	14～ 15	下水道管理設工事中において、山留め材（矢板）を地上から地下3mへおろす作業で、地上の作業員と地下の被災者とのタイミングが合わず、矢板が被災者の肩から胸に直撃した。	59	30110	6	10～ 29
2017	4	9～ 10	会社工場内の製品置き場において整理整頓作業中、出荷用に積んであったH鋼の製品が目に入らず、そこに製品がないものと勘違いして前に進み出たとき、H鋼の角の部分で右胸を強打して負傷した。当初は痛みをこらえて早退し自宅療養していたが、痛みがひどくなった。	65	11204	3	30～ 49
2017	4	11～ 12	納品先で従業員と二人で荷物を降ろすときに、相手方が手を滑らして品物が自分に跳ねかえり、それを避けようとして転倒した時に足が捻れ、左足くるぶしから踵にかけて腫れ、内出血が続く状態となった。	51	11009	2	1～9
2017	4	11～ 12	被災者は、同僚と上階へLGS材の差し上げ作業をしていたとき、1階でLGS材を持ち上げ、振り回す際に左足にぶつけ被災した。	22	30309	4	1～9

2017	4	10～ 11	調理場で朝の仕込み作業中、作業スペースを増やすためシンク上部にふたとして置いていた鉄板を、作業が終了したので元の場所に戻そうと持ち上げた際に手が滑り、鉄板が足の上に落ちた。	70	140201	4	500 ～ 999
2017	4	14～ 15	トラックから長さ約3Mの鉄パイプを降ろしている際に手が滑って落とし、近くでしゃがんで作業をしていた当事者の左首から上半身に当たり、両部全体を負傷した。	56	11209	4	1～9
2017	4	16～ 17	鉄板の荷下ろし作業中、50枚くらい積み重ねてある一番上に置く際に鉄板が滑り落下し、親指を挟んでしまった。	39	40301	4	10～ 29
2017	4	9～ 10	出荷製品（バラ）を作成中に、作成している製品（バラ）を積み込むトレーラーが入庫したタイミングで出荷製品（バラ）の作成ミスが発生したため、慌ててミスの発生した製品の対処に向かう際、製品上から転落してしまった。第二工場内（製品置場）において、出荷製品の準備作業中に梱包された製品を注文で指定された本数へ組み直す。作成ミスが発生（出荷品と在庫品を逆に梱包してしまった）したため、製品の上面を移動しながら、目的の製品の上面に到着予定。長さ9Mの製品上から長さ7Mの製品上へ移動するつもりが9Mよりも2M短い事に気付く事が遅れ転落してしまった。	32	11209	1	30～ 49
2017	4	18～ 19	トラック荷台から荷物を降ろす作業中にバランスを崩し、腰痛があったために踏ん張れず荷台（高さ約1m）より転落し、左手・肩・頭部を打撲した。	60	40301	1	50～ 99
2017	4	16～ 17	第二工場仕上げ作業場にて、高く積まれた製品をクレーンで吊り上げた際、積まれていた製品が崩れ怪我をした。	54	11209	5	10～ 29
2017	4	18～ 19	当社工場にて、バケツ（総重量約2トン）の先端部を架台（高さ200mm）及び枕木（縦105×横105高さ80）を使用し、床面より440mmの高さに嵩上げた状態で溶接作業中（両膝を床面に付けた状態）に、枕木が割れ、その衝撃で、架台がバケツ内に入りこみ、バケツ先端部に被災者の両足大腿部が挟まれ負傷した。	38	11301	4	50～ 99

2017	4	10～ 11	資材置場において、6m×2m×2m×厚さ5mmの水槽をユニック車で運搬するため、幅2mで3分割する作業を行っていた。水槽は横向きに置いてあり、水槽内内側から下面→横面→上面の順に切断していった。上面を切断し終わった後、上面と側面の溶接箇所が錆びていてもろかったので切断した上面の鉄板が倒れ、下半身が下敷きになった。	49	30201	4	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	仕上げ作業場において、プラスチック金型のスペーサーブロック部品（110×68×600）を作業台より落とした時、安全靴は履いていたのだが、足の甲にも当たった為、打撲になった。	27	11209	4	10～ 29
2017	4	10～ 11	当社工場内において、研磨機で半導体製造装置の部品の研磨を行っていた。研磨面を直角にするため、製品（82cm×18cm×5cm、50kg）にひもをかけてクレーンで持ち上げ、機械面との間にシクネスを入れようと指先を入れたところ、ひもが一部はずれ、製品と機械面の間に指先を挟み負傷した。	64	11209	4	10～ 29
2017	4	19～ 20	2800トンプレスラインにて新規受注部品品質制度確認トライ実施中、不良品をラインサイドの作業台の上に山積みになっていた。荷崩れしそうになったためもう1名の作業者と二人で不良品を片付けようとした。しかし二人の呼吸が合わず不良品がバランスを崩し自分の足の上に崩れ落ちた。	41	11502	4	100 ～ 299
2017	4	19～ 20	2800トンプレスラインにて新規受注部品品質制度確認トライ実施中、不良品をラインサイドの作業台の上に山積みになっていた。荷崩れしそうになったためもう1名の作業者と二人で不良品を片付けようとした。しかし二人の呼吸が合わず不良品がバランスを崩し自分の足の上に崩れ落ちた。	41	170101	4	100 ～ 299
2017	4	11～ 12	当社資材置き場において資材整理を行っていた時、移動中に鉄筋を束ねてある上に飛び乗ったところ、鉄筋が崩れ、バランスを崩し転倒してしまった。その際左手から先についた為、左示指を骨折負傷した。	52	30201	5	1～9

2017	4	18～ 19	当社工場でH鋼を整理するために、動かしているときに手が滑り、左手をはさんだ。	24	11209	7	1～9
2017	4	16～ 17	自社工場にて、加工した鉄骨を重ねようとし、鉄骨の端を横にずらした時に、フランジの下に右手人差し指を挟み負傷した。	36	11209	7	10～ 29
2017	4	10～ 11	第1工場板金場にて、L型鋼材（22本、長さ6m）を専用台車を用いて搬送していた（3人の共同作業）。その際、鋼材置場の入口が狭いため台車の切り返しを行った時に鋼材が専用台車の片側に寄り、台車のバランスが崩れて横転し、鋼材が作業者の両足膝下に乗り骨折した。	53	11502	5	1000 ～ 9999
2017	4	9～ 10	弊社ガレージ内にて鉄製のパレットを作製中、角パイプを両手で抱え、床にあった部材等を跨いで運搬しようとした時、角パイプにつまずき、部材等にのしかかるように転倒した。	68	30106	2	10～ 29
2017	4	17～ 18	旋盤で作業中、長く巻いたキリコを足で踏み棒にからめて引っ張ってキリコを切ろうとした際、キリコが左手人差し指に接触した。キリコが切れたときの勢いにまきこまれて指の第2関節（手の甲側）の辺りに深めの傷を負った。作業は1人で行っていて、この作業は普段あまり行わないものだった。	36	11409	8	1～9
2017	4	14～ 15	駐車場付近に植えてある木を伐採していたとき、二股に分かれた幹の上で作業中、倒木と二股に分かれた幹の間に右足が挟まれた。	62	30201	1	50～ 99
2017	4	10～ 11	工場内・入荷品、出荷品置き場で、トラックの荷台から一般鋼材（5～6m定尺パイプ）を荷下ろししようとした時、所定の置き場（床の上）に既に一般鋼材が大量に置かれていた。まだ一般鋼材を下ろす場所があるか否かを確認しようと、思わず既に置かれている一般鋼材に足をかけてしまった所、油がかかった一般鋼材の表面で足を滑らせ前へ転倒し、右第5中足骨を骨折した。	24	11209	2	30～ 49
			土場において材料をトラックに積み込み作業中、抱えていた足場				

2017	4	6～7	材を膝の上に落として地面にひざまずき、右膝を負傷する。最後まで勤務し様子を見ていたが、痛みと腫れが出てきた。	25	30199	4	1～9
2017	4	15～16	建造船上にて、パレットからパイプを取り出す作業中、パイプのフランジがパレットに引っ掛かってバランスが崩れ、足元にあるパイプにつまずき転倒した。その際、持っていたパイプと足元にあったパイプのフランジに右手が挟まった。	32	11501	2	1000～9999
2017	4	10～11	台車にのせた材料が足の上に落下した。	62	11209	4	10～29
2017	4	11～12	工業所別荘の畑のにて、下の畑と上畑の段差（擁壁）の下準備中に木製パレットを除けていた時、パレットがバラバラに壊れた物が出て来て、除けた物に古釘が残っていたのに気づかず、右足の靴を通りこして古釘が右足踵近くにささった。（イノシシに畑の土手を壊されて、それを防ぐために作業をしていた）	22	10805	9	1～9
2017	4	10～11	事業所内事務所にて、スタッフ用の金庫と店舗の金庫とで両替をしていたところ、店舗金庫の扉で指を挟んだ。	19	80209	7	10～29
2017	4	16～17	当社内にて片付け作業中、重機で鉄板を吊り、オペレーターが鉄板を降ろそうとした時に合番していた補助作業員の手が入っているのに気づかず鉄板を下したため、鉄板と地面に挟み左手中指先端を負傷した。	45	30309	7	1～9
2017	4	16～17	既存住宅解体工事現場で、撤去した廃材の鉄製補強材を片付け作業中、その鉄製補強材に左手指を挟み負傷した。	21	30202	7	1～9
2017	4	10～11	コイル置き場の中でコイルにワイヤーをかけようとしたとき、コイルのバランスが悪くそのまま倒れてきて、コイルが胸に当たって飛ばされ、地面に背中を打った。	70	11001	5	10～29
2017	4	14～15	工場で金型交換中、金型の下に敷くプレートをずらしていた時にバランスを崩してプレートが落下し、左足のふくらはぎに接触し、擦り傷が3本ほど入った。	48	11203	4	1～9

2017	4	9~ 10	パイプ（1.5m）の内径寸法の検査工程で、ゲージをパイプ内に通しストンとゲージが落ちれば良品と識別する作業中、ゲージがパイプを叩き付けたためゲージを取り外そうとした際、叩き付けたパイプ先端部分と地面に右手中指が挟まり、更にゲージが反動で損傷部位に落下した。	50	11209	7	30~ 49
2017	4	9~ 10	パイプ（1.5m）の内径寸法の検査工程で、ゲージをパイプ内に通し、ゲージが通れば良品と識別する作業中に、ゲージが通りにくかったためパイプを叩き付けてゲージを取り出そうとした際、叩き付けたパイプの先端部分と地面に右手中指が挟まり、更にゲージが反動で損傷部位に落下した。	50	170101	7	100 ~ 299
2017	4	11~ 12	製造ライン稼働中、電気炉（インダクションヒーター）の整列コンベア上で材料が段差に引っ掛かって止まっていた。被災者はその材料を取り外す作業をしていたが、設備を停止させずに、直接手で（軍手着用）取り外そうとした。材料が外れた際、材料を押し出す「突き出し棒」の力で材料がはじき飛ばされ、指に当たり負傷した。	45	11209	4	30~ 49
2017	4	14~ 15	当社作業場において構内の設備に取り付けるための手摺の製作中、手に持っていた鉄パイプを誤って落とし、左足甲付近に落下し負傷した。	52	11209	4	10~ 29
2017	4	10~ 11	第1工場棟外ヤードサブマージ用BH置場にて、BHをクレーンを使用して横持ち台車への積み込み作業中、2段ピラミッドにハイ積みされた下側のBHに乗り上側のBHセンターにクランプで玉掛けを行い、センターの確認をしたのち地切りを行った時に、後方で別の作業者が同形状のBHを溶接治具より取り出し、ピラミッド状にハイ積みしようとした。BHの前端部が前方で地切りをしたBHの後ろ端部に接触し旋回した時、後方端部に退避しようとしていた被災者の右足首が地切りしたBHのフランジと下BHのフランジに挟まれ右足首を負傷した。	26	11209	6	100 ~ 299

2017	4	2～3	コイル材置場にて95mm幅のコイル材をホイストで運搬する為、チェーンをコイルに通そうとチェーンを下ろしコイル中央からチェーンを手で掴んだ時に、チェーンでコイル材が引っ張られて転倒し、転倒したコイル材と隣のコイル材の間に左腕を挟まれた。	47	11502	5	100 ～ 299
2017	4	16～ 17	工場でサンダー削りをしている時に、周りに物があったため跳ね返って目に鉄粉が刺さった。	17	11209	4	1～9
2017	4	16～ 17	自社資材置場内の鋼管パイプ置場で長さ1mのパイプを整理するため束ねる作業をしていた時、置き方が不安定だったため1mぐらいの高さから50本ぐらいのパイプが右足甲に落下し骨折した。	40	30309	4	1～9
2017	4	14～ 15	工場内作業場でデフ分解作業中、プロペラシャフトを降ろす際にあやまって落としてしまい、左親指に当たり切れた。	58	11701	4	1～9
2017	4	13～ 14	水元の水源地で、工場への水が来なくなった為、コンクリートの水槽の水を抜き、円状の排水バルブを最後まで一人で閉められないので、3cmぐらいの鉄棒をバルブの中に挿し込み、てこの原理で閉めていたら、鉄棒の足元が外れ、頭部に当たった。	51	10909	4	10～ 29
2017	4	16～ 17	当社工場内にて、機械から鉄板を曲げる刃（幅120mm・長さ835mm・重さ25kg）を取り外していたところ、つかみ損ねて落とし、刃と機械の台の間に右小指を挟んだ。	22	11301	4	10～ 29
2017	4	11～ 12	使用していない鉄製簡易水槽が邪魔になり、管理者の指示は無かったが、利便性向上のため溶接機で切断解体作業を行っていたところ、切断した水槽側面部が倒れ、左足の指先から甲にかけて直撃した。	73	170209	5	100 ～ 299
2017	4	3～4	仕分け作業をしている際に、トラックの荷台と倉庫を繋いでいる鉄板の高さを調整する為に、鉄板の下に敷いた木材につまずいて転倒し、左膝蓋骨を骨折する。	60	40301	2	50～ 99
			エレベーター取り外し作業中、2階部分レール受け鉄板を別の作業				

2017	4	16~ 17	員が取り外す為にボルトをゆるめる作業をしていた。1階部分で被災者が人払いと監視をしていた際に、2階部分よりボルトを外し、声をかけ合いながら作業していたが、厚さ12mm長さ700mm×150mmの鉄板が落下し、1階部分のエレベーターBOXのかどに当たり、予想外の方向にはねて本人を直撃し、顔を裂傷した。	47	30201	4	1~9
2017	4	9~ 10	ドラム缶に入っていた真鍮ワイヤーを出荷用のフレコンバックに作業手袋を使用し移し変える作業中、フレコンバックからワイヤーがはみ出していたので入れ直そうと左手に力を入れてワイヤーを引き上げた際、ワイヤーで左手示指を切っけてしまい、左手示指を負傷した。	31	150103	8	30~ 49
2017	4	14~ 15	高所作業車を使用し、貫通ピースを取り付ける際、仮付け溶接奥の配管と貫通ピースのスリーブが干渉して、貫通ピースの座金に隙間が発生した。10mmレバーブロックをゆっくり数回に分けて巻いてる時に、貫通ピースの仮付け溶接が外れ、700mmの高さから落下して、貫通ピースが右手に当たり受傷した。	64	11501	4	1~9
2017	4	11~ 12	足場上段部において作業員がアンカー頭部のプレートの取り付け作業を行っていたが、シール材の取り付け忘れがあったため、プレートを一旦取り外そうとしたときに手が滑り、プレートが下に落下して、一段下の足場で作業（清掃作業）を行っていた作業員（被災者）の右手にも落下した。	53	30107	4	50~ 99
2017	4	16~ 17	ユニック車の荷台から落下し、鉄製のピンが地面にあたり跳ね返り、左足第一中足骨へあたり亀裂が入った。	55	30111	4	10~ 29
2017	4	9~ 10	共同住宅新築工事現場で天井下地組みの際、足場板を踏み外し転倒し、軽鉄材で左腕を負傷した。	34	30201	2	1~9
2017	5	14~ 15	現場で鉄筋組みをしている時、組んだ鉄筋に躓き手から転んだ。	23	30199	2	30~ 49
			当社敷地内にて歩行中、台を固定するため張っていた針金に気付				30~

2017	5	8～9	かず足を取られ転倒した。	64	40301	2	49
2017	5	8～9	工場内で製品の移動を被災者ともう1名が行っていた際に、被災者が高さ85cmの製品に登り玉掛け作業を終え、床に飛び降りた際に床に設けてある配線保護カバーの角を踏み、右足を負傷した。	62	11209	3	50～ 99
2017	5	13～ 14	建物向かって左側手前に掛けていた控えの単筒を地面から取り外した際に、単筒を手から滑り落としてしまい、受け止めようとしたところ地面と単筒に右手指を挟んだ。	32	30209	4	1～9
2017	5	9～ 10	会社工場内で材料の積み下ろし中、高さ1m位の高さに置いてある梱包されていない鋼材を吊ろうとワイヤーロープを鋼材に掛けている途中、吊ろうとしている鋼材のすぐ脇にある他の鋼材が斜めに積んであり、不安定な状態だったため崩れてきて被災労働者の右足にあたった。	40	11209	4	30～ 49
2017	5	15～ 16	事業所工場内にて片付作業中、鋳金材のトタン板を両手に持って移動の際に材の重さによりバランスを崩し、右手人差し指に材が乗り、指先を切傷（5針）した。	40	30209	8	1～9
2017	5	16～ 17	トラックの荷室内にてラッシングビームをレールに格納しようとした際、レールにかかるラッシングビームの爪がしっかりと掛らずに作業途中で外れ落下し、慌てて押えに行ったときにラッシングビームに右手中指が強く当たり、左3指中筋骨基部亀裂骨折した。	40	40301	4	10～ 29
2017	5	14～ 15	工場にて、室外機架台製作（約320kg）溶接中に品物を反転しようとして（既に固定用のシャコ万力を取り外していた）玉掛けをしに近付いたところ、急に品物が倒れてきて右足を挟み負傷した。	67	11209	7	1～9
2017	5	14～ 15	敷地内の建物修繕中、足場パネル設置のため、当該パネル2枚を被災者が2枚持ったところ腰部を痛めた。	43	30201	19	10～ 29
2017	5	9～ 10	会社の敷地内の土置き場で鉄板を積込む作業をしていた時、鉄板と車両（ダンプ）の間に右足が挟まれた。	45	150102	7	30～ 49

2017	5	15～ 16	GPセンター内で休憩に入るため作業場内を移動中、玉子のパッキングの機械の下に敷いてある鉄板に躓き転倒し、顎と肋骨部分を強打した。	69	70101	2	50～ 99
2017	5	10～ 11	個人宅新築工事現場において、床合板を貼る作業中、誤って足を滑らせ、床下の排水配管の支持金具のボルトを踏み抜き左足甲を負傷した。	40	30202	9	1～9
2017	5	10～ 11	足の下で片付け作業をしている時に、足場の部材が倒れ落ちてきて背中に当たった。当初は打撲だと言われたが痛みが取れず、後日に腰椎突起骨折だと診断された。	36	30309	5	10～ 29
2017	5	10～ 11	作業場で、H鋼のガス切断の作業をしている時に、隣で作業をしていた別の労働者が切断したH鋼が崩れて腰に当たり骨折した。	29	11209	4	10～ 29
2017	5	8～9	鉄板敷設作業の玉掛け作業中に、被災者が鉄板の玉掛け金具を外していたところ、クレーン機能付バックホーオペレーターは、玉掛け金具が外れたと思いブームを起こす操作を行ったところ、鉄板が吊り上り、被災者は体勢を崩し右側へ転倒した。その際にずれた鉄板が左足首辺りに衝突し負傷した。	31	30106	3	100 ～ 299
2017	5	16～ 17	旋盤作業時（雇製作中）に10kg程度の材料を雇に取り付けようとしたが内径が小さく入らなかった。作業中、材料を落しそうになりとっさに右手を伸ばしたが、重みで体勢を崩し腰を痛めた。	37	11303	19	50～ 99
2017	5	16～ 17	旋盤作業時（雇製作中）に10kg程度の材料を雇に取り付けようとしたが内径が小さく入らなかった。作業中、材料を落しそうになりとっさに右手を伸ばしたが、重みで体勢を崩し腰を痛めた。	37	170101	19	100 ～ 299
2017	5	9～ 10	当社場内作業場において足場材（3.8mの支柱）の整理作業中、積んでいた足場材にストッパーを掛けずにいた為足場材が崩れ落ち、左足を挟み負傷した。	17	30209	5	10～ 29
2017	5	11～ 12	調理場で使用後の寸胴鍋を洗っていたところ、プラスチックのメッシュの水切り網と寸胴鍋との間に右手を挟んでしまい、中指	44	140209	7	30～ 49

			の皮膚が肉が見えるくらいに裂けてしまった。				
2017	5	8～9	リサイクルセンター入口にて、ゲート下のワイヤーに躓き転倒した際、手に持っていたDVDプレーヤーで右手薬指を切ってしまった。	67	11709	2	30～ 49
2017	5	17～ 18	被災労働者は、営業所作業場において、担当のお客様がレンタルした機材をダンプに積み込む作業中、ダンプのアオリが右足の上 に落下し負傷した。	54	80409	4	1～9
2017	5	15～ 16	工場内の加熱ライン充填場で、ステンレス製の容器付台車の蓋 (1m×1.5m程の大きさ、約4kg)を清掃中に手が滑り、30cm程の 高さから落下し、右足先に当たり、右足拇指付近を打撲した。応 急処置で様子を見たが、内出血と痛みがひどくなった。	35	10109	4	500 ～ 999
2017	5	16～ 17	敷地内にてトラックの荷台格納作業中、中間柱を荷台に取り付け しようとした際に手が滑り、床を支えていた指に中間柱を落して しまい負傷した。	46	40301	4	10～ 29
2017	5	16～ 17	自社倉庫において、資材の整理作業を行っていた際に資材に手を ぶつけた。	49	30309	3	1～9
2017	5	11～ 12	コンクリート壁取付け窓枠を外す作業中、窓枠部分の上部がなか なか外れず、力を入れた際に右手人差し指の靭帯を痛めた。	58	30202	7	10～ 29
2017	5	18～ 19	不用品回収依頼先で、トラックに不用品を積み込むため、トラッ ク内で作業をしていたところ、既にトラックの中に積んであった もののバランスが崩れ、上部に積まれていた50cm弱位の鉄の部品 が安全靴の上に落下し、右足小指を負傷した。	45	150102	4	30～ 49
2017	5	10～ 11	締め機作業で円だしを行う際、足元に置かれていた円筒形の鉄材 (直径1150mm、高さ100mm、厚さ6mm)を左足で押して移動させよ うとしたところ負傷した。	38	11209	19	1～9
			事業場工場内において、シリンダー部品の穴明け作業中、シリン ダー部品片面に500トンプレスで押し込んだ穴開け用ポンチ(円筒				

2017	5	9～ 10	形：高さ約200mm、重さ約20kg、底面径約160mm・上面径約120mm)を一旦抜くために、シリンダー部品を同僚従業員がマニピュレーターで挟んで裏返ししたところ、ポンチが抜けてテーブル(高さ約500mm)に当たった後、被災者の左足に落下した。	47	11009	4	10～ 29
2017	5	16～ 17	注湯作業中、注湯が終了し、取鍋(とりべ)を後向きに移動している際に足をステップから踏み外し、左斜め後方にお尻、背中から倒れた。転倒時、手を取鍋から離れた際にとりべが右回転し、残っていた(若干)湯が脚部へかかり、作業服も燃えた。	46	11301	11	10～ 29
2017	5	4～5	高さ約70cmの高さの作業台で製品(長さ約2m、重量約7kg)面取り作業中、次の製品との入れ替えをする為に持ち上げた際に手が滑り、左足親指上に落として受傷した。	30	11209	4	100 ～ 299
2017	5	11～ 12	個人宅において、外壁及び雨樋工事中、解体した単管足場を積み重ねていたところ崩れ(長さ約3m、重さ5～6kg)、左足の上に落ちて左足小指を骨折した。	22	30209	5	1～9
2017	5	13～ 14	プレス作業現場で、プレスした金属製品をAの場所からBのプレス済み製品置き場に両手で持って移動する際、製品と製品の間で右手の薬指を挟んでしまい打撲した。	39	170101	7	100 ～ 299
2017	5	16～ 17	作業現場から弊社の資材置き場へ戻り、ダンプから道具等を降ろして片付け中に、足元の草むらでがさごそしたため蛇ではないかと驚いて体勢を崩し、近くに立て掛けてあった単管(直径50cm×3m程度)に当たったとき自分の方へ倒れてきて、単管についていたブラケットのボルトが左肩に直撃し、痛みとしびれの症状がでた。	47	30209	4	10～ 29
2017	5	11～ 12	当工場内において鋼材をクレーンで移動させようと吊り上げたところ、床に2段積みで置いてあった鋼材の上段に当たり、その鋼材が左足の安全靴の上の部分に落ちて、甲の部分骨折した。	58	11209	5	10～ 29
		11～	工場内でダクト組立中、後ろにあった工具を取ろうとして足元にあったダクト材に躓き転倒しそうになり、左足を移動した時にダ				

2017	5	12	ダクト材で左足首外側を切傷し、バランスを崩して右手で踏ん張る際にダクト材で右手小指外側も切傷した。	42	11209	3	1～9
2017	5	16～ 17	SD枠を工務課トラックに積み込み中に手を滑らせ、既に積み込んであったLアングルの間に右手を挟んで裂傷した。当時、積み込みは設計課チーフと二人で行っていて、本人は手袋等の保護具を着用していなかった。	25	30209	7	10～ 29
2017	5	11～ 12	プレス工場内において、110tプレスを使用しステンレス製の雨受皿を加工中、積んであった製品が荷崩れを起こし、それを押えようとした時に左手の指を裂傷した。	83	11203	8	1～9
2017	5	10～ 11	1700スリッターでコイルをアンコイラードラムに挿入する作業をコイル側面で行っていた際に、コイルをコイルカーに乗せた状態でアンコイラードラムとの高さ調整をしている際に、高さ調整が出来ていない状態でコイルカーを前進させた為、コイル側面がアンコイラードラムの軸に当たり、コイルが被災者の方に転倒し胸を強打した。	19	11009	4	50～ 99
2017	5	8～9	出勤時、就業先敷地内を歩行中、低い鉄板のスロープを通った際に雨で鉄板が濡れていたため足を滑らせ転倒し、左足首を捻った。	44	170101	2	1000 ～ 9999
2017	5	15～ 16	工場1階でアルミ表面処理ラインのロードストック架台を組立中に、鉄製部材（150D×4,150W×2,440H、約350kg）をフォークリフトで起こし、立てた状態で被災者が支えていたが、鉄製部材が傾き倒れ始め、それを支えようとしたが支えきれず、鉄製部材と床面との間に顔面から胸部にかけて挟まれた。	30	30202	5	1～9
2017	5	11～ 12	当社の仮設機械センターにおいて、ブラケット足場台と単台約4.2kgを2個重ねて、所定の場所に連続して置く作業中、誤って手首を捻り、両手を捻挫した。	49	80401	19	10～ 29
			第一突堤作業場において、作業終了前に仮置きしていた鋼製パイ				

2017	5	17～ 18	プ（800A長さ5m、重さ500kg）の滑り止めを直そうとして、上のパイプが荷崩れをして、転がって来て両脚（くるぶしの上から両大腿部）を挟まれた。後方にトラックが駐車していて逃げきれなかった。	53	11702	7	10～ 29
2017	5	16～ 17	鉄骨製品の溶接作業が終わったので下向溶接用回転機から、製品を降ろすため玉掛けをしようとして、回転機の上部蓋を外して製品の上（高さ1.6m）に乗った際、製品がぐらついて下に落下した。	29	11209	1	50～ 99
2017	5	17～ 18	出張作業中、同社工場構内で鋼材の整理中、溶接用ケーブルが梁仕上げの先端に引っ掛かり、それを若干引っ張った時に梁材が不安定だったので倒れ、左足首に落下した。	39	11209	5	1～9
2017	5	16～ 17	鉄板を拭いて元の位置に戻す際、複数枚の鉄板を重ねて直そうとした際に右手中指を挟んだ。	32	80209	7	30～ 49
2017	5	14～ 15	現場でトラックへの積み込み作業をしている最中にボールが落ちて来た。落ちて来たボールで左薬指を挟んでしまい、骨にヒビが入ってしまった。	55	150102	4	—
2017	5	10～ 11	工場内において、排水溝にパッキンを落してしまい、探すために排水口上の鉄板（50cm×50cm、約10kg）を持ち上げて立て掛けていたところ、誤って鉄板を足の上に倒してしまった。	62	10109	4	10～ 29
2017	5	8～9	板硝子加工工場内にて、硝子パレット（800kg積）を専用台車にセットした上で運搬している際に台車の車輪が何かに突っ掛かり、硝子パレットのみが転倒した。その際に台車を移動していた被災者の右足がパレットのアンクル部の下敷きになり負傷した。	30	80109	7	50～ 99
2017	5	13～ 14	被災者は、床上操作式門型クレーンを用い、仮置きしていた桁材の移動作業を行っていたところ、玉掛け作業を行う為、吊具のクランプ方向を見ながら近づいて行った際、足元桁材の隙間（50cm）に足を踏み外し、1.6m下の地面に転落し、左大腿骨を骨折した。	58	50101	1	1～9

2017	5	10～ 11	物流センター構内でトラックへ荷物を積み込む為の渡し板を設置しようとしている時、壁面に立て掛けておいた重さ20～30kg程度の渡し板として使用する鉄板2枚のうち手前の鉄板を取ろうと動かした際、後方の鉄板が倒れてきて受け止めたが支えきれず手が離れてしまい、右足脛部分に当たり裂傷を負った。	60	40301	4	300 ～ 499
2017	5	15～ 16	製品組立作業場にて、製品組立用の作業台にのせて組み外しの作業を行っていたところ、製品が滑って落下しそうになったのを阻止する為に、反射的に手で受け止めたところ鋭利な部分が当たり、左手親指の付根付近を切った。	36	11209	8	10～ 29
2017	5	13～ 14	棟周辺にて野外清掃作業中、側溝の清掃のため鉄の蓋を持ち上げた際に手が滑り、蓋が左足に落下し負傷した。	61	150101	6	100 ～ 299
2017	5	17～ 18	会社で鋼材の寸法切の作業中、出来上りを移動し整えようとした時にバランスを崩し、鋼材が滑り右手中指を挟んだ。	42	80209	7	1～9
2017	5	16～ 17	工場でスクラップ回収作業中、車の荷台より滑り落ちたスクラップ（2kg位）が転がって来て足に当たった。	21	11209	4	1～9
2017	5	14～ 15	工場内における荷物の引取り作業中、引取りの鉄板（300×500）をバックン（引取り等）に移すために、フォークリフトを使用し、移し替えの作業を行っていた。その際にバックンが車輪付きの為、バックンが動かない様に右手でバックンを掴んでいたところ、鉄板が滑ってきてバックンと鉄板の間に右手の薬指・小指・中指が挟まれ骨折した。	27	150102	7	50～ 99
2017	5	14～ 15	工場内における荷物の引取り作業中、引取りの鉄板（300×500）をバックン（引取り等）に移すために、フォークリフトを使用し、移し替えの作業を行っていた。その際にバックンが車輪付きの為、バックンが動かない様に右手でバックンを掴んでいたところ、鉄板が滑ってきてバックンと鉄板の間に右手の薬指・小指・	27	170101	7	10～ 29

			中指が挟まれ骨折した。				
2017	5	11~ 12	工場内で直径8cm、長さ5mのステンレス材を切断機で作業する際、40秒～50秒間隔で両手を添えて製品を受け取る場所を、集中力が薄れており、受け取るタイミングを逃した。製品が落下しそうになった為、とっさに手を差し出したところ約30cm下に置かれている台のエッジ部分と製品の切り口との間に右手中指を挟まれた。その際、安全のために着用していた皮手袋が破れ、右手中指等関節内側周辺を負傷した。	19	80109	7	30~ 49
2017	5	15~ 16	工場内で、溶接後のグラインダー作業中に発生した事故である。現場には、前任者が以前より壁に立て掛けていた鋼材があり、長い年月積み重なった不安定な状態であったが、時間に追われた作業のため鋼材を全て整理できないまま、作業を続けなければならなかった。一人での作業のため災害発生時に助けを呼べず、鋼材が倒れて作業台と鋼材（鋼材の重量は100kg以上）に15～30分程度右腕を挟まれていた。	42	11409	5	10~ 29
2017	5	15~ 16	資材置場にて、足場資材（1200幅ビティ枠、ビティ棒：幅1200、高さ1700、重量18kg）の整備作業中、頭上にあつた資材の重量を甘く見積もり、容易に降ろせるものと思っていた。高さ約2.2mの位置にあつた資材を引き降ろそうとしたが、資材のバランスを崩してしまい、支えきれずに右足甲へ落下し負傷した。多少の痛みはあつたが大丈夫と思い帰宅したあと、徐々に腫れて痛みも増してきた。	54	30201	4	—
2017	5	9~ 10	発電所復旧工事の現場で地下2階から地下3階に足場用単管パイプ（2.5m）を手渡しで下ろす作業をしていた。被災者は地下3階で足場用単管パイプを受け取ったが皮手袋から滑り、自身の右足甲に落下させ受傷した。	54	30301	4	30~ 49
2017	5	14~	メタルソーの材料送り用コンベア上に丸鋼を設置し、天井クレーンを使用するためペダルスイッチを取ろうとした際、コンベア上	18	11701	4	100 ~

		15	の丸鋼が転がり足元に落下した。				299
2017	5	16～ 17	個人宅解体工事現場にて、H鋼のボルトを外す作業をしている時、足場高さ2.5mの高い場所にいた際、H鋼の片方が外れていないと思いボルトを外したところ、H鋼が外れて右足先に落下し負傷した。	26	30202	4	1～9
2017	5	10～ 11	ホイストクレーンを使用し鋼材置き場にある丸棒（長さ6m、重量約1.7t）を移動させるため、ワイヤーをフックに掛けた。丸棒を吊り上げる際には、本来はストッパーの外に出て吊り上げる作業を行うべきところを、惰性で作業を続行したために右足が残ったままとなり、吊り上げた丸棒の下側にあった別の丸棒が安全靴を履いた右足に乗ってきたため、足を置いていた鋼材（丸棒）との間に右足を挟まれた。	43	170101	7	100 ～ 299
2017	5	15～ 16	朝点呼を受け、客先へ製品を引き取りに行き、客先に到着し、工場で梁の積み込みを行った。昼過ぎに、追積を行い、その後、工場で最終の追加積載を行った。積込完了後、保定作業のため車上に上がり、積荷の隙間に万棒の挿入を行った。その時、荷台上で作業を横歩きで行っていたところ、体勢が崩れて咄嗟に梁を掴んだ際、梁の1本が左足の上に落下した。	49	40301	4	50～ 99
2017	5	10～ 11	倉庫の壁を直すのに足場を組んでいた時、鋼管が倒れて落ちてきて、手骨にひびが入った。	69	30209	5	1～9
2017	5	14～ 15	会社工場内で、1m50cm四方の金網ドア枠の仕上作業中、作業台の上ののったドア枠の反対面の仕上作業をするためにドア枠をひっくり返そうとしたところ、ドア枠が右脇腹に当たり、食い込んだ状態でドア枠を作業台に置いたところ、右肋骨を損傷した。	45	11209	6	1～9
2017	5	14～ 15	現場から会社の倉庫へ持ち帰った鋼管をトラックの荷台から下ろす最中、鋼管が滑ってトラック荷台ボディと鋼管に右手を挟み負傷した。当初は切傷と思い様子を見ていたが、右手小指の腫れが	60	30202	7	10～ 29

			ひどく、痛みが強くなった。				
2017	5	10～ 11	工場内において、2人で鉄骨（約50kg）を1個ずつ運ぶ作業中、パレット上に鉄骨を積み上げていたとき（高さ35cm）、運ぼうとした鉄骨の下にあった鉄骨が荷崩れし、その鉄骨の角が左足の親指に落下し負傷した。（ミキサ車の置場に邪魔になるので、片付けて広くするため手伝っていた。）	59	40301	5	1～9
2017	5	10～ 11	第4倉庫内で、鉄板を寄せようとしていた時に鉄板がずれ、右手中指と薬指を挟んでしまった。	29	11209	7	10～ 29
2017	5	16～ 17	当社本社第2工場で、パイプに付着したアルミを剥離した後、パイプの両端から洗浄液が残っていないか確認していた。片方は指をパイプに入れて確認し、被災者は目視で確認していたところ、パイプから指を抜こうとした時に抜けにくかったため、力一杯に引っばってしまい、反動でパイプが被災者の左目に当たり負傷した。	37	11209	6	1～9
2017	5	14～ 15	鋼製の角パイプ（長さ1.2m×幅0.2m×0.2m、70kg）を12本製作し、立てた状態で仮置きしていた物を少しずれして並べていた時、横の角パイプが倒れて左足の甲辺りを挟んだ。	31	11501	5	50～ 99
2017	5	16～ 17	工場内作業場でクンクリート2次製品製造用型枠を整備中に、蝶番開閉の側板を少し開く作業をしていた時にストッパーがかからずに倒れてきて、側板と地面とで挟まれた。	58	80409	6	10～ 29
2017	5	11～ 12	滑走路増設工事現場で、打設した鋼管杭の杭頭処理作業のため、曳航してきた台船を打設済みの鋼管杭横に係留作業していたところ、台船が鋼管杭打設用の導杭に接触した。その際、導杭上にブルマンで固定していた導材が台船上に落下して跳ね、台船上にいた被災者に当たり負傷した。	44	30111	4	30～ 49
2017	5	11～	滑走路増設工事現場で、打設した鋼管杭の杭頭処理作業のため、曳航してきた台船を打設済みの鋼管杭横に係留作業していたところ、台船が鋼管杭打設用の導杭に接触した。その際、導杭上にブ	52	30111	4	30～

		12	ルマンで固定していた導材が台船上に落下して跳ね、台船上にいた被災者に当たり負傷した。					49
2017	6	16～ 17	工場の敷地内の工場にて、約100kgの架台をリフトで運んできたのを工場の中に3人で手で運び、架台を置く時に躓いて、架台と地面の間に手を挟み、右手の薬指を複雑骨折した。	66	30199	7		1～9
2017	6	9～ 10	構内、製函作業において、手動製函機にて作業中、自動製函機への箱の補充に移動する際、ダンボールの水漏れ防止の為に敷いてあるパレットに躓き、右肘から地面に強打し、右肩を脱臼した。	37	30202	4		1～9
2017	6	16～ 17	当社工場内にて、鋼材の在庫管理の為、置いてある製品の奥に行こうとして、右足が引っかかり転倒し、左手をついて骨折した。	54	11301	2		10～ 29
2017	6	11～ 12	タンク付属品改造工事中、タンク立ち上り消火配管の検査・フラッシング準備の為、配管ブラインドフランジを取り外した直後に、配管立ち上がり部（5箇所にてUボルトナットで固定済み）が滑り落ち、外部足場補強用単管との間に左手を挟んだ。	46	30302	7		10～ 29
2017	6	10～ 11	加工場において、仮設材の整理をしていたところ、とび出していた角パイプにぶつかり転倒した。	65	30199	3		10～ 29
2017	6	8～9	さけます流し網漁業の漁期を終えた船（13t）の偽装撤去作業中、パイプを外すため、ねじを締めた際、誤って受けの上に手を置いてしまい、パイプが手の上に落ち、右手を負傷した。	50	70201	4		1～9
2017	6	11～ 12	会社工場内吹き抜け塗装作業場で、鉄骨のパネルをフォークリフトに載せ、後ろに移動する際、鉄骨パネルをパレットに下ろそうとした時に、振動でパネルがフォークリフトから滑り、ツメにパネルがぶら下がった状態となった。鉄骨パネルを地面に下ろそうとした時に、自分の方へ倒れて来て右足脛にぶつかり、足首を挟まれた。	66	30309	6		10～ 29
			製造作業場内において、製作中ハウスの床板を貼る前の鉄骨柱の床（幅30cmの鉄骨材が25cm間隔で渡してある）の上を歩こうとし					

2017	6	17～ 18	て左足を踏み外し、鉄骨材の隙間に両足が前後に落ちた。はずみで上体のバランスを崩して横に倒れ、左足膝下を骨折し、右足に擦り傷を負った。	56	11209	1	30～ 49
2017	6	14～ 15	工場外部カードにて、製品の出荷積込みのためにトラックの荷台へ移動したところ、既に積まれていた製品に頭をぶつけてしまい、その反動による地面への落下によって、左手首・左側胸部・右膝を強打した。（地面にはH鋼が置いてあり、その上に落下した。）	66	11209	3	10～ 29
2017	6	22～ 23	当社工場注湯作業場で、鑄型に注湯作業中、鑄型から飛び跳ねた湯玉が地面に落ちて周囲に飛び散り、安全靴を履いていた左足に付着し、浸透して左足甲部位を火傷して痛み、受傷したものである。	29	11002	11	50～ 99
2017	6	13～ 14	当社本社工場内、H形鋼バンドソー機付近の残材置場から、加工に使用するため残材を取り出そうとして、尚且つ、それと同時に整理も兼ねて作業をしていたところ、残材の山に体が触れてしまい、その際に体勢を崩して右腕をH鋼に強打して、骨折してしまった。	24	80109	3	30～ 49
2017	6	16～ 17	個人宅リフォーム工事現場において、木工事造作作業中、床に置いてあった古材に釘が刺さっていた為、気付かず踏んでしまい受傷した。	24	30202	9	1～9
2017	6	14～ 15	個人宅新築工事現場にて、建方作業中、1階天井パネル上で腰を曲げ、前屈みの姿勢で右手で持った釘打機を使用してパネル同士を固定していた際、鉄の破片が飛来し、右目に混入した。	32	30201	4	10～ 29
2017	6	16～ 17	被災者と作業リーダーの2人でクッションストッパーの交換作業中、クッションストッパーの軸を固定する板の溶接作業をしていた。終わりに近づいてきたので、現認者が道工具や奥にあった残材を天井クレーンで片付けようとした。天井クレーンの電源をリ	39	11209	4	1～9

			モコンで入れ、クッションストッパーがまだ吊っていたことに気づかず、巻き上げたところ、ワイヤーが破断して、被災者の背中に倒れた。				
2017	6	15～ 16	第5工場建屋内東側にある素材置き場にて、D22用スタンションに仮置きであった材料を取り出すため、玉掛け作業で地切した際に、隣のスタンションD19の材料が被災者側へ荷崩れし、そのあおりを受け、仮置きしてあった素材用のスタンションと荷崩れしてきた素材に右足を挟まれた。	37	11209	5	100 ～ 299
2017	6	8～9	トラックを解体し、その部品等を搬送するためコンテナ内に積み込む作業をしていたところ、積み込もうとしていた重量物部品とコンテナの壁に手を挟まれ、負傷した。	59	80209	7	1～9
2017	6	18～ 19	200Lドラム原料の金属製封印キャップ（エアー抜き側＝小）をドライバーにて開封中、一度破った封印にドライバーの先端を引っ掛け、力を入れて外そうとした際に、手元が滑って破れた封印が接触し、切傷した。	26	10899	8	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	当社工場内において、トラックで搬入された業務用冷蔵庫の材料（鉄板39.2cm×88.8cm×158.8cm、重さ278kg）をクレーンで荷降し作業中、トラック荷台で6段に重ねられていた材料の上2段が荷崩れしていたため、荷降し前に荷崩れを直そうとクレーンで材料を吊り上げ、クレーンからトラックの荷台に移動し、材料を水平にした後、荷台から降りようとした時、水平にした材料が揺れ、被災者の背中に当たる。その際、トラックのあおりに足を当てた後、落下して背中・左手を打ち、首・胸・左手首・足を負傷したものである。	50	11402	1	100 ～ 299
2017	6	8～9	作業車に足場部材の積み込み作業中、アンチと呼ばれる足場部材（1枚あたり重さ12～13kg）を4枚まとめて（計50kg位）肩の上に担ぎ上げるように勢いよく上げた瞬間に、腰に急激な力の作用が負荷され、激しい痛みを覚えた。	23	30209	19	1～9

2017	6	13～ 14	屋根折板の現場成型中、成型機から出て来た、長さ約50mm、厚さ0.6mmの屋根（下弦）材を3人で並んで成型機から出し、屋根葺き作業をしていた。10mの成型機の7m程度が通過したら、次のコイルを入れて順次成型していた。成型機からの出し作業が若干遅れ、もたつきがあり、次の材料が接近してきたため成型機側にいた人が少し前に押しすぎてしまい、反対側の方は滑り落ちると思い、咄嗟に先端に持ち替え押さえようとしてしまった際に、パテペット受けの鉄骨に右手の指を挟まれてしまい、小指を切断してしまった。	34	30201	7	1～9
2017	6	22～ 23	当社作業場で、産業廃棄物の上で廃棄物分別処理中、横から釘が左足の長靴に刺さり、貫通してかかとに刺さり、負傷した。	20	150102	9	10～ 29
2017	6	14～ 15	工場でのベッケン7号炉製品排出装置整備作業において、製品排出装置のシャフト交換作業を行っていた。シャフトを抜き出した後、シャフトを排出する際に吊っていたワイヤーロープが切断し、シャフトが転倒し、被災者に当たったと推定される。	56	30309	4	1～9
2017	6	9～ 10	工場内にて、レーザー加工機でステンレスの板（1m×2m、重さ16kg）を加工するため、機械に板を載せる作業をしていた際、汗をかいた手で持ち上げたため、板が滑り落ちそうになり、手で支えようとした時に、板の端が右腕に当たり負傷した。	47	11209	4	1～9
2017	6	11～ 12	事業所内作業中に、金属コイルを移動させていたところバランスを崩し、コイルが倒れ、その際に左下腿部を擦り、負傷したものである。	34	11209	4	1～9
2017	6	10～ 11	不潔リネン庫にて作業中、リネン庫扉が外れて右足に落下した。	20	130101	4	500 ～ 999
2017	6	23～ 24	派遣元にて、原材料に使用した複数の空き缶をプレス後、廃棄処分にするためコンテナに入れようとした際に、缶に当たって指を切ってしまった。	58	170101	8	100 ～ 299

2017	6	16～ 17	加工場において、H形鋼をトラックへ積もうとしていたところ手が滑り、左足の上に落とし、左足の第1趾基節骨を骨折した。	45	30209	4	30～ 49
2017	6	14～ 15	トラックの荷台の中で、パレットに積んである酒を引っ張っている時、足を滑らせて、荷台に敷いてあった鉄板に左足親指を挟まれた。	53	80209	7	50～ 99
2017	6	9～ 10	重量鉄骨3階建外装工事中に、梁荷受けの建方職方が現場敷地内の土間コンクリートの上で、トラック荷台よりレッカーでG梁6本、3～4mを仮置き後、縛られたナイロンスリングを解いたところ、手前の梁が1本、右足に倒れて人差し指と中指を裂傷骨折した。	38	30201	4	1～9
2017	6	19～ 20	当事業場洗い場で、グラスを洗っている際、グラスが割れている事に気づかず、割れたグラスの破片で指を切った。	23	140201	8	30～ 49
2017	6	14～ 15	当社工場にて、板の厚みを測る作業中、60cm程に積み上げた鋼板の上に右足を掛けた際、積み上げた鋼板のバランスが悪かった為に鋼板が崩れてしまい、右足くるぶし部分を裂傷し、7針縫ったものである。	59	11009	5	1～9
2017	6	13～ 14	作業場において、OAフロアパネルを丸鋸ジグソーを使い加工していた際、保護メガネを装着していたが、完全に目を覆うタイプでは無いものを装着していた為、飛散した鉄粉が目に入った。そのことに当人は気が付かず、しばらくして視力の低下を感じ、眼科を受診したところ、左眼球に鉄粉及びそのサビが見つかり、被災が発覚した。	47	30209	12	1～9
2017	6	14～ 15	団地内の公園にある側溝内の清掃をするため、U字溝の蓋を手で持ち上げた際、手を滑らせ、U字溝の蓋を左足の上に落としてしまった。その日は、痛みはあったが退勤時間まで作業し、退勤後に病院で診察を受けたところ、左足親指付近の内出血と打撲のため、1週間程度様子を見るようにとの診断を受けた。	26	80409	4	100 ～ 299

2017	6	18～ 19	段取り作業時に、溶接治具を棚に収容するためハンドリフターで治具を運び、45度旋回した。その際、はみ出していた治具のクランプに足を引っ掛け転倒した。転倒時、右腕で身体を支えたため右腕全体に痺れと痛みが生じ、救急搬送され受診した。	38	11502	2	50～ 99
2017	6	18～ 19	段取り作業時に、溶接治具を棚に収容するためハンドリフターで治具を運び、45度旋回した。その際、はみ出していた治具のクランプに足を引っ掛け転倒した。転倒時、右腕で身体を支えたため右腕全体に痺れと痛みが生じ、救急搬送され受診した。	38	170101	2	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	当社工場において、金型をプレス機に取り付けるために、リフトで機械前に運んでもらい、リフトに乗せてあった金型を降ろすために両手で押して移動していた。金型を押した時、金型がバランスを崩して左に崩れてきた。避けようとしたが避けきれず、金型とプレス機の間で左手を挟み、左手人差し指を負傷した。	59	11203	7	30～ 49
2017	6	10～ 11	当事業場製品置き場において、フォークリフトを使用してH形鋼を台座に移動する作業中、切り欠きのあるH形鋼を誤って切り欠き部分を下にして置いたため、隣に置いてあったH形鋼に倒れ掛かってしまったので、フォークリフトから降りて手で動かそうとしたところ、倒れ掛かっていたH形鋼が台座の上で倒れ、そのH形鋼と台座の間に右示指が挟まり負傷した。	58	11209	5	10～ 29
2017	6	13～ 14	第一工場内で、パンチングマシンの作業台に置いていた鉄板（厚さ2.3m、100mm×565mm、重さ1kg）20枚を両手で抱え、運んでいたところ、重さのあまりバランスを崩し、鉄板の一部が滑り落ちそうになり、慌てて両手で支えようとしたが支えきれず、鉄板約18枚が滑り落ち、その際に鉄板の角が左足先に当たり、負傷したものである。	33	11502	4	50～ 99
2017	6	13～ 14	当社工場内において、H鋼のショットブラストへの送り作業中、積んであったH鋼（40×20×200cm）がバランスを崩して倒れてきたため、左足膝下に当たり負傷した。	66	11209	5	10～ 29

2017	6	15～ 16	店舗新築に伴う建築工事（大型自動車棟）の作業が進んでいた。 型枠材の片付作業中、長さ45mm・直径3mmの釘を誤って踏んでしま い、左足親指の付け根に刺さり刺創した（全治1週間）。普段よ り、安全靴を履いて作業するよう会社は本人に指導しており、被 災時、本人は作業靴を履いていたが、片付け作業の最中、足元に 注意を払っていなかったのが負傷した原因である。	23	30201	9	1～9
2017	6	10～ 11	作業所梱包場において、アルミコイルが載った鉄馬4台、アルミス クラップが載った鉄馬1台、空の鉄馬1台が1列に連なって並んで置 いてあった。被災者は、アルミコイルの内径を測定するため歩き だした。アルミコイルの内径を測定する馬台の前には、アルミス クラップが載った馬台が置かれていた。被災者は、アルミスク ラップの載った馬台に乗らなければアルミコイルの内径を測定す る事が出来なかったため、右足を鉄馬の上に載せ、左足をアルミ スクラップの上に載せた時、両足が前に放り出され、鉄馬の上に 尻もちをついた。	50	50101	2	50～ 99
2017	6	16～ 17	NC旋盤JKTチューブ内径切削工程にて、通常加工時、ワークに絡 んだ切粉をラジオペンチで除去する際に、内径切削にて発生した 切粉の状態が細かく、長く伸びており、切粉が長いとため全てを掴 みきれず、引っ張った際に伸びた切粉に指が干渉し、切創した。	21	11502	8	50～ 99
2017	6	14～ 15	被災者がケース組立を二次熱交換溶接ロボットに装着する際、持 ち替えた時に左手からワークが滑り、テーピングを巻いていな かった薬指を、加工されていない端面で、軍手を貫通して切創 し、病院で5針縫合した。	31	11301	8	300 ～ 499
2017	6	14～ 15	派遣先工場内で給湯器の部品を製造中、被災者がケース組立を二 次熱交換溶接ロボットに装着する際、持ち替えた時に左手から ワークが滑り、テーピングを巻いていなかった環指を、加工され ていない端面で、軍手を貫通して切創した。5針縫合した。	31	170101	8	100 ～ 299
			構内にて商品の積み込み作業中、トラックの後部のパワーゲート				

2017	6	14～ 15	の鉄板（3m×0.2m）の調子が悪くなり、確認すると溶接部分が壊れていたので、自分で調節していたところ、誤って鉄板を落としてしまい、左足の上に落下してしまったものである。	52	170101	4	10～ 29
2017	6	13～ 14	当社土場（資材置場）において、資材道具などの片付作業中（雨天で現場が中止のため、土場での片付作業中）、土場に敷いてある敷鉄板（鉄製1500×5000）上を歩いていた時、雨が降り鉄板が濡れていたため、足が滑って鉄板上で転倒し、その時に右手小指を骨折した。	70	11209	2	30～ 49
2017	6	11～ 12	作業台にて、クレーンで金型を降ろそうとした時、金型を吊っていた金具が外れて指を挟んだ。	37	11209	4	1～9
2017	6	16～ 17	工場内において、倒れ止め補強支柱の溶接が小さすぎて溶接が外れ、品物が転倒し、右足大腿部の上に倒れて切れてしまった。	51	11209	5	1～9
2017	6	16～ 17	機器（変圧器）の撤去作業を行っていた。トラクターと機器をワイヤーで繋ぎ、トラクターで引っ張っている最中のことであった。被災者は機器から4m程の距離をとり、途中のウインチワイヤーが引っ掛からない様に手で引っ張って補助していた。そうして作業を続けていると、被災者が気付かぬ内に、機器に取り付けていた滑車が被災者の背後に接近し、あっという間に保定していた左手（小指）がワイヤーと一緒に滑車に巻き込まれ、負傷してしまった。	67	30302	7	1～9
2017	6	11～ 12	工場内で、自動車部品取り外し作業中に手を滑らせ、重さ約20kg程度の部品を落としてしまい、右足甲を骨折した。	22	80109	4	10～ 29
2017	6	15～ 16	資材置場での材料整理時に、足元の悪い場所で材料を受け取った際にバランスを崩し、右足を挫いて、右足踝にひびが入った。	19	30201	19	10～ 29
2017	6	10～ 11	レストラン店舗内へ味噌汁を運ぼうとしていた際、コックシューズがまだ届いておらず、スニーカーを履いていた為、排水溝のグレーチングで滑って転倒し、尾てい骨部に打撲を負った。	46	140201	2	30～ 49

2017	6	17～ 18	工場内の清掃中に、長さ1m程のパイプが置いてあるラック下の隙間40cmの所をホウキで掃いていた時に、右手甲をパイプ先端部分に強打した。加工前のギザギサとしたパイプ先端だったため、手の甲の伸筋腱に強い圧力がかかり、中指の腱が切れた。	26	11209	8	10～ 29
2017	6	10～ 11	鉄骨造3階建て建設工事現場で、外壁仮設足場組立中に、リン木上に仮置きしていた足場支柱材を運ぶ際、右足を支柱材散乱防止の為にあげ、結束バンドを切断したところ散乱し、右足が支柱材の下敷きになった。	20	30201	4	1～9
2017	6	11～ 12	集荷先で、鋼管を積んでいたところ、荷台にて積まれた鋼管を寄せようとした際、右手中指を挟んでしまった。当初は大したことはないと思い、そのままにしていたが、腫れてきた。	50	40301	7	1～9
2017	6	14～ 15	会社工場内にて移動中、地面に置かれていた金属製のカゴに入っている鉄の棒（長さ1m程度）に靴紐を引っかけてしまい、その場で転倒した。その際、左肘を地面にぶつけてしまう。その時は特に痛みは大きくなかったが、2週間程してから、左足（特に膝）に強い痛みを感じるようになった。	49	11204	2	10～ 29
2017	6	11～ 12	当社倉庫において、鉄製パレットに入っている鉄板（T12mm×D150mm×W600mm）を高さ70cmの台に載せようとした時、手元が滑り、鉄製パレットの角と持っていた鉄板の間に左手小指先端を挟んだ。	37	170101	7	1～9
2017	6	9～ 10	工場の2階で、台の上ののった軽自動車のフロントドアを、場所を移動させようと思い持ち上げた時、背中にブチッと言う音がして、急に息が苦しくなってきた。	57	11701	19	1～9
2017	6	9～ 10	塗装ブース内の清掃中、壁板（鉄製）を外して移動中、壁板にはグリスが付着しており、更に地面にはペンキ（塗料カス）があり足場が悪かった。被災者は、足場が悪いため長靴を着用していた。（プロテクトなし）壁板の両端を持っていたが持ち方が悪く、グリス付着の壁板を移動する時、両端を持っていたために手	45	11209	4	30～ 49

			が滑り、左足3指に壁板が落下した。				
2017	6	8～9	鉄筋配筋工事中に、本人が座り込もうとした時に、下に置いてあった鉄筋を踏みつけてしまい、上に向いた鉄筋が、陰囊部に刺さった事故である。	43	11209	6	10～ 29
2017	6	8～9	鉄筋配筋工事中に、本人が座り込もうとした時に、下に置いてあった鉄筋を踏みつけてしまい、上に向いた鉄筋が、陰囊部に刺さった事故である。	43	11209	6	10～ 29
2017	6	2～3	請負先で、金属の表面を削る機械に鋼材（67×100×338、重さ約18kg）を機械テーブルにセットする際、左手を滑らせてしまい、機械テーブルと鋼材の間に左手小指を挟み、左手小指第一関節を骨折した。	21	11305	7	10～ 29
2017	6	17～ 18	会社の自分の席で着物の縫い直しをしている時、落ちた針に気が付かず、スリッパを脱いだ状態で席を立てて針を踏んでしまった。踏んだ瞬間に針が折れ、折れた針先が右足裏の中に残ってしまった。	39	10309	9	10～ 29
2017	6	11～ 12	鉄クズを持ち込んだ時、車の後部座席から数個の鉄クズが入った荷物を2人で出しながら、応援の人へ渡していた。最後の荷物を持って車の外へ出ようとしたところ、たまたまFB（平板鉄）とLアングル（L字型の鉄板）の重なっている上を踏んでしまい、右足をグニャッと捻ってしまい、その場にへたり込んでしまった。	60	30301	19	30～ 49
2017	6	3～4	店舗において、ベルトコンベア上で荷詰まりが起こり、その詰まりを解消して作業位置に戻っていたところ、床に倒れていた棒に足が引っ掛かり、右膝から転倒して負傷したものである。	32	40301	2	500 ～ 999
2017	6	16～ 17	鉄鋼材の倉庫内で、厘木を片付ける為、高さ65cmの角鋼上を歩いている時、角19mm×長さ6m×132本を縛った結束番線の結束部が、高さ3.5cm出っ張っており、安全靴の先端が番線結束部に引っ掛かって転倒し、65cm下の通路地面へ落下し、左手を地面に着いた。	28	11001	1	30～ 49

2017	6	14～ 15	トラックに機材を積み込み作業中に突然、横に置いてあった鋼材（長さ3m）が倒れてきて、逃げきれず右腕を打撲し負傷する。	67	30209	5	1～9
2017	6	10～ 11	本社鑄造工場で鑄造作業中に、金型と製品が引っ付いた為、バールを棚から取ろうとした時、台の上に置いてある鉄板に当たってしまい、台から鉄板が落ち、右足の小指に当たり骨折した。	30	11209	4	50～ 99
2017	6	22～ 23	被災者は、夜勤勤務のため出勤した際、圧延工場No.6冷却床南4転回機駆動用チェーンが切断し、製品（H200×200）の払い出しに苦慮している状態と遭遇した。そのトラブルを解除しようとし、バールで製品をずらした後、出側テーブル上へ移動して台車で製品を払い出し位置まで移動する様、オペレーターに手合図を送った。製品の移動中、製品の北端が転回機の側面に干渉し、当該製品が跳ねて、出側テーブルサイドガイドと製品に足を挟まれ、足首を負傷した。	25	11001	7	300 ～ 499
2017	6	17～ 18	終業後の片付中、手には何も持っていない状態で現場内の敷鉄板上を歩行していたところ、敷鉄板の段差約7mmで足を躓き、1.5m前の鉄板段差約22mm部分で左膝を強打した。その場でうずくまっているところをすぐ周囲にいた同僚に発見された。	49	30201	2	—
2017	6	14～ 15	工場内にて鉄骨階段の溶接作業中、架台に載せてあった階段に足を引っ掛けたことによって階段が倒れて、架台と階段に挟まれ、左足の甲の部分を切り、9針縫った。	46	11209	5	1～9
2017	6	11～ 12	セルガイドを台船に積み込んでいた際、材木を片付け、次に積むセルガイドのセンターを確認するためセルガイドの上を移動していたところ、右足が間にはまり込んで抜けなくなったため、フォークで隙間を広げて抜け出せた。	42	50202	7	30～ 49
2017	6	15～ 16	セットボルトをゆるめたのを忘れて作業をした為、品物が倒れた。足を挟んで倒れた為、腰を強打し、圧迫骨折をした。足を挟んだ時に溶接中だった為、火傷も負った。	63	11209	4	50～ 99

2017	6	14~ 15	回転台を使用してブーム材本体に裏当て材を溶接する作業をしていた。溶接後の仕上げをしている際にブーム材が滑って落下し、左足を直撃し、左足甲を骨折した。ブーム材自体も小さく、リン木を挟んで固定していたが、作業性を考えてブーム材を手前側に寄せ過ぎていたために落下してしまった。	48	11209	4	50~ 99
2017	6	16~ 17	当社工場内にて、プレス機のステン板の拭き作業をしている時、ローラーの上に水があるのを確認しようと思い手を置いた時、誤って右手をローラーに挟んでしまい、慌てて左手で機械を止めた。	19	10602	7	30~ 49
2017	6	8~9	トレーラーで搬入された鋼材（φ225、5800mm、1.8t）をトレーラーから鋼材置き場へ天井クレーンで運ぶ作業をしていた。2本の鋼材をワイヤー2本掛けの玉掛けで運搬し、作業員Bがクレーン操作で段積みされた鋼材上に着地させた。被災者と作業員Cが転倒止めを掛けて、作業員Cが鋼材後部にバールを差し込み仮固定し、作業員Bがフックを少し下げる操作をした後に、被災者が被災者側のワイヤーをフックから外した。着地させた鋼材の下に敷いていたリン木角材が下方向に下がり、荷崩れを起こして、被災者の足方向に転がった。被災者は避けようとしたが、足の上甲上に転がった鋼材に挟まれて受傷した。	22	11301	5	1~9
2017	6	16~ 17	新築工事現場で、倉庫の床にスタロホームを敷いて並べる作業中、敷き終わったので、基礎造成のための床の周りに掘削していた穴に一度降りて、上がろうと床の縁に組んでいた鉄筋に足を掛けたところ、鉄筋が雨で濡れていたため足が滑り、掘削した穴（深さ約1m）に転落し、左肩等を打ち負傷した。	46	30209	1	10~ 29
2017	6	9~ 10	荷降ろし作業中、クレーンで鋼材を荷と荷の間に降ろしていたところ、荷と荷の間に鋼材が引っ掛かったため、右手で寄せていた時、右手小指を挟み負傷した。	47	11301	7	10~ 29
			工場敷地にて4tトラックに鋼材を積み込み作業中、積み込んだ鋼				

2017	6	15～ 16	材を荷締め機で固定しようとしていた時、鋼材の上に乗って作業をしていて滑り、鋼材とトラックのタラップの間に右足が挟まり、右足で体を支えようとして右足が曲がり、右膝を骨折した。	58	11209	7	1～9
2017	6	8～9	電柱置場に複合柱を搬入する為、在庫してある複合柱を整理（移動）をしようとして前日の雨で濡れていた鋼管の上に乗って作業中、その鋼管上（高さ約30cm）で滑って転倒し、左胸と右膝を負傷した。	52	40301	2	10～ 29
2017	6	16～ 17	会社の倉庫内で、天井の軽天材をトラックに積み込むため小さくしようとバールで叩いたところ、メガネの下側から鉄片が当たって負傷した。	56	30209	4	10～ 29
2017	6	16～ 17	自社の処分場にて、産業廃棄物の分別作業を行っていた際、針が足の甲にささり、2～3日放置していたところ、腫れてきた。	19	30309	9	10～ 29
2017	6	10～ 11	事業所敷地内において、鋼管を地表より40cm位の高さまで持ち上げた際、腰に激痛を覚えたものである。	52	11209	19	30～ 49
2017	6	3～4	自社資材置場で、ピケ材の柱（長さ約3.8m、重さ約15kg）の片付け作業中、1本ピケ材の柱を壁に立て掛けていたが、不安定だったせいか、柱が倒れてきた。咄嗟に左手で受け止めたが支えきれず、地面に置いていた鉄かごの縁と柱のコマの部分とで指が板挟みになり、負傷した。	33	30209	5	1～9
2017	6	1～2	会社の倉庫で角パイプ（20kg）を移動中、誤って左足甲に落とし、打撲負傷した。	35	30201	4	1～9
2017	6	11～ 12	北側1Fエレベーターホール外側にて、出荷品の積込作業をしている際に、カンカンという金属が当たる音が頭上から聞こえた。何か落下してくると思い、避けようと小走りで移動した時、背後で金属パイプ（長さ約60cm、重さ約2kg）が地面に落下して跳ね返り、それが左足首付近に当たり負傷した。そのパイプは工場敷地内に組まれていた工事現場の足場（高さ約7m）から落下してきたものであった。当日は、特に指示もなく通常通りの業務を行って	51	40301	4	30～ 49

			いた。				
2017	7	15~16	店内レジでトタン平板のバーコード部分をレジスキャナーで読み取りやすい向きへ変えようと持った際に、トタン板の端部分で右手中指を切った。出血が止まらなかった。	17	80209	8	30~ 49
2017	7	16~17	場内において鉄塊を切断作業中誤って切断した鉄塊の一部（重さ約100kg）を高さ25~30cmから左足もとに落とし左足の指（第二趾~第四趾）を損傷したもの（当時安全靴は着用していた）。	24	150102	4	1~9
2017	7	13~14	当社の厨房にて、フライヤーの油の交換中に、油の入った一斗缶を持ち上げたところ手が滑り、床に落とし、その際に開口部で右手親指を負傷したものである。	27	140201	8	10~ 29
2017	7	9~10	当社工場内に於いて、鉄骨仕口組み立てで鋼材1500×350×35×28長さ975mm重さ500kgを高さ30cmの作業台上での製作作業中、仕口の両方にクランプを掛けて5cm程釣り揚げた際、クランプが滑り台に仕口が落ちバウンドして土間に落下し、右足安全靴先端部に仕口が当たり右あしを負傷した。	60	11001	4	1~9
2017	7	11~12	農産物加工施設新築現場にて、脚立に昇り高さ1.2mの所でサッシ枠にモルタルを充填する作業を行った。作業が終了し、建物の梁に架けた安全帯を外そうとしたところ、梁にフックが引っ掛かったため、ロープを強く引いたらフックが急に外れ顔に飛んで来て左まぶた上に当たり負傷した。	48	30301	6	1~9
2017	7	9~10	レーザー作業中、作業台に置いてあるレーザーの加工材料にひっかかり、転倒してしまい右膝を負傷。	45	11403	2	1~9
2017	7	14~15	工場内でパイプの溶接・切断作業中に工場内を走行していたフォークリフトがパイプに接触したため、パイプがずれて両足ふくらはぎに当たり負傷したものである。	44	170101	6	30~ 49
			当社、工場内に於いて、コンベア上の鋳物（砂付）をホイストクレーンで吊り上げるために、積み置きしていた鋳物を左手で引っ				30~

2017	7	8~9	張った際、勢い余ってコンベアのエッジにつかまっていた右手（中指、薬指）の方へ倒れて、鋳物とコンベアに挟まり、負傷したものの。	55	11002	7	49
2017	7	16~17	炉用変圧器（約70t）の搬出入作業に伴い2Fの変圧器室前ステージ作成時に、H鋼（300H長さ7.5m／重さ800kg）を1Fからイーグルクランプ2個を使用し、16tRcにて荷揚げを行っている際、先に荷揚げをしているH鋼の上に2段積みしようとした時、H鋼が滑り横にいた被災者の足の上に乗りがかり、H鋼と右足の甲の部分が挟まった。	28	30302	6	10~ 29
2017	7	18~19	冷蔵庫内ゴミ置場手前で、ダストカートに入っていたゴミを一旦カートから足元付近に取り出した。最後のゴミをカートから取り出し、ゴミ置場まで運ぶ際に足元にあったゴミに足をとられ転倒し、右膝を床に強打した。	56	11209	2	10~ 29
2017	7	18~19	第三包装室で製品を金属探知機へ流している作業中に、金属探知機のベルトと台座の隙間に右手をベルトに巻き込まれ挟まれてしまった。	56	170101	2	50~ 99
2017	7	16~17	麦出庫のため、フレキシブルコンテナの上で作業を行い、作業を終えてコンテナから降りる際に、左足かかとから着地し亀裂骨折したものの。	25	30209	3	1~9
2017	7	10~11	配送先にて、通常業務である、車両に積んだ荷物の積載状態をデジカメにて撮影している際に、他のパレットを移動していたフォークリフトにより、誤って接触されたため、転倒して背中から首及び足首にかけて強打し、打撲を負ってしまったもの。	18	11301	19	30~ 49
2017	7	15~16	本社、資材置場にて、屋根資材の整理点検中、屋根資材（トタン）の縁（側面）によって、誤って、指を負傷した。	48	30209	8	1~9
			工場内で、3.5m×2.5mのフレーム枠の上部を吊り、クレーンで10cm程持ち上げたところ、補強として仮溶接してあった長さ3.7m重さ35kg程度のL字アングルに負荷がかかり、外れて、2m程				10~

2017	7	14~15	の高さから、両足に補強アングルが落下し、両足の甲を骨折した。負傷した被災者は派遣社員で、派遣先である工場内での作業中に負傷したものである。	42	11301	4	29
2017	7	10~11	第8工場で300L金属性濾過器台座を斜めに立てかけた状態で、部品表面のウエスふき取りによる洗浄作業を行っていたところ、部品が後ろにずれて倒れてしまい、支えようとした左手が台座の下敷きになり受傷。	52	10809	4	50~ 99
2017	7	10~11	当社工場第8工場で300L金属性ろ過器台座を斜めに立てかけた状態で部品表面のウエスふき取りによる洗浄作業を行っていたところ、部品が後ろにずれて倒れてしまい、支えようとした左手が台座の下敷きになり受傷した。	52	170101	4	1~9
2017	7	14~15	当社施設内の廃棄物処理施設にて、横型スライドゲート（廃棄物を投入する際に開く鉄製の扉、1,000mm×1,500mm×30mm、重さ約150kg）の交換作業中2点でフックをかけてレバブロックで持ち上げ、交換した鉄板を下に置いた時、鉄板がうまくかみ合わなかったため現認者に右端を支えてもらいながら、鉄板がずれないように微調整していた際、四方の一角が外れたので足で鉄板を踏みながら、はめようとした時、下の鉄板が急に上がってしまい、上の鉄板と下の鉄板との間にはさまれる姿勢となり、腰部を圧迫される状態となり、負傷した。	38	150102	7	50~ 99
2017	7	13~14	生産が終了した型を型置き場に下ろし型に掛けてあったワイヤーロープをフックより順次外しながら被災した型と隣りの型の間に移動、次の型の移動に移ろうと操作鉤にてクレーンを南側へ移動のつもりが自分の立っている西側へ押し間違えてしまった。 又、4本のワイヤーの内1本のワイヤーが外しきれていなかったため、型が西側へ移動した際作業者の左足が型と型の間に挟まり受傷した。	21	11502	7	500 ~ 999

2017	7	11~12	当社資材置場の片付け作業中、脚立（180センチ）から降りるときに、3段目で足を滑らせてしまい地面に着地した。着地した所に落ちていた釘が、右足裏に刺さり負傷した。	55	30302	9	1~9
2017	7	19~20	会社の置場でトラックに足場の積み込み作業をしている時に、足場のパイプのバランスが崩れてしまい約40本の足場が全身にぶつかり、全身を負傷してしまった。	17	30209	5	1~9
2017	7	11~12	工場内で鉄管の解体作業中、取り外した鉄管（重さ約40kg）の両端をそれぞれ紐で結びそれぞれの紐を二人持ちで床まで降ろしているとき、高さ約2メートルのところ片方の紐が解けたためもう片方の縛られたところを支点に鉄管が振り子のように大きく揺れ落ちてきた際、床で作業していた被災者の左足甲部に鉄管がぶつかり、その部位に負傷したもの。	47	30203	4	10~29
2017	7	11~12	工場内にて、鉄筋の切断作業に従事していたところ、鉄筋を移動させる際に、鉄筋の間に右手の中指及び親指を挟んでしまい、右手中指を骨折した。	43	11209	7	10~29
2017	7	15~16	当社作業場内に於いて、高速カッターで切断作業を行うため準備中、フラット板（25t×65×3000L）を誤って落とし、左足甲に当たり負傷したもの。	20	11301	4	1~9
2017	7	10~11	被災者（以下甲という）は派遣先において棚の接続及び棚入れ作業に従事していた。甲は、同僚と共に棚の上部へ接続部品（フレーム（重さ約3kg））を取り付ける際に、手を滑らせ、右後頭部に部品の先端を打ち付けて負傷した。	24	170101	4	50~99
2017	7	11~12	交通誘導業務の休憩中、座って水分補給を行い、立ち上がったところ、立ち眩みがし、後方にある鉄板に背中をぶつけ負傷したものの。	72	170201	3	50~99
2017	7	16~17	ビン選別中ビンについているキャップを外そうとしたところ、キャップを回したと同時にビンが割れてしまい、軍手を二重にはめていたが、左手人差し指を切傷した。	68	150103	8	50~99

2017	7	15~16	外出のため、事務所を出た時、雨のため濡れていた玄関ポーチで足を滑らせ転倒した。その際、左足首を骨折した。原因雨のため滑りやすくなっていた事に気付かず、小走りに不用意に歩いたため。	65	170201	2	10~ 29
2017	7	11~12	被災者は、内装材の荷揚げ作業をしていた。トラックより1階、階段前に仮置きした断熱内壁枠（600×2500mm）を仮置き場所が狭いため、角度調整で直していた時にバランスを崩し倒れかかってきた枠を押さえて、枠の角を鎖骨部にあててしまい被災した。	29	30201	19	1~9
2017	7	16~17	自社工場内において、鉄板をシャーリングしていた。シャーリングした加工済の鉄板（縦1.2m・横40cm・厚さ2mm）を脇の壁に立てかけた。その作業が終わった際、作業着のポケットに収まっていたスケールが床に転がり、それを拾おうとしてしゃがみかけたところ、立てかけてあった加工済みの鉄板の切り口に左顔面が当たり負傷したものである。出血が酷かった。	69	11203	8	1~9
2017	7	14~15	工場塗装工程にて、620mm×520mm厚み3mm重量3キロほどの製品をパレットから塗装するため治具に引っ掛ける際、作業自体に非定常作業はなかったが製品の大小があり疲労が蓄積され筋を痛めた。	48	170101	19	100 ~ 299
2017	7	10~11	昼食弁当の配達先である配達場所に弁当を運ぼうと、配達車両からバット（おかず6個、ライス5個等）を持って降りたところ、配達車両の横にあったパイプの止め具に右足がひっかかった。弁当は落としてはいけないと思い、前のめりに左足つまさきから着地した時、体の全体重が左足親指に掛かり骨折したもの。当日は会社から湿布を2枚もらったが、痛みが続いた。	51	80209	2	100 ~ 299
2017	7	14~15	当社工場内で、チャンネル鋼（約40kg）の溶接作業中に、チャンネル鋼の向きを変えるために持ち上げたところ手が滑ってチャンネル鋼を右足の安全靴のカバーがない部分にチャンネル鋼を落としてしまい、右足1、2、3、4、5基節骨を骨折する。	28	11209	4	10~ 29

2017	7	11~12	営業所敷地内において、クレーンを使い鉄パイプ（直径63mm×長さ6.7m×重さ約50kg）3本を束ね床に降ろそうとした際、床に置いてあった鉄パイプ9本が平らに置かれていない状態にあり、尚且つその上に木材を置いたが、バランスが悪く、鉄パイプを置いた途端にその内の1本が手前に転がってしまい支えていた左手親指を挟んでしまいケガをしてしまった。	35	170101	4	10~ 29
2017	7	11~12	営業所敷地内において、クレーンを使い鉄パイプ（直径63mm×長さ6.7m×重さ約50kg）3本を束ね床に降ろそうとした際、床に置いてあった鉄パイプ9本が平らに置かれていない状態にあり、尚且つその上に木材を置いたが、バランスが悪く、鉄パイプを置いた途端にその内の1本が手前に転がってしまい支えていた左手親指を挟んでしまいケガをしてしまった。	35	80209	4	1~9
2017	7	14~15	仮設養生鉄板をフォークリフト、永磁式リフティングネットを使用し敷設作業中道路の縁石（15mm高）を乗り越えた時、鉄板が揺れて高さ60cmから落下し、鉄板の回転・揺れを抑えていた作業員の足が鉄板下方に位置していた姿勢であったため右足甲部に接触した。	64	30301	4	1~9
2017	7	10~11	FRP床版の加工作業中、加工品を並べるために準備していた架台（H鋼）が右足甲の部分に倒れ骨折した。H鋼を平行に2本並べ床版の幅に合うよう調整していたが、クレーンを巻き上げる際にフックが完全に外れておらずH鋼に引っ掛かり倒れたもの。（全治2ヶ月）	61	80109	4	100 ~ 299
2017	7	16~17	自社倉庫の平坦な場所で幅150ミリのH鋼を積み上げ重ねている作業中、左手の人差し指がH鋼同志に挟まり、その瞬間指を引っ張り指の肉が取れた状況である。	19	30199	7	1~9
2017	7	9~10	当社工場内において廃タイヤからワイヤーを抜き取る作業途中で切れたワイヤーを引っばった反動で、反対側の切れた部分が弾	42	150102	6	10~ 29

			けて、顔の右側に当たりワイヤーの一部が右眼の中に入った。				
2017	7	8~9	被災者は6tのユニック車に、ブルーシートに包まれた鉄筋を前日に積み込み、顧客先でその鉄筋を降ろすため、荷台に降り鉄筋にバンドを掛け、移動しようとブルーシートに足を掛けた時、ブルーシートが濡れており誤って足を滑らせ、その際左膝を荷台にぶつけてしまった。その後、荷台から降りようとした時、左膝を庇いすぎ誤って転落し、臀部を打ち負傷したもの。被災者は、元々足に障害のある者。	56	40301	3	10~ 29
2017	7	13~14	当社中間処理場において、トラックの荷降ろし（手降ろし）作業中に、金型のクズ同士がぶつかり、その際に鉄くず破片が飛散し、右目にあたり右目に傷がついた。	71	30309	4	10~ 29
2017	7	13~14	仕事先の倉庫で、フォークリフトの長爪を13トン車の荷台に手で乗せている時に、1人で作業をしたため、荷台が高すぎて2本目を乗せきれず、左手の薬指、小指を挟み骨折してしまった。	56	40301	7	30~ 49
2017	7	10~11	SUS看板1300×4000×1.5t73kを4人で運搬し2名が足場1800の所で支え2名（被災者）が地面で位置合わせのため、ジャッキアップ地面から200位に合わせるため、充電インパクトを使って上げていた所SUS看板がグラつき（被災者）がとっさ的に支えようと左手を看板右下と地面の間に入れてしまい看板がジャッキから、はずれ落下し左中指環指、小指不全切断したもの。	46	30302	4	1~9
2017	7	9~10	基礎部X5-Y7、Y1-Y2間の捨てコンクリートの上で地中梁（小梁）の上筋D25L10.5m41.8kgを被災者を含め4名で配筋中、被災者その他の作業員1名とでD25の鉄筋を大梁の上に持ち上げた際、右肩に力がかかり右肩の腱を痛めた。	60	30201	19	30~ 49
2017	7	21~22	トラック荷台にイントレとアンチをのせる作業を先輩と2人一組になって行っていた。アンチ部分をのせる際に、4枚中3枚を先輩がのせており、本人はトラック横にてサポートをしていたが、本人の申し出により、さいごの一枚を本人が同じように荷台にのせ	25	80209	6	10~

			た。その際、アンチがイントレにあたってしまい、トラック横（下）にいた本人にイントレが倒れてきた。頭部にあたり負傷した。				29
2017	7	14~15	工場内塗装工程にて620mm×520mm厚み3mm重量3kgほどの製品をパレットから塗装するため治具に引っ掛ける際、作業自体に非定常作業はなかったが、製品の大小があり疲労が蓄積され、筋を痛めた。	48	11209	19	50~ 99
2017	7	11~12	工場内において鉄骨の仮組をして動かそうとしたときに、鉄骨が台から滑って左親指を挟んだ。	40	10309	7	10~ 29
2017	7	8~9	自社倉庫にて鋼材出しの作業中にチャンネル（5mm×100mm×50mm重さ約50kg）を1本手で引き抜こうとした時に、その勢いで持っている方の反対側が横すべりし、手で支えきれずに手を離してしまい、右太ももから右足首にする様になって右足首を5針縫うケガをした。	45	80109	5	10~ 29
2017	7	13~14	縦走ラック作業場で出荷品を出庫しようとしている時通箱より箱に入ったモーターを1個、右手で指を一杯に広げて取り出した。その際中指付け根に痛みを感じた。	48	50101	19	50~ 99
2017	7	16~17	会社で仕入れた材料の手摺（1.8m、10kg）をトラックから降ろす作業中、手が滑って右足甲に落ちた。手渡しで作業していた。	30	30209	4	10~ 29
2017	7	17~18	トランスミッション取り付け時にミッションジャッキ上のミッションが落下してきたので、とっさに左手で支えたため左手を負傷。	33	11701	4	1~9
2017	7	13~14	水系廃棄消火器処理場にて、パッケージ型消火設備の消火薬剤を回収タンクに放射する準備中、メッシュパレット（金属製、内寸法：幅1,200m/m×奥行：1,000m/m、高さ：750m/m）に入ったパッケージ型消火設備（幅：700m/m、奥行250m/m、高さ：1,600m/m）×3台（総重量560kg）、メッシュパレット内幅（約	58	170101	7	100 ~

			1,000m/m) とパッケージ型消火設備の奥行 (250m/m×3台=750m/m) ですき間が250m/mが有り、箱の扉を開けてホースを取り出して放射準備をしたが、高さ重量が重かったためバランスが悪い状態であった。パッケージ型消火設備が傾きカゴとの間に左手第二指挟まり受傷。					299
2017	7	13~14	水系廃棄消火器処理場にて、パッケージ型消火設備の消火薬剤を回収タンクに放射する準備中、メッシュパレット (金属製、内寸法: 幅1,200m/m×奥行: 1,000m/m、高さ: 750m/m) に入ったパッケージ型消火設備 (幅: 700m/m、奥行250m/m、高さ: 1,600m/m) ×3台 (総重量560kg)、メッシュパレット内幅 (約1,000m/m) とパッケージ型消火設備の奥行 (250m/m×3台=750m/m) ですき間が250m/mが有り、箱の扉を開けてホースを取り出して放射準備をしたが、高さ重量が重かったためバランスが悪い状態であった。パッケージ型消火設備が傾きカゴとの間に左手第二指挟まり受傷。	58	11709	7		10~29
2017	7	11~12	会社の敷地内でダンプカーの荷台に上がる際、左足をステップ (地面より約60cmの高さ) に置き、右足を荷台 (地面より約1.2mの高さ) の中に入れて上がろうとし、荷台の上に立て掛けてあった鉄板10枚 (縦0.9m×横1.8m×厚さ5mm・1枚あたりの重さ約70kg) の上部に手を掛けたところ、鉄板10枚が倒れ、鉄板と荷台のあいだ (側壁) に右足の下腿を挟まれ、骨折した。	66	30201	5		1~9
2017	7	5~6	構内にて、ヘッジトリマー (ブレード長600mm) を使用して、低木 (サツキ) の刈り込み作業中、低木の上端をヘッジトリマーを横に向けて刈り込みをした後、低木の側面を刈り込みするために、ヘッジトリマーを縦向けに持ち替えようとした際、左手で前方グリップを掴もうとしたが、誤って左手薬指がヘッジトリマーの刃に接触し、薬指の先端を切断・負傷した。	66	80205	2		10~29
			当社工場1階製缶工場において定盤 (1,000mm×2,000mm高さ					

2017	7	8~9	565mm) の上に角パイプ材 (鉄製厚さ9mm、250mm×250mm×330mm約10kg) を2個積んで置き、上の角パイプ材の上面を工場研削作業中、上の角パイプ材の位置をわずかに前方へずらそうとしたところ、下の角パイプ材も一緒に動き、上下の角パイプ材がバランスを崩して下の角パイプ材が落下し、右足に当たり右第1趾を骨折負傷する。	66	11209	4	10~29
2017	7	16~17	納品先の工場での事故。通常、鋼材を手降ろしするため、5' ×10' の上に4' ×8' を重ねて積んで納品先へ向かったところ、急遽、先方がクレーンを使用して降ろすことになり、先方がハッカーを使用して少し吊り上げ被災者がその隙間に板木を入れた時、ハッカーが外れ、板木と鉄板の間に左手の人差し指を挟まれた。	50	11209	7	30~49
2017	7	17~18	工場内に於いて梁製品作業中誤ってスプライスプレートを落下させ、左足に当たり左足の薬指が負傷。	23	11209	4	30~49
2017	7	16~17	派遣先工場内作業場で、被災者が同僚社員と二人で清掃作業をしているとき、同僚社員がステンレス製の作業台を左手で持ち上げつつ右手で作業台下の清掃箇所の指示を行っていたところ、左手から台を取り落としてしまい、台の下で清掃にあっていた被災者の頭部にぶつかり負傷した。	47	170101	4	50~99
2017	7	15~16	当社作業場にてミニユンボ (17.5kw) のバスケットの補強作業を行っていた。バケットの爪の裏側に鉄板 (約1.5kg、300×100×10mm) を仮付けしようとして右手で鉄板をバケットに合わせ右側に置いてあった電気溶接機を取ろうと鉄板を左手で持ち替えようとした際、誤って手を滑らせ鉄板が長靴を履いていた左足甲上に落下し受傷した。	62	40301	6	1~9
2017	7	15~16	材料置場のテント内において、材料 (コイル状) の下に敷くレーンを2人で移動させていた。その最中に立て掛けていた材料が後方から倒れてきて下敷きとなり、肋骨・背骨を負傷した。	48	11202	5	50~99

2017	7	13~14	病院内の厨房に於いて、調理師がグリストラップを清掃するため鉄製の三枚蓋の内一枚だけを開けてゴミ受けザルを洗浄中、本人が誤って右足を踏みはずし、右太ももを蓋の角で強打した。	50	130101	9	10~29
2017	7	8~9	原資材センターにて仮設資材の整理作業中金物カゴから部材（隙間ステップ）を取り出す際に手元がずれてしまい、カゴと手に持った部材の間で手を挟んでしまい負傷した。	30	30209	7	1~9
2017	7	21~22	当社、前処理結束場にて製品（H枠100×100×長さL約7m、幅約1.3m1本約470kg）5本を立てて並べ製品の間前処理治具を入れて結束作業中。治具のピンが入りにくかったため、治具を手で動かした時、並べていた製品が倒れ後部に置かれていたHR柱との間で挟まれ、負傷した。	48	11204	7	50~99
2017	7	15~16	工場内の製品置き場で鉄板（約200kg）を移動させる際、リフトですべきところを手で持ち上げた結果、鉄板に敷いてあった台木との間に左手中指を挟み負傷（骨折）した。	37	11204	7	10~29
2017	7	11~12	金型交換中誤って左手中指を挟み負傷する。	54	11203	7	1~9
2017	7	15~16	上記被災場所にて鉄屑についている木材をかなづちとバールではがしていた時に、皮手袋をしていたが、そのうえから鉄屑で右手を切り、縫合する負傷をした。	16	30209	8	1~9
2017	7	16~17	H鋼の上に置いていた製品の仕上げをするために登ろうとした。H鋼に手を掛けた時にH鋼のバン木が不安定だったためH鋼が、たおれ、両足を挟み骨折した。	18	11209	7	1~9
2017	7	13~14	鉄鋼アーケード解体工事作業中、鉄骨の柱が落下した際、左足に当たり負傷した。	66	30209	4	1~9
2017	7	16~17	資材置き場において鉄筋D51、L=400mm（約6kg）を研磨作業している際に加工台に仮置きしていた鉄筋が転がり左手中指に落ちて負傷した。	25	30209	4	1~9
			冷蔵倉庫増築工事で、床鉄筋を鉄筋上を歩いて手運搬中、鉄筋に				

2017	7	9~10	足を突っ込みバランスを崩し安全靴が脱げてしまった。左足が裸足になった状態で倒れ込み、着地した場所に、機械式ラック設置用に配置されたアンカーボルト（径9mm、高さ105mm）があり、それを踏み抜いた。	39	30201	9	50~ 99
2017	7	10~11	勘兵衛ヤード形鋼倉庫内において天井クレーンで製品（形鋼用）を移動先の置き場所に搬送し下ろそうとした時吊り荷が別のはい山に接触し製品が落下した。その時ワイヤーを外すために追従していた被災者に衝突し負傷した。	21	11009	4	10~ 29
2017	7	15~16	鉄筋加工中に、材料ふりまわしている際頭部にあたって切った。	48	11209	6	1~9
2017	7	14~15	工場構内のガントリークレーン10t北にて、8mの鉄パイプ200A3本を平行にあだ巻きにて運搬横行中に、ガントリーの南側柱に当たりパイプが跳ね上がり、左手の指3本をパイプに挟み受傷した。	33	50101	7	1~9
2017	7	13~14	家屋解体工事中、1階付近で鉄骨ALCバラシ・ガス溶断・合番作業中、重機が2階から1m×1mのALCを降ろしていた。その際、2階に残っていたALC1枚がずれて落下、ヘルメットの上から頭に直撃した。すぐに作業を止め、現場で様子を見たあと、事業主に家まで送ってもらった。	42	30209	4	1~9
2017	7	3~4	高速道路メンテナンス関西において、仕事が終わり、後片付けとして資材車の荷台からテラスター（荷物）をおろすパワーゲート（資材車後）に右足をかけ、飛び乗ろうとした際に片足が上がり、左ひざを強打した。	23	11009	4	1~9
2017	7	16~17	13SCドライバーのロール交換をし、二人でロールを移動しようとした。選別台から階段を下りて下に運ぶ際、狭いためロールを仮置きして階段の上下に分かれようとした。その際、ロールを仮置きした場所が不安定だったためロールが転がり落ち階段下に降りようとした被災者の右手中指に当たり、骨折した。	26	10402	6	100 ~ 299
			荷卸し先の作業場内に駐車し、荷主の方が、積み荷（H鋼）を降ろしてくれるのを待っていた。作業が進む中、スタンプンが邪魔				

2017	7	8~9	<p>になったため、運転手が荷台に上がり、スタクションをはずしていた所、天井クレーンのオペレータが、運転手が、まだH鋼の上にいるにもかかわらず、突然荷物を吊り上げ、横並びに括っていたH鋼が崩れて、その間に足を挟まれて受傷した。安全靴は、履いていたが、足がつぶれたようになり、裂傷を負ったものである。</p>	60	40301	7	30~ 49
2017	7	11~12	<p>弊社工場内において、H鋼（高さ300mm×幅150mm）を切断する作業中、寸法を測ろうとH鋼の上に上がり移動中、誤って、右足を踏みはずし、右膝に全体重がかかったのが負傷の原因である。 (当日は様子を見て、終業時刻まで仕事をしたが、痛みが続いた。)</p>	40	11209	1	1~9
2017	7	8~9	<p>当社倉庫前道路に止めてある客先のトラックにワイヤーメッシュ（φ6.0mm1×2m）を積み込む作業において、フォークリフト特（6456）に当該ワイヤーメッシュを約60枚重ねて、トラック荷台に横付け後、トラック荷台に移動して、フォークリフトで運んできたワイヤーメッシュをトラック荷台に積み込もうとした時、フォークリフトのツメが傾斜しすぎていた関係で当該ワイヤーメッシュが自分の身体の方に滑ってき、それにあたり負傷した。</p>	35	80109	8	1~9
2017	7	14~15	<p>倉庫でパイプを片付けている時束になっていたパイプの上に乗っていたら結束が不十分なため、束が倒れて足を挟んだ。</p>	22	30209	7	1~9
2017	7	14~15	<p>工場で、作業を終え、移動しようとした。移動するために、右足を架台に乗せ、乗り越えようとした時、足がふらつきバランスを崩し、右側の側面にある鉄に手をついて鉄が倒れた。その際右足首部位が接触して被災した。</p>	29	11209	3	100 ~ 299
2017	7	8~9	<p>工事現場で、2階II工区の柱主筋圧接作業のため、床に置いてある柱主筋材のサンダー掛けをしようとしたところ、型枠材1枚が鉄筋上にかぶさっていたので、それを取り除こうとした時、足元にあったHOOP筋につまずいて転倒し、左足を負傷した。</p>	56	30201	2	10~ 29
			取引先にて、ガソリンの地下タンクの残量確認作業中、地面にあ				

2017	7	14~15	る地下タンクの蓋（マンホール小程度の大きさ）を開けようと中腰になり右手で引っ張り上げたところ、右腰に痛みを感じた。その時は歩ける程度だったため当日はそのまま仕事をし、帰宅した。その晩、夜中にトイレに行こうと起きたところ、激しい痛みで歩けなくなった。全く動けない状態が続いたため会社を休み、少し歩ける状態になった。	47	80204	19	10~ 29
2017	7	9~10	当社工場内で搬入されたH型鋼（125cm×125cm×6.5cm長さ11m×5本を番線でくくったもの）を、クレーンのクランプを付けて鋼材を起こす時、クランプのボルトに引っかかって傾き、自分の後ろにあった他の鋼材の間に両足を挟まれ、左足すねとふくらはぎを負傷した。右足は軽症だった。	46	11209	7	1~9
2017	7	9~10	工場内で建築資材を運んでいたところパレットに足が挟まり、バランスを崩して鉄骨（チャンネル）に手をついて鉄骨が倒れ掛かった。避けきれずに左足首の上に鉄骨が倒れて負傷した。	59	11301	6	1~9
2017	7	13~14	ボール盤（穴あけ機械）のテーブル上に機械部品（鉄板）をのせ、複数の穴をあける作業をしていた。次の穴をあけるため鉄板をずらそうとした時、手が滑り、鉄板が左足親指付け根辺りに落下した。安全靴を履いてはいたが負傷した。	62	11305	4	1~9
2017	7	14~15	山にある会社の資材置場にて、堰の土砂片付け作業中に、倒れた鉄柵を片付けようとしていた。鉄柵が被災者の右足に20cmの高さより落ちた。	39	80109	4	1~9
2017	7	9~10	住宅足場組立て業務作業中、1段目（2m位）にいる同僚に鉄製部材（1800手摺）を渡したが、同僚の手がすべり落下した。「あぶない」との声に振り向いた際、部材が右側顔面に当たり右頬骨上顎骨折した。飛ばされ、右足も負傷した。	51	30202	4	1~9
			貯水池工事で岩掘削（火薬使用）にて、クロラードリルを使用した穿孔中に、オペレーターはロッドが閉塞したため一度解消する				

2017	7	9~10	ためにロッドを一旦穿孔中の孔から抜き差しする操作を行った。 被災者は穿孔が完了したと思い、孔の入口付近に蓄積された粉で孔が塞がるのを防ごうと手で払いのけようとした瞬間、オペレーターは穿孔が完了していなかったため、再開しようとロッドを下げたため、孔とビットに右手を挟まれて負傷した。	22	30107	7	1~9
2017	7	11~12	作業場にて物置の運搬を容易にする為に物置を作業台にあげて物置下に土台をつけたり、ワイヤーをかける作業中作業台がはずれ物置が滑り落ち足を負傷した。	74	30202	6	1~9
2017	7	9~10	馬鈴薯の別選作業場でスチールコンテナをセットしている際。足元が濡れていて足が滑り転びそうになったためスチールコンテナの小秤を右手位から落とし右足に落下したもの。事故の際安全靴を着用していなかった。	58	10109	4	10~29
2017	7	10~11	工場で吊り物をしている時に横にあったH鋼に引っ掛かり、その物がたおれて足首にあたりけがをした。	59	11209	5	1~9
2017	7	1~2	26?ルート（2工区）立坑ライナープレート6段目（G?-3.5m）設置作業時において、クレーンにより地上から吊下されたライナープレート（38kg/枚）を設置作業をしている者に手渡しをする際によるめき、持っていたライナープレートを倒しそうになった所を咄嗟に押さえた際に左手首を負傷した。	23	30199	19	1~9
2017	7	16~17	プラント設備修理中の設備を回転させる作業に当たっていて、吊り支点となる鉄骨部材をはわせチュシブロックにて巻き上げた際、支点となる部材がたるみ落下し被災者の後頭部に当たり、はずみにて倒れ前頭部を負傷した。	49	30302	5	1~9
2017	7	9~10	会社工場内の塗装小屋において室内クレーンを使い製品の整理の作業をしていたところ、吊り具を製品に引っかけてしまい、そのはずみで製品である鋼材（1.5t）が倒れ、本人の両足大腿部を直撃したものである。	26	11209	5	10~29
			橋脚足場上で、上部にある吊足場の一時的な開口部を復旧する作				

2017	7	14～ 15	業中、上部作業員が準備した一本の足場板結束用の番線を引っ張ったところ、番線の一部が上部足場に緩衝し跳ね左眼球に当たり、損傷した。	60	30105	8	10～ 29
2017	7	16～ 17	自社の作業場にて型枠積み込み、積おろし中トラック荷台より足に落下し、右足親指骨折した。	62	30309	4	1～9
2017	7	9～ 10	店内でのオープンフライヤーのショートニングチェンジ作業中に、まだ冷め切っていない排油が5分目まで入ったショートニング缶を外倉庫の排油置き場へ運搬する際、ショートニング缶の折り目をダスター越しに握っていたところ、手を滑らせて落とし両大腿部から両脛にかけて約35cm右足の甲を約12cm左足の甲を約10cm火傷した。	38	140209	11	10～ 29
2017	7	11～ 12	当社加工場内に於いて、鉄筋鋼材の加工作業に従事中、鉄筋（長さ3.5m）を8本加工機械の台上に平らに並べて鉄筋の曲げ加工をしていたところが、その中の一本の鉄筋がやや傾斜していた為に突如加工台（高さ80cm）から落下して作業中の当人の左足に当たり、鉄筋の切先で小指を切傷し、小指の骨を折る負傷を負ったものである。	64	11209	4	10～ 29
2017	7	10～ 11	洗砂池掘削作業中、バックホウのバケット爪が緩んだ為、ピンの交換をしようとしたが、ピン穴が合わず爪先を石頭ハンマーで叩いた際、被災者の左目に金属片が刺さった。	18	30109	6	50～ 99
2017	7	13～ 14	工場内で塗装作業中に養生鉄板で保護していたのを忘れ、後にしゃがもうとした時に尿道付近を強くぶつけてしまった。	22	30301	3	10～ 29
2017	7	15～ 16	弊社第二工場のプレス作業中、成形に必要な材料を端材部分を手で持って引っ張る工程がある。その際に鋭利になっている部分を手でつかんで引っ張り作業を行なってしまったため、作業者が右手親指付け根に切傷を負った。	28	11502	8	50～ 99
		10～	工場内で長さ1400mmのH鋼6本をクレーンにて移動させている時に				

2017	7	11	H鋼を支えていた左手をH鋼に挟んでしまい薬指を骨折したものである。	31	11209	7	1～9
2017	7	8～9	約15kgの鉄の板状の部品にサンダーで表面を研磨していた際、裏面の研磨作業をしようと裏返しにしようとしたところ、作業土台と板上の部品の間で左手を挟んでしまい中指第一関節を負傷した災害である。	57	11009	7	30～ 49
2017	7	15～ 16	当社工場内において、製品の建築用ベース金物（150角型鋼：高さ300mm・厚12mm、ベースプレート：300×300・厚16mm・約25kg）のロボット溶接後の点検をするため、作業台の上に製品を並べていた。作業台の上に製品を2段重ねで並べていた際、上段に重ねようとした製品が上手く載らずに、作業台の上に倒れ落ちてきてしまい、軍手をしていた右手の甲に製品がぶつかり、負傷した。	62	11209	5	50～ 99
2017	7	8～9	当社資材置場兼加工場において、屋根部材の鋼板（4000×700mm、1枚約2kg）の曲げ加工中、加工後に機械の手前に設置していた受け台（高さ約1m）に置き、鋼板20枚程度を繰り返し作業して、受け台に重ね置いていったが、重ね置きした鋼板を手前に引いたとき、受け台が手前に傾き転倒し、重なった鋼板が被災者の左足元に直撃し受傷した。	19	30209	4	1～9
2017	7	8～9	約15kgの鉄の板状の部品に、サンダーで表面を研磨していた際、裏面の研磨作業をしようと裏返しにしようとしたところ、作業土台と板上の部品の間で左手を挟んでしまい、中指第一関節を負傷した。	57	170101	7	500 ～ 999
2017	7	14～ 15	当社資材置き場において、トレーラ車に鉄骨を積み込む作業をしていた際、速足にて場所を移動中、近くに置いてあったH鋼側面から突出しているプレート部分の角に左足の脛部を強打し、転倒した際に怪我をした。	41	11209	3	1～9
			会社工場内において、スポット溶接機を使って、自動車部品（約1m30cm×25cm×5mm、2kg）を自動溶接していた際、溶接し終え				

2017	7	13~ 14	た製品を機械から取り出そうと右手で製品を掴もうとしたところ、手が滑って製品が倒れてしまい、倒れた製品の角が左腕に当たって負傷した。	38	11502	4	50~ 99
2017	7	11~ 12	当社工場内において、鋼板1枚を移動させる際、ハッカーで両側を引っ掛け吊り上げたとき、片側が2枚引っかかっており、2枚かかっていた方のハッカーが外れてしまい、鋼材が片側だけに吊っている状態で斜めになり、横にスライドして左足を挟んでしまった。	21	11203	4	100 ~ 299
2017	7	1~2	派遣先において自動車部品の製品を鋳造作業中、製品を金型から取り出した際、半固形だったため、溶けた材料が安全靴の中に入れてしまい、左足を火傷した。	19	170101	11	50~ 99
2017	7	1~2	派遣先において自動車部品の製品を鋳造作業中、製品を金型から取り出した際、半固形だったため、溶けた材料が安全靴の中に入れてしまい、左足を火傷した。	19	11502	11	30~ 49
2017	7	11~ 12	トレーラフレーム組立定盤の上で、部品の錆取り作業中、部品の穴に指を入れて移動させたときに、定盤から部品がずり落ちて、左手人差し指を挟んでしまった。	28	11502	7	10~ 29
2017	7	15~ 16	立てかけてあった鉄板の塗装をする際に、とめてあった受け台を外して作業しようとしたとき、自分の方に倒れてきた鉄板（200kg～300kg）の下敷きになり、顔面を打ち負傷した。	26	30209	5	1~9
2017	7	11~ 12	塗料廃棄置き場で、廃棄塗料をドラム缶へ捨てようと右手で取っ手を持ち、左手を缶の下に添えて傾けた。その際、塗料が跳ねて顔に付着したため左手を離し、塗料缶を下に降ろそうとし下げたが、塗料缶がドラム缶に当たり、右手が塗料缶の中に入ってしまった。慌てて引き抜こうとした際、右手首を缶の切り口に引っ掛け、裂傷を負った。	48	11509	8	300 ~ 499
			営業所にて、足場をトラックへ積込む作業終了後、積荷の調整用				

2017	7	8~9	に使用していた鉄パイプ（長さ1m、幅5cm、重さ2.8kg）を、積荷の上にいる作業員から下にいる本人が受け取る際に、右手を差し出したところ、パイプが偶然右手薬指にはまってしまい、そのままパイプが倒れる際に重さに耐えられず、右手薬指を骨折した。	33	30309	7	10~ 29
2017	7	9~10	場内倉庫作業中、ガードフェンス（1800×1800）の山を（約60枚）移動しようとしたところ、資材の不安定を直そうとフォークリフトから降りて作業をしていたときに荷崩れし、高さ約2mから左足に落下させてしまい、左足腓骨を骨折した。	51	80409	4	1~9
2017	7	11~12	レストラン店舗内厨房にて調理作業中、床が濡れていたため、排水溝の蓋と床の境目辺りで滑って転倒し、左手と臀部を強打し負傷した。	54	140201	2	30~ 49
2017	7	13~14	弊社工場に仮組してあるオープンシールド機に、排水ゲート（重量約245kgのプレート構成の製品）を、高さ2m50cmから門型クレーンで吊具（縦吊りクランプ）を使用して入れ込む作業の際、製品が斜めになり入り込まなかった。作業員は脚立に乗りクレーンフックを下降させ、吊具の縦吊りクランプが弛んだ状態で手で揺さぶったところ、製品が吊具から外れ落下した。その際、落下した製品が作業員の右手等に接触したあと脚立にも接触し、その反動で作業員は脚立から転落し負傷した。	32	11209	4	1~9
2017	7	14~15	U字溝（道路端にある連結式の排水溝）の工事で、歩行者誘導中、U字溝の蓋の角に右足をとられて躓いた際に打撲被災した（鉄製安全靴装備）。被災後も勤務をしており、当初は何ともないと思っていたが、次第に痛みが出てきた。	53	170201	3	100 ~ 299
2017	7	9~10	置場で足場材等の整理片付けをしている際に、パイプに左人差し指を挟んで負傷した。	46	30209	7	1~9
2017	7	10~11	基地トロリー庫内レール置場にてレール加工の作業中、切断したレール（L12.5m）を山越器を使用して仮置きをしようと吊り上げた際、若干山越器が傾いていたため、レールが壁側に横流れし、	63	30209	7	1~9

			レール置場のレールとの間に指を挟み負傷した。				
2017	7	3～4	駅内工事で、脚立に乗ってメッシュシートビス止め作業中に、切粉が目に入り刺さった。そのとき、目の防護（ゴーグル）等はしていなかった。	29	30209	4	10～ 29
2017	7	16～ 17	倉庫にて、製品（厚さ200mm、幅405mm、長さ約9000mm、1ロット）をクレーンを使って移動していた。揃え重ねて置くため横にある製品の上にあがり、中央部分に近づこうと歩いていた。その際、右足が滑り右膝から製品の上に転び、右膝脛部分をつきながら滑り、製品の角部分で右膝脛部分を切り、負傷した。	20	11209	2	10～ 29
2017	7	0～1	駅構内にて踏切内のレール交換中、受台に仮置きしたレールが、山越器を取り扱っていた作業員の左足踵に倒れ受傷した。	29	30104	4	50～ 99
2017	7	11～ 12	本社工場棟で、2人1組でパネルの枠入れ作業をしているとき、パネルの鉄板を持ち上げる際に相手とタイミングが合わず、焦ったため手を滑らせ、鉄板の切りっぱなしで鋭くなっている所で右掌を切り負傷した。	36	11301	8	50～ 99
2017	7	15～ 16	鋳物製品を仕上げ中、不安定な状態で削っていたため、製品が足の上に倒れた。	29	11002	4	—
2017	7	17～ 18	工場内で、厚さ1cm・直径1.5mサイズのステンレス製の板をステンレス加工機まで運ぶため、別の工場作業員と2名で持上げたとき、右手を滑らせてしまい、右手の親指の付け根に直撃し、損傷した。	41	11209	4	50～ 99
2017	7	17～ 18	工場内で、厚さ1cm・直径1.5mサイズのステンレス製の板をステンレス加工機まで運ぶため、別の工場作業員と2名で持上げたとき、右手を滑らせてしまい、右手の親指の付け根に直撃し、損傷した。	41	170101	4	100 ～ 299
2017	7	4～5	改良工事において、PCパネルの撤去・設置の作業終了後、レールスクーターに添乗し、線路退出箇所へ移動中、眠気に襲われ、	40	30203	3	10～

			レールスクーター床面から右足を落したため、スラブ版角に接触し、足を骨折した。					29
2017	7	11~12	解体工事作業中、現場内に落ちていた木の板にクギが刺さっていたが、それに気付かず踏んでしまい、クギが上を向いて刺さっていたため、左足裏上部を負傷した。負傷日より痛みは少しあったが、仕事ができる程度の痛みだったため就業を続けたが、痛みが酷くなってきた。	51	30202	9		1~9
2017	7	14~15	工場内で電話中、音声聞き取りにくかった為、工場外へ電話をしながら出ようとしたとき、切断後の端材に足が引っかかり転倒し、左膝を床に強打し負傷した。	53	11301	2		50~99
2017	7	9~10	検査作業場にて、ベンチ上面パネル（単量250kg、幅600mm×長さ2,200mm）の測定を終了したあと、高さ60cm程の検査台から床にマグネット付きのホイストクレーンで降ろそうとした。その際、床まで高さ30cmの辺りまで下降したときに、ベンチ上面パネルが落下して、本人の右足親指と人差し指に当たり負傷した。	23	11002	4		100~299
2017	7	7~8	当社資材置き場で、足場部材を積んだトラックのバタを開いたときに荷崩れし、左手拇指・示指の間を部材と荷台の床に挟まれ、打撲した。	19	30209	5		10~29
2017	7	9~10	工場内で仕上作業中、作業台へ鋳物をのせる際に、誤って指を挟んでしまった。慌てて指を抜こうとして、右手中指を負傷した。	28	11002	7		10~29
2017	7	9~10	鋼材（φ53、L5700mm、W96kg）を開束する際、使用途中の鋼材が転がり落ちないようにしようと、左手で支えながら右手で開束した。その際に、使用途中の鋼材が左手の上に落ち、搬送台と鋼材に薬指が挟まれ怪我をした。作業者は、開束の際は手を入れてはいけないと教育されていたが、事故のときは作業を進めようと焦っていて、手を出した。使用途中の鋼材も通常では後端に合わせる決まりになっていたが、使用途中の材料の長さを後端に合わせてしまうと、2点吊りクレーンの片側でしか吊れず、2点吊りのク	41	11502	7		100~299

			レーンで安全に吊るために中心近くになっていた。				
2017	7	9～ 10	鋼材（φ53、L5700mm、W96kg）を開束する際、使用途中の鋼材が転がり落ちないようにしようと、左手で支えながら右手で開束した。その際に、使用途中の鋼材が左手の上に落ち、搬送台と鋼材に薬指が挟まれ怪我をした。作業者は、開束の際は手を入れてはいけないと教育されていたが、事故のときは作業を進めようと焦っていて、手を出した。使用途中の鋼材も通常では後端に合わせる決まりになっていたが、使用途中の材料の長さを後端に合わせてしまうと、2点吊りクレーンの片側でしか吊れず、2点吊りのクレーンで安全に吊る為に中心近くになっていた。	41	170101	7	30～ 49
2017	7	8～9	工場内で機械くずの解体作業中に、落下防止（可動防止）を実施せずに、テンションをかけていたモーターのボルトを緩めてしまい、ボルトが外れ、それが原因で可動部が動いてしまい、身体を挟んでしまい、腰部を骨折した。	37	11209	7	30～ 49
2017	7	16～ 17	鑄造棟において、溶解された銅合金を柄杓の7合目まで入れたものを持ち、2～3歩歩行したところバランスを崩し、こぼれた銅合金が足にかかり負傷した。	49	11302	11	10～ 29
2017	7	13～ 14	当社工場内で、製品のダクト（直径510mm×長さ2500mm、重さ40kg）を2人で運んでいるとき、それを下に降ろすときに手が滑り、不安定になったのでそれを止めようと、咄嗟にダクトの中に右膝を入れて負傷した。	55	11209	3	10～ 29
2017	7	11～ 12	棚板塗装作業中、金属製の棚板が掛っている塗装ラインから棚板を取り外して降ろすとき、左手首を捻った。	47	11209	19	10～ 29
2017	7	10～ 11	鉄の板（400×1000）を抜く作業をしていた際、抜いたスクラップをスクラップ入れに投げ込もうとして、エッジが手に引っ掛かり、右の手の平を切った。	60	11203	8	10～ 29
2017	7	22～	店舗内厨房にて、止め金具の付いた布巾を洗おうとしたとき、止め金具が外れ、布巾を絞る作業をしていた被災者の右手薬指に刺	22	140201	8	10～

		23	さり、負傷した。					29
2017	7	15～ 16	外壁に使用する板金（長さ2m、幅20cm、厚さ0.3mm）を切断機で切断中、板金で右手親指をスライドし切傷した。	37	30209	8	1～9	
2017	7	9～ 10	鉄骨造4階建て新築工事の現場で、1階の段ボール作業室にて、床嵩上げコンクリート打設中に、立て掛けていた建具枠が倒れてきて、被災者の腰とふくらはぎに当たった。	46	30201	5	100 ～ 299	
2017	7	13～ 14	工場内で、自動切断機により切断された丸鋼（直径30.2mm×長さ153.5mm、0.98kg）が、排出口より鉄箱に自然落下（高さ300mm）するとき、同時に別箱へ詰替手作業する作業員が、誤って右手を落下ルートに入れてしまい、手首甲側を切創した。	67	80109	8	10～ 29	
2017	7	10～ 11	プレス用コイル材の搬入準備のため、立て掛けてあったコイル材（重量250kg）にワイヤーを掛けるため、少し傾けたとき、コイル材が倒れ、足が挟まれ負傷した。	55	11209	4	10～ 29	
2017	7	9～ 10	ゴンドラの解体作業中、柵を取り外すためにボルトを取り外したところ、柵が床に着いていた左手に落ち負傷した。	55	30199	4	1～9	
2017	7	14～ 15	工場内の入口付近で、C型チャンネルで組んだ製品（横2800、縦1300）を脱脂中に、本人が製品に当たり倒れ掛けたときに、倒れないように押さえた結果、足の上に製品が倒れ、安全靴を履いていたが、足の甲に酷い腫れが生じた。	45	11204	5	10～ 29	
2017	7	14～ 15	工場にて不要な鉄板を片付け中、鉄板に親指が当たり負傷した。	46	11209	8	1～9	
2017	7	9～ 10	材料置場で材料を支えていた際、材料が倒れて来て、右足が挟まれた。	36	11209	5	10～ 29	
2017	7	16～ 17	組立作業中、部品を持ち上げる時に足元からふらつき、安全靴を履いていたにもかかわらず、左足甲に部品が落ち、骨折した。	41	11209	4	10～ 29	
2017	7	14～	クレーンで鉄板を持ち上げた際、出来た品物も一緒にハッカーに引っ掛かり、品物が落ちたときに右手の指に当たり、人差し指を	61	11209	4	10～	

		15	骨折した。					29
2017	7	9～ 10	ホイストのフックを上昇させているとき、フックが金型ラックの下部に引っ掛かり、かけていた金型が落下し、咄嗟に足を後方に引いたが間に合わず、安全靴の鋼板外の左足親指付根に当たり骨折した。	44	10805	4		50～ 99
2017	7	16～ 17	材料（ブリキ板）の梱包を解くため、巻いていた帯鉄を切断する際に、弾けた帯鉄で誤って右手親指を負傷した。	25	11209	6		30～ 49
2017	7	14～ 15	工場内の材料ストックヤードにて、材料の仕分け作業中に鉄筋資材の上（高さ1.7m）を移動していた。移動中にバランスを崩して転落し、コンクリート床に身体の右側から落ちて被災した。	64	11209	1		30～ 49
2017	7	11～ 12	会社内で荷物（鋼線）を出荷するため、軽トラックの荷台に鋼線束（1束約25kg）を積み込もうと持ち上げた際、腰に痛みを覚えた。	63	80101	19		10～ 29
2017	7	11～ 12	現場で70kgの鉄板を2人で下ろす作業をしていたとき、バランスを崩してお尻から転倒し、腰と肩から背中にかけて打撲した。	44	10807	2		1～9
2017	7	14～ 15	堰折場でオシレート上の製品を解く作業をしていたとき、オシレート（高さ70cm）上に詰まった製品があふれて、製品（重さ18kg）が甲カバー付き安全靴の上に落下した。	46	11002	4		100 ～ 299
2017	7	14～ 15	堰折場でオシレート上の製品を解く作業をしていたとき、オシレート（高さ70cm）上に詰まった製品があふれて、製品（重さ18kg）が甲カバー付き安全靴の上に落下した。	46	170101	4		50～ 99
2017	7	11～ 12	土場にて、トラック荷台のボデー板の張替えのため板を剥がしているとき、インパクトドライバーでビスが抜けなかったため、バールで板を剥がしていたところ、かけていたメガネの隙間からビスの破片が飛んで来て、右目に当たったものである。	58	10401	4		1～9
		11～	工場内において、作業台の上に重ねて置いてあった製品（ボックス文字）を同僚と持ち、塗装前の吊り掛け作業を行っていたと					30～

2017	7	12	き、重ねてあった製品の一番下が鋭利な品物であったため、その先が右脚太もも横の部分に刺さり負傷した。	33	11209	8	49
2017	7	20～ 21	ウォーマーからグラタンの入った銀器を取り出そうとした際に、ウォーマー内の棚から銀器が滑り出てきて、その銀器が両手の甲（指の付け根辺り）に当たり火傷を負った。	24	140101	11	300 ～ 499
2017	7	8～9	型枠組立中、つま枠に部材を取り付けているとき、つま枠を支えていた厘木が倒れ、つま枠が倒れてきた。	47	10901	5	10～ 29
2017	7	17～ 18	造船所構内において、ホースパイプを正規位置に持っていくために同僚がクレーンで吊って引き上げていた。このとき、ホースパイプの向きが合っていなかったため、被災者がレバブロックを使用してホースパイプを回転させようとしたところ、本来かかるべき方向とは違う向きの力がピースにかかり、ピースが被災者の方向へ飛んできて、それが足に当たって受傷した。	55	11501	4	50～ 99
2017	7	15～ 16	資材置場でトラックに足場材を積んでいたところ、足場材がトラックから落ちて、左下脇腹に接触した。当日は軽い痛みだけであったため、引き続き作業を行ったが、後日、痛みの他に貧血等の症状がでた。	37	30209	6	1～9
2017	7	9～ 10	パイル脱型場で、パイル母型に付属する継手取付板（φ80cm、重量50kg位）を転がして移動していた際、床にワイヤーがあったがそのまま転がしたところ、ワイヤーに乗り上げて傾き倒れ、足を挟まれた。	33	170101	7	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	パイル脱型場で、パイル母型に付属する継手取付板（φ80cm、重量50kg位）を転がして移動していた際、床にワイヤーがあったがそのまま転がしたところ、ワイヤーに乗り上げて傾き倒れ、足を挟まれた。	33	10901	7	10～ 29
2017	7	14～ 15	材料倉庫で鋼材を取り出す作業中、広く作業スペースを確保出来なかったため、滑り落ちて来た材料に足を挟まれた。	41	11209	4	10～ 29

2017	7	9～10	工場内で、サンダーを使って鋳造物の研磨作業をしていたとき、鋳造物を移動していたところ、鋳造物と手袋が引っかかり、約10cmの高さから100kg程の鋳造物が落ちて来て手を挟み、薬指の第一関節を骨折した。	53	11002	7	1～9
2017	7	8～9	工場でアングルを移動して、置こうとした際に手が滑り、薬指を挟んだ。	31	11209	7	1～9
2017	7	10～11	前日に持ち帰った解体材を、工場で二重配管（直径40cm、長さ5m、重量400kg）内の残留物回収のため、配管転倒防止用の歯止めを実施しようとした際に、中央突起配管部を固定していた作業員が手を放した瞬間に、配管が反対側に回転し、歯止めをしていた別の作業員（被災者）が、歯止めを使用した鉄製アングルと配管との間に左手小指を挟まれ、負傷した。配管端には、小径の配管切り口があり、切り口の尖った箇所と歯止めの間に左手小指が挟まれた。	40	30209	7	1～9
2017	7	8～9	取引先の営業所の倉庫において、依頼を受けた荷物（軽天材を束ねたもの）をトラックの荷台より下ろす作業中、2人で束を持ち地面に置く際、束の向きの前後を変えていたとき、軽天材の角が左腕に当たって、左腕を裂傷したものである。	52	40301	8	10～29
2017	7	11～12	110tプレス部署において、鉄パイプのプレス作業中、通常はプレス機から加工が完了した鉄パイプが、内部の払い出しシリンダーにより40cm程度機械の外に押し出されるため、それを取り出す作業を行っていた。受傷当時は数センチのみ鉄パイプが外に押し出されており、内部で鉄パイプが引っ掛かっていたため、非常停止ボタンを押して上長を呼ぼうとしたとき、鉄パイプが急に飛び出し、右の手の平に当たり受傷した。	55	170101	6	10～29
2017	7	16～17	弊社出張所車庫内にて、作業準備のため資材整理を行っていたとき、H鋼ピース（H400、L0.1m、65kg）を抱えて運搬中に、持ち替えようとしたところ保持しきれず、腰高（約0.7m）から右足背	49	11209	4	10～29

			部に落下させて受傷した。				
2017	7	16～ 17	船底部（高さ約1.5m）の左舷表のシーチェスト（海水吸水用の箱形状の窪み）内部の水洗い作業に従事していた。作業を終了し、脚立を使用して降りたとき、格子状の蓋が倒れてきた。その際、左手薬指が格子止めピースに添えてあったため、格子状の蓋と格子止めピースとの間に挟まれて受傷した。	27	11501	7	1～9
2017	7	5～6	物流センターの倉庫で、トラックを倉庫に接車して荷物を積み込んだあと、トラックと倉庫の境目に渡し板として使用していた鉄板を持ち上げて移動させようとしたとき、左腕を負傷した。	35	40301	19	30～ 49
2017	7	17～ 18	鋼材をトラックに積込後、埠頭内本社車庫に帰庫し、荷締ワイヤーの整理をするため、荷台に上がり、積荷の鋼材の前部で（キャビンとの間は約70cm）、ワイヤーを左手に持ち引き上げようと後方に引いたとき、積荷の鋼材に左肘が当たり負傷した。	36	40302	3	50～ 99
2017	7	16～ 17	工場で鉄筋の加工中、材料を取りに移動していたとき、栈木に躓いて痛みがはしった。	18	30199	3	10～ 29
2017	7	17～ 18	負傷者（派遣社員）は、製品置場横作業場で、切断後の製品（50×250×190）をグラインダー処理するため、手で製品を持ち動かそうとしたとき、製品と製品の間に右手中指を挟み切創した。	26	11209	7	10～ 29
2017	7	15～ 16	工場内、作業加工場にて重さ約60kgの材料（加工前屋根材、コイル、ガルバリウム鋼板）を整頓作業中、材料が倒れるなどの落下があり、それを保護するように右手で材料を受け止めた。その際、材料と床とで右手を挟まれ、右手を負傷した。	26	30309	5	1～9
2017	7	14～ 15	工場内でスタンション切断中に、切断して落としたスタンションの脚部分が地面から跳ね返ってしまい、安全靴の金属のない部分（右足背）に落ちた。	52	10401	4	30～ 49
			農場（養豚の出荷場）の通路にて、作業に向かうため、柵を乗り				10～

2017	7	8～9	越える際に作業用の尖ったフックを誤って踏みつけてしまい負傷した。	39	80209	9	29
2017	7	9～10	砕石プラントで、コンベアベルトの修理のためモーターカバーを外す作業をしていたとき、握っていた工具が滑り、モーターを置いてある台座のH鋼で右胸を強打した。	35	20201	3	1～9
2017	9	14～15	倉庫内の片付け作業中に於いて、高さ約1.5mの積み上げた資材上から、最上部の資材がずれた為、滑り落ち床のコンクリートに全身を打った。	45	30209	1	10～29
2017	9	9～10	配管加工（65A）中において、配管を架台に固定して加工中、力を加えた所バランスを崩し転倒、足首を負傷した。	57	30302	2	1～9
2017	9	16～17	鋼材ヤードにて、角パイプ（厚さ32mm×巾75mm×長さ7m重さ49.07kg）を1本出荷の為、角パイプの端で手を寄せていたところ、隣に積んでいた同角パイプの1本が崩れ落ちて右手薬指に当たって負傷したものである。	69	11209	4	10～29
2017	9	11～12	作業台上で、シリンダーカバー（重量350kg）の向きを変えようとして吊り上げた際、バランスが崩れ、作業台から外れてシリンダーカバーが振れ、添えていた右手が近くにあった別の作業台との間にはさまれ、負傷した。	36	11501	7	1～9
2017	9	16～17	作業倉庫前において、フレコン（豆など入れる袋）を支える鉄の棒（4本足の丸リング型）を軽四から荷降ろし作業後、本人が降りる際、鉄の棒が逆になっている事に気付かず、お尻にささり重傷。	36	60101	3	10～29
2017	9	15～16	工場構内で、鉄くずをガス切断作業していた所、作業中の鉄くずの切断が終わったと思い確認をしようとした時、未切断の鉄くずが急に落下してきて右足甲にあたりひびが入った。	48	80409	4	50～99
2017	9	15～	家屋解体現場の仮囲いを解体作業中、長さ3,600mmの支柱を3本かついで運び、トラックの荷台におろそうとした時に、バランス	27	30209	4	30～

		16	をくずし、支柱を荷台の上に落としてしまい、右手の薬指の先が荷台と支柱に挟まり骨折した。					49
2017	9	11～ 12	修理現場で、ステンレス鋼板を加工中に、誤って右腕をステンレスに引っ掛けたものである。	30	30202	8		10～ 29
2017	9	8～9	設備管理室前の道路上で、長さ7m重さ38kgのリップみぞ形鋼を二人で持ち上げ移動中、前方の作業者が後ろ向きで移動した為、足元にあった65A電管につまづき後ろ向きに転倒した。その際持っていたリップみぞ形鋼の先端が股間にあたりケガをした。	66	10899	2		50～ 99
2017	9	2～3	屋外売場において、什器にのっていた鉄筋（1本4.75kg×30本、長さ5m）を2人ペアになりプラッターに移しかえていたところ、プラッターにのっていた鉄筋がくずれ、その1束が落下、その際、先端部分が足の指先に当たりケガをした。	56	80209	4		50～ 99
2017	9	11～ 12	金属材料を積み上げている台から、材料の一つを取り出そうとしたところ、積み上げている下の部分の材料を取ってしまったため、上部の材料がくずれてきて負傷したものである。	26	11209	5		10～ 29
2017	9	10～ 11	基礎工事中、碎石をならしている時、立てかけてあった、鉄板の6m/mが倒れて胸に当たった。	50	30199	5		1～9
2017	9	13～ 14	工場内にて、機械加工の段取りをする際に、材料（鉄約15kg）を持ち上げた時、右肩に痛みを感じて、そのまま病院に行き検査したところ、右腕の腱の断裂との診断だった。	53	11301	19		1～9
2017	9	14～ 15	敷地内において、生産技術課建物の解体工事（元請）を行っていた。25センチ角、長さ10m程の鉄骨をトラックで運ぶ為に溶断し、切り分ける作業中、完全には溶断できていない状態で、どのくらい溶断できているか確認する為、右手で鉄骨（約200kg）を押さえ揺らしたところ、突然鉄骨が完全に切断された。その際、手袋をしていたが、雨でぬれており、右手のみでは支えきれず下に落ち、鉄骨の間に右手人差し指と薬指を挟めてしまい負傷した。	28	30209	7		1～9

2017	9	11~ 12	プレス作業場で、部品のプレスをしようと鉄板の材料8枚同時に持ち上げ台におこうとした時、手がすべり板の中部分がずれて、すべった鉄板のカドが左うでにあたってしまい負傷したものである。	52	11502	8	10~ 29
2017	9	9~ 10	品物である（1m50cm×1m）の鉄板を左手で持ち上げた際、バランスを崩した、品物が不良品にならない様にバランスを整えた所、鉄板が左脇腹にぶつかった、その際、ゴリッという音がし、一時痛みが治まらず息も出来ない状態で床にしゃがみ込んでしまった。痛みが和らいだので仕事を続け帰宅、帰宅後痛み止めを飲み湿布を貼った、次の日、同じ箇所をぶつけてしまったが、忙しさもあり、我慢をして仕事を続けた。	51	11203	6	30~ 49
2017	9	9~ 10	品物である（1m50cm×1m）の鉄板を左手で持ち上げた際、バランスを崩した、品物が不良品にならない様にバランスを整えた所、鉄板が左脇腹にぶつかった、その際、ゴリッという音がし、一時痛みが治まらず息も出来ない状態で床にしゃがみ込んでしまった。痛みが和らいだので仕事を続け帰宅、帰宅後痛み止めを飲み湿布を貼った、次の日、同じ箇所をぶつけてしまったが、忙しさもあり、我慢をして仕事を続けた。	51	170101	6	—
2017	9	9~ 10	印刷機を使用する前の機器の洗浄作業中、インキをかき取る為のドクターブレードと呼ばれる刃を拭き掃除していた際、手がすべりその刃で左手人指し指及び同中指を切ってしまった。（耐切創手袋をうっかり着用し忘れてしまったもの。）	22	10899	8	500 ~ 999
2017	9	20~ 21	支店のホーム上で、荷物の積み込み作業終了後、渡し鉄板を立て、ラッシングベルトで固定しようとベルトに手を伸ばした際、鉄板を押さえていなかったため、それが倒れてきて左くるぶし上を強打した。何とか運転も出来そうだったので痛みを堪えて運転し、朝方会社に帰ってきた。	45	40301	5	50~ 99
			弊社の資材置場にて、足場材を片付け作業中、立てかけてあった				

2017	9	15～ 16	足場材（鉄）がたおれ、右足にぶつかり転倒し、腰及び右足を強打したものである。	43	30209	5	1～9
2017	9	22～ 23	炒め室の器具洗浄室内で、洗浄機（ウインターハルター）のドアを開けた状態で、屈んだまま台車を動かそうとした。機械のドアを開けたままにしていることを忘れ、屈んだ状態で前後左右の確認をしないままで台車を動かそうとしたためドアの角に右前頭部をぶつけ約3cm幅の裂傷を負った。	22	10109	3	300 ～ 499
2017	9	15～ 16	当社、作業場にて鋼材の切断作業を行うために作業台（高さ1mぐら）の上に鋼材を置きマーキング作業を行っていたところ作業台上の鋼材に気を取られていて、足元に落ちていた鋼材の端に気づかず、誤って踏んでしまい左足を負傷したものである。	72	11209	90	10～ 29
2017	9	10～ 11	作業現場で舗装された道路のアスファルトを破碎し撤去する作業をしていた、破碎したアスファルトを鉄の棒で動かしていたところ、誤って右足を挟み骨折した。	65	30109	7	10～ 29
2017	9	10～ 11	改修工事にて、鉄筋加工中に誤って鉄筋に左足の親指を強打した。当日は、痛みを我慢し仕事を続けたが翌日になり腫れがひどくなったため、病院へ行った。	31	30309	4	1～9
2017	9	16～ 17	工場内にて、19本のパイプ（直径約10cm、長さ約3m）を束ねているバンドを切った時に、パイプが左足の甲に落下した。	37	11209	4	1～9
2017	9	9～ 10	新築工事現場において、現場で軽量鉄骨（50cm×50cm×3m、30kg）を2人で運んでいる最中。1回休憩するために資材を地面に下ろそうとした際にバランスを崩し、資材の角の部分で左肘から手首にかけて切傷した。	45	30202	8	10～ 29
2017	9	13～ 14	上記日時当社の工場にて、運転手の被災者が工場内を移動をしていた時、作業用のクレーンが通過している所に出てしまい、タイミング悪くクレーンのマグネットから落下した鉄くずが左足にあたってしまい負傷したものである。	55	11009	4	1～9

2017	9	16～ 17	中2階で、撮影機材の整理をしていたところ、重りの付いた機材を移動し持ち上げた時に重りが移動して落下し、右足の親指に当たり負傷した。	28	170209	4	10～ 29
2017	9	11～ 12	2階建鉄骨工事の上棟工事において、4t車から外壁パネルを荷取り作業中、一人で外壁を荷台から受け取ろうと考えたいったん外壁を道路に降ろそうと考え外壁パネルの下部を両手で持ち、荷台の上の作業者が外壁パネルから手を離れた際、外壁の荷重をささえきれず、とっさに手を離れたものの、右手の中指と薬指を地面と外壁パネルの間にはさまれた。	38	30201	7	10～ 29
2017	9	7～8	船倉内でコイルの検品中に1段目コイル上から体勢を崩し船底へ転落した。	38	170101	1	100 ～ 299
2017	9	16～ 17	工場構内において、4t積トラックの荷下ろし作業中、トラックの横アオリをおろし中間柱（50cm×15cm、約5kg）を外して荷台上に置き、身体の向きを変えた瞬間、中間柱が左足上に落下した、その時、左足第5趾に強く当たり負傷したもの。	52	40301	4	—
2017	9	11～ 12	資材置場に於いて不良鉄アングル（約15kg重）を整理中、左足の甲部（安全靴使用）鉄のない部分に落とし、負傷したものである。	67	30309	4	1～9
2017	9	11～ 12	当社工場内でタイヤ処理のため、切断機へのタイヤのセッティング及び取り出し作業中、タイヤのビートワイヤーの一部が左手の人差し指と親指の間に刺さり、ワイヤーを抜いた傷口が腫れた。	77	80109	8	1～9
2017	9	18～ 19	建方工事中、1階玄関ポーチの金物へのキカイ釘打ちの作業を行っていた。ポーチ土間があった為、釘打ち機を水平に使用し、暗い状況での作業で、キカイ釘の刃先が良く見えない状況だった。	23	30202	4	—
2017	9	11～ 12	コンクリート打設中に支保工（パイプサポート）に番線が掛かっており、作業の邪魔だったので取り外そうとした際に、番線が跳ね上がり先端が左目に刺さり被災した。	50	30201	8	1～9

2017	9	11～ 12	鉄筋コンクリート造地上5階建住宅棟建設現場のB棟3階にて、1階からダメ穴を使い材料上げをしていた、3階にいた被災者がダメ穴から下穴を覗き込んだ際、下から上がってきたサポートが左顎に当たってしまった。	27	30201	3	10～ 29
2017	9	20～ 21	コントロール室に於いて、加熱取り出し作業中に、誤ってステンレスのバットに手をぶつけた。直後に痛みは感じなかったが、休憩時に痛みを感じたので、痛み止めを服用し作業に戻ったが、痛みが治まらなかったため、担当者同伴にて退勤した。	53	170101	3	50～ 99
2017	9	14～ 15	棒材の束（1本5kg、7本）を床から切断機に上げるのにクレーン使用するが、棒材の束のひもが堅くクレーンのフックにかからないので、隙間を作るため棒材を持ち上げた時に、腰足の付け根を痛めた、1週間ほどガマンして仕事に出ましたが、痛いので病院に行った。	42	170101	19	10～ 29
2017	9	13～ 14	太陽光パネルのアルミ枠の外し作業（倉庫内にて）において、パネルの表面に張り付いているアルミを手で勢いよく剥がした際に、手で先端を持たず中間部分を引っ張り、アルミ枠の端が反動で跳ね上がり、左目にそのアルミ枠の先端が当たり損傷。	47	170209	19	50～ 99
2017	9	13～ 14	太陽光パネルのアルミ枠の外し作業（倉庫内にて）において、パネルの表面に張り付いているアルミを手で勢いよく剥がした際に、手で先端を持たず中間部分を引っ張り、アルミ枠の端が反動で跳ね上がり、左目にそのアルミ枠の先端が当たり損傷した。	47	170101	6	50～ 99
2017	9	11～ 12	当社工場内において、金型の取り外しをするためにハンドリフターを差し込み、持ち上げようとしていた。その時、ハンドリフターを上げすぎたため金型が傾き、とっさに押さえようとして左手人差し指をはさみ負傷した。	49	11203	7	10～ 29
2017	9	11～	事業所工場内のプラズマ切断機の作業場所に於いて、切断後の鋼板スクラップ（t=28mm）を、所定置き場へクレーンで移動する	34	11209	4	30～

		12	際、スクラップ置き場の柱に鋼板スクラップが衝突した為、鋼板スクラップが傾き、当人の右足へ落下し負傷したものである。					49
2017	9	11～ 12	工場の外のウマの上で、厚さ6mm長さ6m重さ100kgの鉄骨加工中、1人で回転させた為、片方が転がり反動で人がいる方にも転がり、足に落ちた。	47	11209	5	1～9	
2017	9	14～ 15	工場1階、転造機で転造作業中にM16×長さ4000mmの丸棒を自動機で転造作業中に、丸棒が上下左右にぶれながら回転したので、軍手をはめた手で押さえたところ巻き込まれてしまった。転造作業を行う場合、必ずゴム手袋に油を塗布して材料に触れる手順になっているが、巻き込まれやすい軍手の状態で材料を押さえてしまったため、右手前腕を骨折し、皮膚を裂傷した。	24	11209	7	10～ 29	
2017	9	18～ 19	当社工場構内に於いて、雨が降りそうな天気予報なので、トラックの荷台に載っている外壁用角浪鉄板の束を降ろそうとしている作業中、トラックの側板を倒して、荷台の上に勢いよく飛び渡ろうとした際、薄暗くなってきていた事もあり、角浪が荷台より少し丈突き出ている事に気付かず、角浪の端部に左足の膝ねんぼの上を激突させてしまい、負傷した。	32	30202	3	10～ 29	
2017	9	13～ 14	当社中間処分場に於いて収集してきたアルミ缶をコンテナ用収集箱から取り出す為コンテナの後ろドアを開き、下にある止めドアの片方を外し、反対側も外したとき、足元に落ちてくるので、気にはしていたが他に気劣られていたときに右足に落ち右足人差し指先端を骨折負傷した。	67	150102	4	10～ 29	
2017	9	8～9	鉄くず運搬、荷おろし中コンテナの観音開きを開いた時に鉄辺が落下し、ヘルメット着用を忘れていたため前頭部に接触し負傷した。	49	150102	6	1～9	
2017	9	6～7	現場出発前、当社駐車場で資材を降す時に荷台より10kgのウエイトを手をすべらし落下し、左足人指し指に落下させ受傷した。	63	170201	4	50～ 99	
			工場内東側のトラックピットコイル台にて、2組のコイル材をまと					

2017	9	15～ 16	める作業をしていたところ、そのうちの1組が倒れ掛かったため、被災者が補助として押さえたが、2組のコイル材をクレーンのフックにかけようとした際に、2組ともコイル材が倒れてしまい、右臀部の下を切った。	34	11203	5	—
2017	9	10～ 11	工場内でプレス機械を操作中、右後ろの台の上にある材料を取り込むのに邪魔な鋼材を移動するため台の前で下にあったスクラップ材の上に乗って鋼材を持ち上げたところ、足が滑り転倒、下にあったスクラップ材に左腕肘下部が当たり裂傷を負い同時に中指・薬指の腱を切った。	35	11203	2	10～ 29
2017	9	16～ 17	当該作業者は、鉄板（長さ12,500mm×幅2,700m×厚さ15mm、4,264kgs）を本船に積み込む作業で船内の手元作業に従事していた。67枚目を積み込む際に、クレーンに吊るされた鉄板を降ろし場所の上で一旦止め、合図者が積み付け確認の為、「よいか？」と問い掛けたところ、「よい」と返答した為、合図者が鉄板をおろした所、当該作業者はバランスを崩し、左手を鉄板と鉄板の間に入れて、左手を挟んだ。	25	50201	7	30～ 49
2017	9	14～ 15	第3工場溶湯作業場で溶湯出荷時、水分を含んだ布を投入する作業をした時に、布を入れた瞬間に（溶湯は800℃）水とアルミが反応して水蒸気爆発がおき、近くで作業していた作業者の左腕等にアルミ湯が飛び火傷した。	27	11101	11	10～ 29
2017	9	13～ 14	NC旋盤機内に切粉が絡んだため、右手中指で手前に払って落とそうとしたが取れず、そのまま手前で引っ張ったため切傷した。	49	11502	8	100 ～ 299
2017	9	13～ 14	NC旋盤機内に切粉が絡んだため、右手中指で手前に払って落とそうとしたが取れず、その際、右手中指を切ってしまった。	49	170101	8	100 ～ 299
2017	9	17～	材料倉庫で、台車の上の材料を壁に立てかける作業中、アルミの丸棒の束約30kg（長さ3m、1本1.5kg×20本）をしゃがんで中腰	33	11502	19	10～

		18	で持ち上げようとしたとき、腰にグキッと激痛が走った。					29
2017	9	13~ 14	工場で鉄板廃材であるコイル（帯鉄を巻き取って筒状になったもの）をトラックに積み込む作業を行っていた。その中に直径70～80cm、鉄板巾5～6cm、巻き厚さ7～8cm（重さ100kg程）の幅の狭いコイル廃材が2個あり、これは「立てて運ぶよう」との指示があったので、この2個を番線で締めて、1つにまとめたので他の大型コイル廃材と組み合わせ、立てた状態で片膝を荷台についた姿勢でワイヤー掛けをしていた、下を向いてロープ締めを行っていたので、巾せまいコイル2個が倒れてきたのに気付かず、右足首上にコイルが倒れこんだ。	54	170209	5		30~ 49
2017	9	21~ 22	搬入口にてトラックの荷室内へスチール家具（事務用ロッカー・机・棚等）を廃棄するのに積み込んでいたところ、分解したスチール製の棚の支柱（L字型2m）2本を合わせた物が2本、荷室内でかがんで作業していた、頭部に倒れてきてケガをした。痛いと思ったがそのまま作業を続けていると近くにいた人が「すごく血が出てる」と言われ、トイレの鏡を見て出血を確認した。	51	40301	5		10~ 29
2017	9	9~ 10	リフォーム工事において、足場の組み立て作業中、トラックの荷台に積んでいる足場の建地（重さ約13kg）を荷台に乗って降ろしていた時、積んでいた建地につまずき荷台から転落した際、荷台上の建地が崩れ落下した建地と地面に右手首を挟まれ、骨折負傷する。	32	30202	4		1~9
2017	9	11~ 12	第二機械場にて、旋盤で金属切削後、切粉を端に寄せて持ち場に戻ろうとしたところ、足元に金属片（ステンレス切削片）が出っ張っており、それに当たった際に左足に裂傷が発生した。	53	11302	8		50~ 99
2017	9	8~9	社内現場にて、曲がっている品物をひろげる為にハンマーでたたいていたら品物が指に飛んできて当たって折れた、固定できなかったなので、その場で置いて仕事をした。	28	11209	6		1~9

2017	9	8～9	工場内でシャーリング作業中、切断した鉄板が落ちてきて指を挟まれた。	63	170101	4	30～ 49
2017	9	6～7	L-5 ETC専用レーンに誤進入車が流入、課金処理後、お客様の車両へ向かう途中に支柱のボルトに足をとられて転倒、その際支柱に右膝を強打し負傷したものである。	50	170209	2	10～ 29
2017	9	15～ 16	工場内で作業中、立ててある平板の奥の板を取ろうとした時に、重みで指がはさまり、はさまった指の上に持ち上げた鉄板が落ちてきて、左手甲を切った。	36	11209	6	1～9
2017	9	11～ 12	工場内のパイプ置場にて棚からパイプを取り出す際、棚が手前に倒れてきて、棚に入っていたパイプが右足になだれ込み、右足ふくらはぎに打撲を負った。	31	80101	6	10～ 29
2017	9	13～ 14	現場のゲート前にてレッカー（クレーン）車で、型枠材料をR階（3階建）へ荷揚げ作業をしていた時、パイプサポートを吊り込んで4m位巻き上げた時に吊り荷のバランスが崩れ、パイプサポートの先端部分が落下し、吊り荷の下に入る、又、吊り荷の上昇確認を怠る不安全行動により落下したパイプサポートに気づかず、左腕と左足小指にパイプサポートの先端が当たり、左腕打撲・左足小指を骨折した。	68	170201	4	50～ 99
2017	9	13～ 14	防火水槽蓋改修工事の準備の為、元請の駐車場兼資材置場にて、3tダンプの荷台から、マンホールの蓋を降ろそうとした際、下半身が踏ん張りが効かず、バランスを崩し転倒、その際、マンホールの蓋が、左下腹部に落ち、圧迫される形となってしまった。	52	30201	2	1～9
2017	9	17～ 18	集荷先に向かう途中、地面に落ちていたサビ釘を踏み、左足の裏に刺さってしまった。	33	40301	9	30～ 49
2017	9	18～ 19	ホール厨房内にて、配膳車に差し込みをする為、トレー約30枚を配膳車の横の台に置こうとした時、トレーが滑り左足の上へ落下した。	42	80209	4	10～ 29

2017	9	20～ 21	当社第一工場成型機のシートつなぎ作業中、鉄管を落として原反台との間に右手を挟んで負傷した。	34	10805	4	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	会社工場内で次の作業にうつる為、片付け作業中に誤って左手が山形鋼（3m～3.5mくらい）の先端に強くあたり負傷する、小指と薬指の間が切れて裂傷した。	27	11209	8	1～9
2017	9	8～9	工場材料（鉄板）が手に当たり左手甲が傷ついた、その後、材料を持った時にパンと音がして痛くなった。	32	11209	6	—
2017	9	14～ 15	リフトマンと2人で板パレットを運ぶ時、足元にあったH鋼に気づかず踏んでしまい、そのはずみでH鋼が反転し右足に衝突、右足親指を骨折した。	39	11502	6	100 ～ 299
2017	9	11～ 12	工業所配管取付工事現場に於いて、作業場内を移動中、錆びたボルトが上向きにあり、誤って右足で踏んでしまい、右足土踏まずに刺さり負傷した。	23	30309	9	1～9
2017	9	11～ 12	工場内で、鋼板の切断加工中にクレーンを使って鋼板（厚さ6mm×1524mm×3048mm）をプラズマ切断機に乗せる際、下敷きになっていたリン木を外そうとしたときに、鋼板が約50cmの高さから落ち、左手人差し指を負傷した。	38	11209	6	10～ 29
2017	9	1～2	配水管布設工事中に、立杭開口部から支保工を撤去する作業中に、山留材を地上にて何本が上げて横つかみで立材を起こそうとした際に、荷が揺れたが手を離さなかったため立材と立材の間で右手中指を挟み負傷した。	47	30110	7	10～ 29
2017	9	8～9	本社工場のコンクリート製品の製造ラインで、鋼製の型枠を開く作業をしていて、側板がある程度開いたところで、本来なら側板が当たらないように足を退避させておくべき所を、そうしないで側板から手を離れたところ右足の甲に側板が当たり被災した。	42	10901	6	1～9
			工場内サブ棟作業場で、次の作業段取りをする為に鋼製パレット				

2017	9	8~9	にある品物（アングル材）が束になっていたので、仕分けしていた。鋼製パレットの上にある品物（アングル材）の間を歩いて品物（アングル材）250×90、長さ3mの部品を確認し、クレーンで吊る段取りをしていた所、鋼製パレット4m×6mを2段重ねた上約1.7m上でアングルの上に乗ってしまい、足を滑らし、地面に転落したものである。着地時に、右足のかかとから着地したと思われる。	31	11501	1	10~ 29
2017	9	16~ 17	当工場に於いて、機械にのせて加工する為、横に置いてあった材料を寄せていた時、手がすべって足に当たり、負傷した。	49	11301	4	30~ 49
2017	9	10~ 11	資材置場で資材の片付け作業中、4mの単管パイプ（2本）を担いで移動中、足元にあったバタ角（90m×90m、2m）に気付かず、つまずき転倒した。	37	30209	2	1~9
2017	9	14~ 15	プレハブ部材積込中、運転手の合図にて、積込者が部材を荷台へ卸したが部材下部のプレートとリン木が干渉し、1本が転倒した。その際、運転手の左足に接触して負傷（裂傷）した。	53	40301	5	30~ 49
2017	9	8~9	第2組立工場ユニットマウント工程にて作業中、フロントサスペンションを両腕で保持して押し上げながらハンガーに吊られた車両に取り付ける際、肩甲骨に痛みが走った。	26	11502	19	1000 ~ 9999
2017	9	16~ 17	工場内で配管のネジ切り作業を終えたので、配管を抜く為に左側にスライドさせようとしたところ、配管に油が残っていた為、手が滑ってしまい右手がきりこの残っている箇所にあたり中指、第2関節の下を切って負傷した。	58	11301	8	1~9
2017	9	14~ 15	新しいヤード内で倉庫の建方作業をしていた、ヤード内には5人作業員がいましたが、事故のおきた建方作業は2人で進んでいた。両サイドに縦にたっているH鋼の地上から3M前後の所に補強のため横向きにH鋼をアングルの上に仮置きして、その下で両サイドのH鋼の歪みを確認していたら仮置きしたH鋼が落下し、まずかぶっていたヘルメットにあたり、そのまま鎖骨部分におち腕になだれ	29	11209	4	1~9

			落ちた。				
2017	9	11～ 12	工場内にて寸法確認作業をしていた時、製品1（高さ3M巾3M程度の箱型）に万力で上下2ヶ所固定していた鋼材（H鋼100×100×6×8/2M程度）が、固定がはずれ倒れかかってきた、避けようとしたが、背後にあった製品2（高さ1M巾2M程度）との間に右足をはさまれた。	34	11209	5	10～ 29
2017	9	8～9	建設現場に鉄筋を運搬し、降ろすために荷台で鉄筋を振り分けていた所、鉄筋の束の上の鉄筋（直径3.1cm、長さ9m、重さ70キログラム）が滑り落ちて20センチ位の高さから右手に当たり右手の人差し指を骨折したものである。	55	40301	4	10～ 29
2017	9	11～ 12	当社、作業場内に於いて、H鋼（架台）サンドル（15cm×15cm×60cm、重さ30kg）をパレットに並べて収納している時、H鋼同士に隙間があったので、再度並べ直そうとH鋼を底から持ち上げたときに、手（皮手袋）が滑り、H鋼とH鋼の間で挟み左手薬指を負傷したものである。	42	80409	7	30～ 49
2017	9	11～ 12	被災者は、2階屋内の梁底枠解体後のベニヤ板に付いてる釘を釘抜機で抜いてる最中に鉄片が右眼に入り負傷した。	39	30201	4	30～ 49
2017	9	15～ 16	製造工場内で油槽の清掃中、誤って約1.3kgの部品を80cmの高さから患部に落とした、その時に足指が無防備なサンダルを履いていた。	62	70101	4	30～ 49
2017	10	16～ 17	帰宅準備で工場内移動中、立てかけてあった削蹄枠部品を移動しようとしたところ、重量があり手が滑り、その部品が足の上に落ち、負傷する。	24	70101	4	1～9
2017	10	11～ 12	足場の解体作業中、地上で資材の荷下げ作業を行っていたところ、目に埃が入り瞬きをした際に手を滑らせ、資材が左足人差し指先に接触、負傷したものの。	22	80109	4	10～ 29
			会社敷地内、工場から4tユニック車へ廃材処理のため積み込み作				

2017	10	16～ 17	業中に、廃鉄材を抱えバランスを崩し、落下した鉄材と下の木材に小指を挟み、反射的に引き抜いた際、裂傷した。廃鉄材は50kg程度の幅が広いものであり、二人での積み込み作業中だった。	69	30209	8	1～9
2017	10	11～ 12	当社事務所の鋼材ヤードにおいて、在庫した平銅にサビ防止のためのシートをかける作業を行っていた。作業中にシートの下にある平銅に足を引っかけてしまい、転倒して負傷した。	68	11209	2	10～ 29
2017	10	15～ 16	当社工場駐車場にて作業車両の助手席に取り付けてあるシートカバーの取り外し作業中、シート下部の取り付け金具を外すため、シートの下部と床の間に手を入れ作業したところ、奥の見えない場所にあった鋭利なシートの部品に左手親指付け根付近をひっかけ切創した。	68	11701	8	30～ 49
2017	10	10～ 11	工場内で素材をNC旋盤にセットする為、素材を旋盤の爪に仮固定し、爪にかけた状態で素材を回して適切な位置に爪が当たるように回していた。その際ふとした拍子に素材が爪から外れ、落とした素材と旋盤の間に中指を挟んだ。（素材は径30cm、厚み8cm、重さ30kg程度の鋼材。）	19	11301	7	10～ 29
2017	10	21～ 22	ドライラミネーター機の巻き出し箇所付近で、手製品を手動ラッカーから台車へ移し替える作業をしている時に、手製品が台車に収まった状態を確認せず、台車を動かしてしまったため、手製品が左足足元に落下し、左足首を骨折した。	28	10701	4	100 ～ 299
2017	10	9～ 10	自社の資材置き場で、バラになっている古い鉄筋を片付け中、先が曲がった鉄筋（鉄筋の先が鋭利になっていた。太さ1cm弱・長さ1m位）が伸びた草の陰にあり、それに気付かず踏んでしまい、左足裏の真ん中を負傷した。（ズックを履いていた。）	34	30209	9	1～9
2017	10	11～ 12	リフォーム工事中、家の中の解体作業中に板に刺さっていた釘を誤って左足で踏んでしまう。大丈夫だと思いそのままにしていたら、化膿して足が腫れてきた為、通院し入院となる。	61	30202	9	1～9
			工場内で材料（12cm角パイプ、長さ63cm）を切断する準備中、				

2017	10	11～ 12	切断用の台に乗せる際、適正な位置に乗せていなかったことにより落下し、左足の上に落ちて骨折した。（安全靴は履いていたが、鉄板の入っていない部分に落ちた）	37	11209	4	10～ 29
2017	10	11～ 12	パネル工程の切断機で、パネル切断が終わった物を両手で持ち上げ、ラックに載せようとした。近くに別物件で切断したパネルが寝かせて置いてあり、左手中指付近が接触し切傷した。	59	11209	8	30～ 49
2017	10	9～ 10	工場内で横になっている材料（H型鋼H400×200サイズサイズ長さ約3m）を起こす作業中に、天井クレーンの位置を確認せずクレーン操作し、上げてしまい吊り上げた時に、本人腹部に材料が当たってしまった。	22	11209	6	1～9
2017	10	13～ 14	長材製品を切断後、スクラップ部分（1,040mm、重量約40kg）を手を持ち、スクラップ箱に捨てる壁、スクラップ箱の縁とスクラップに挟まれて左手小指第一関節および腱を切断。	56	11209	7	1～9
2017	10	10～ 11	ゴルフ場スタート室横の側溝を清掃しようとして側溝の蓋（金属製）を持ち上げずらそうとしたところ、指（右手第1関節部）を切傷。	61	140301	8	100 ～ 299
2017	10	4～5	第2工場において、作業終了時の途中で、手が滑り左手側面を切創した。ケブラ手袋は持っていたが、作業時は皮手一枚で作業を行っていた。	21	11502	8	100 ～ 299
2017	10	23～ 24	小型CVTケース加工NO5ライン、デブコン作業場（鑄造不良の改修）にて、2人でCVTケースのデブコン修正作業を行っていた。作業テーブルからパレットへCVTケース（10.8kg）1個を両手で持ち、1人で移搬途中に腰に痛みを感じ、しゃがみ込んだ。もう一人の作業者が異変に気付き作業を停止させ楽な姿勢で休ませた。歩行困難となった。	39	11509	19	1000 ～ 9999
2017	10	14～ 15	建設現場で、廃棄物収集作業中にトタンが袋に入っているのに気づかずにつかんでしまい、左手人差し指を切った。	46	150103	8	10～ 29

2017	10	9～ 10	当社工場内に於いて片付け作業をしようと高さ60cmの作業台上にあるH鋼を手前にずらした際、被災者の安全靴先端に落下し左足親指を受傷した。	25	11009	4	10～ 29
2017	10	4～5	スポット溶接後破壊検査において、本来軍手をした上に皮手袋をするはずが、軍手をせずに作業していたため誤って左手をロット（長さ1m30cm）に当ててしまい、切り傷を負ってしまったもの。	21	170101	8	500 ～ 999
2017	10	19～ 20	工場駐車場でトラックを降り、出荷プラットへ向かい走っていた際、夜間で周囲の状況が確認しにくい状況で、鉄製の輪止めにつまずき転倒した。左足親指不全骨折となる。	39	40301	2	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	被災者は当時、もやし栽培室とコンベアーとの間に渡したステンレス板（高さ約70cm）の上で、もやしをコンベアーに移す作業を行っていたが、突然ステンレス板が外れて転倒した際、右側胸部をコンベアーの縁で打ち、負傷したものである。	66	10109	6	10～ 29
2017	10	7～8	本社倉庫に於いて、鋼部搬出の為、鋼部の下に置く台木を取りにチャンネル鋼材の上を壁際に向かって歩いていた際に隣に、積んであった木の束（約2t）の一部が崩れながらも滑り乗っていた。鋼材との間に左足が挟まり左足首を骨折及び右足を打撲した。	46	80109	5	10～ 29
2017	10	9～ 10	鋼材（125角×6.5m）搬入トラックの荷台に乗り、玉掛された鋼材を荷下ろし誘導中に、鋼材が脇腹に接触し、左肩を荷台から地面に転落した際、強打した。	59	30203	6	30～ 49
2017	10	17～ 18	寿司作業場にて作業場内を歩いて移動中、排水溝が濡れていた為足を滑らせて転倒し、ゴミ箱にぶつけて左胸部を打撲した。	57	80209	2	500 ～ 999
2017	10	9～ 10	本社構内で鉄筋を機械で切断加工する作業中、鉄筋を力まかせに引っ張ったために勢い余って機械入口の上部にぶつけてしまった。	28	80109	3	1～9

2017	10	13～ 14	スマートメータ組立#3ラインの第1工程において、回送されてきたパレットに部品（名称:ベース約180g）を持ちセットする際にベースと部品の間に入差し指先端を挟み込み受傷した。受傷当日は軽傷だと判断したが、翌日になり痛みと腫れが増してきた。	40	11402	7	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	工場内で鋼材の運搬のためクレーンで吊り下げた鋼材が倒れ、足に乗ったため左足のすねを骨折した。	67	11209	5	1～9
2017	10	10～ 11	ヘルプ先の厨房内にて調理中、仕込みで料理に使用する人参をカットしていたところ、人参が滑ってしまい、誤って包丁で右手の親指の先を切ってしまった。	65	140201	8	1～9
2017	10	8～9	クレーン作業において、製品出荷準備中、製品上にクレーンのハッカーを移動する際にクレーン及びハッカーを見ながら身体を移動し、前向きに走行中、足元を見ていなかった為に、作業通路の鉄板敷板の段差（5～10ミリ）に足が躓き、身体が前のめりになり、準備製品に手を出す形となり、左手を梱包品に出す際、手の平側ではなく甲側でついてしまった為、手首部分を骨折及び脱臼した。	51	11209	3	1～9
2017	10	14～ 15	15エリアにスクラップ（H-500）を15t車へ積み込んだ後、引き続き13エリアに移動して、先に積んだH-500の上に乗りながら4.9tクローラクレーンでスクラップ（H-300）を積み込む作業をしていたところ、足元のH-500が荷崩れして右下腿部がスクラップ車の壁とH-500に挟まれた。	67	30110	4	1～9
2017	10	13～ 14	派遣先である会社構内において、玉掛け作業中、2～3mの高さに積み上げた鉄筋を出荷するため、細長い鉄筋棒鋼の束に登ろうとしたところ、足を滑らせ背中から落下し、腰を強打した。	50	170101	1	50～ 99
2017	10	11～ 12	台風で花卉生産ハウスが壊れたところの修繕作業中に、ハウス支えの鉄パイプを切断し運搬の際、手から鉄パイプを落とした時に切り口が右手入差し指に当たり、切傷を負った。	39	60101	4	1～9
			単管足場解体中、3～4m高い所から手渡しで単管（4m）を下へ渡				

2017	10	10～ 11	す時、単管の下で受け取る当事者の位置が足元の悪い所で、手渡す時お互いの合図をしなかったため、単管を掴み損ねて額に単管が当たった。	53	30109	4	1～9
2017	10	15～ 16	新築木造現場で、屋根タル木を取り付け作業をしている時、釘打機で使うロール釘の連結している針金が、釘を打った時に左目に跳んできた。負傷した次の日から1週間は痛みがなかったが、1週間ほどたつて痛みが出てきた。	22	30202	4	1～9
2017	10	13～ 14	当社倉庫にて、撤去してきた材料（パイプ：口径100mm）を切断解体中に、ディスクグラインダが材料に引っ掛かり、誤って跳ねて左足にあたり負傷した。	31	30209	4	1～9
2017	10	13～ 14	被災者は、基礎コンクリートの打設作業に従事していた。詰所にて休憩後、再度、コンクリートの打設場所に戻る際、設置されている昇降階段を使用せずに、型枠支保工（H=900mm）をまたいで外周掘削面から打設スラブに上がろうとした。型枠2段目の単管パイプに右足をかけ、左手で建地、右手で型枠を掴み、上がろうとした際、単管パイプにかけた右足を滑らせバランスを崩し、右手をスラブの鉄筋に突き、負傷したものの。	22	30102	3	50～ 99
2017	10	10～ 11	消火器のバラし作業中、消火器の圧を抜いていない状態で消火器の一番上の蓋をハンマーで叩いてしまい、圧がかかっていた為、消火器が飛んで、離れて作業中の被災者の足に当たってしまい、そのまま転倒し、頭を鉄板にぶつけてしまった。	22	50202	4	10～ 29
2017	10	15～ 16	鉄鋳物を製造する為、電気溶解炉で溶解作業をしているとき、溶けた溶鉄に鉄缶に入れスチールスクラップを追加投入したところ、スチールスクラップが錆びていたため、溶鉄が飛び散り、顔面と両手を火傷した。	34	11002	11	30～ 49
2017	10	18～ 19	工場2階、集塵機横の空紙袋置き場にて、計量作業に使用する空袋約10枚を取ろうとしたところ、集塵機横に固定せず立て掛けてあった鉄板（約35kg）が倒れ、左足脛部を負傷した。	55	10805	5	10～ 29

2017	10	11~ 12	建物内地上で鉄骨梁材をクレーンで吊り上げる作業を行っていた際、足元に梁材を立てて置いた状態で上空のクレーンのフックを確認、手に取ろうとしたため、梁材が足元に倒れてきた。目を離していたため避けることができず、梁材に取り付いたプレート部分で左足に15cm程度の裂傷を負った。	49	30202	6	1~9
2017	10	14~ 15	大型フライスの鋼材加工場内にて鋼材加工物 (110×270×375、89kg) をフライス加工中、品物をシブクレーンで吊り、マグネットチャック所定位置へセットしようとした。この時、品物にがたつきが生じた為、品物をマグネットチャック上で反転させようと、左手で立て、右手で支えながら加工面を反転させようと動かしたが、品物の重さに耐えきれず落下させ、落とした品物とマグネットチャックの間に右手人差し指を挟み負傷した。	44	11209	4	30~ 49
2017	10	15~ 16	当社工場内でH鋼（重さ30kg200×100幅3000mm長さ4800mm）フレーム加工中、H鋼の枠を入れこむため、鉄製の大ハンマー（重さ5kg）を右手で持ち、左手で製品をおさえながらハンマーでたたいていた。その衝撃で右手に痛みが生じて被災した。	62	11209	19	1~9
2017	10	17~ 18	工場内、金属加工ラインにて、後方部の切り粉取り出し箇所に溜まった切粉を処理する際、突出していた切粉を除去しようと引っ張った時、綿手袋とゴム手袋をしていたが、その切粉で右手親指を切ってしまった。	36	170101	8	100 ~ 299
2017	10	16~ 17	翌日の段取りをするため金型をフォークリフトで取りに行った運搬途中金型が滑って落ちそうになったのでリフトを止めて手で金型（約1.5t）を動かそうとしたら逆に滑って手前に落ちてきた。この時金型の下に手を入れていたので左手の指先を3本（一指し指・中指・薬指）挟まれた。	51	11502	7	30~ 49
2017	10	14~	工場内にて、産業廃棄物の仕分け作業中に、パイプにつまずいて	70	150102	2	1~9

		15	転んで、右手首をついて骨折してしまった。					
2017	10	9～ 10	工場内で、お客様の車から銅の板を一枚降ろして運ぶ時に、手が滑って落とし、右足の指を負傷した。	22	80109	4	10～ 29	
2017	10	15～ 16	工場内にて、加工物を2個台車に乗せようとしていた時、1個を台車に乗せ、もう1個も台車に乗せようとした時手元が狂い加工物を落としてしまい先に台車に乗せた加工物も腕が触れてしまった為落とした加工物の上に落下した。落ちた際受け止め様とした為加工物と床に左手の人差指、中指、薬指を挟み骨折した。	25	11301	4	50～ 99	
2017	10	15～ 16	コイルが押さえから外れて落下。それを保全する作業、コイルを定位置に戻す作業を2人（被災者と専務）でしていたら、また外れて落ちた。すぐに2人ともその場から離れようとしたが、被災者の方の軍手がコイルにくっついて離れなかったようでコイルと床の間に指が挟まり事故が発生した。（手の甲が下側で指はコイルとコイルの間に挟まっていた。）	36	11203	7	30～ 49	
2017	10	9～ 10	派遣労働者が、工場で、台に置かれていた重さ約100kgのL字鋼の束から、順次L字鋼を作業台へ持ち運ぶ作業をしていた。L字鋼を運ぼうとした際、誤って台に体を接触したため、束が崩れ、崩れたL字鋼で左手を挟み、左手小指、左手首を負傷した。	50	170101	7	100 ～ 299	
2017	10	9～ 10	台に置かれていた重さ約100kgのL字鋼の束から順次L字鋼を作業台へ持ち運ぶ作業をしていた。L字鋼を運ぼうとした際、誤って台に体を接触したため、束が崩れ、崩れたL字鋼で左手を挟み、左手小指、左手首を負傷した。	50	11209	5	50～ 99	
2017	10	11～ 12	本館2階の、食生活実習室を内装解体時に、天井の木部材を撤去しようとして、吊天井に上がりバールで作業中に、横に移動して作業を行う際に足元の部材が木材からスチールに変わり換気レンジの所から先も頑丈と思い移動したところ、スチールの天板と一緒に床に転落し、腰を負傷した。	50	30309	1	10～ 29	
		9～	工場内において鉄骨を二人で運ぶ時に誤って左足甲に鉄骨が落ち					

2017	10	10	て負傷した。	44	30302	4	1～9
2017	10	17～ 18	4トントラックの荷台から資材（現場で使う資材でない）を手降ろし中に鉄製パイプ（長さ1.8m・太さ42.6mm・重さ4.8kg）を下で受け止め損ねたため、地面に落下して跳ね返ったパイプが右鎖骨辺りに当たって鎖骨を負傷した。その後、事務所にて痛みを我慢しながら道具の整理、作業車の清掃の作業中、道具の積み下ろし中に右肩に強い痛みが走り右鎖骨を骨折した。	21	30201	6	1～9
2017	10	16～ 17	本社資材置場にて、現場から返納された、軽量鋼矢板（LSP-I、1枚の重量は約50kg）L=3.5mを2名で、凸凹に積んであるのを、積み直しをしていた。2名で鋼矢板の両端は持ち、横に下ろす時に声掛けが合わず、右示指先端が鋼矢板の間に挟まった。	19	30199	7	30～ 49
2017	10	15～ 16	倉庫に置いてある部品に躓き転んだ。その際、手のつき方が悪かった。	57	11701	2	1～9
2017	10	10～ 11	コンクリート製品を製造現場にてアンカープレートをインパクトレンチを使用し取り外す作業中、ボルトを外す際、通常は少しずつ緩め、少し緩んだところでプレートを抑えて完全にボルトを外していたが、一気にボルトが緩み、「プレートが落下」。落下したプレートが体の（足の）方向に倒れてきたため、足を除けたが間に合わず、プレートが足の上に倒れ挟んだ。	65	10901	7	10～ 29
2017	10	14～ 15	屋上にて鉄骨を載いている際に、手元が滑って近くにあったH鋼に当たり、それがずれて後部より右足へ乗っかって来て負傷した。	60	30201	5	1～9
2017	10	10～ 11	当社内作業場にて、金型の組み立て・修正の作業中、金型部材をホイストを使ってワイヤ掛けし反転しようとしたところ、ホイスト操作ボタンの位置が高く、ワイヤ掛けの箇所が低かったため、腰を大きく曲げた体勢で作業したところ左肋骨を骨折した。	73	11305	19	1～9
			車両用部品工場アルミ型材加工職場（2B工場）でアルミ長尺型材				500

2017	10	13～ 14	の運搬作業中に、梱包状態で地面に3段積み重ねしていたアルミ長尺形の機材が4本目に形材を上に乗せた際にバランスを崩し右足の「スネ」を打撲した。	62	11503	5	～ 999
2017	10	10～ 11	新築工事現場において山留工事に伴う機材搬入の際、トラック荷台の後方に置いていた道具箱を吊り上げて移動したときに、前方部に置いていたプラントに立て掛けていた敷鉄板（t9×3×6）2枚が玉掛け作業をしていた被災者の方へ倒れた。被災者は、敷鉄板と荷台の間に挟まれ右足側頭部を骨折した。	21	30201	5	1～9
2017	10	10～ 11	粗大ゴミの収集業務中、運搬車両の荷箱内の積み直し作業（整理）を行っていた。その際、収集物の山の中に別の収集物（自転車）を投げ入れたところ、投げた先に鉄製のアングルがあり、シーソーのように跳ね上がって右脇腹を直撃して負傷した。	46	150102	4	10～ 29
2017	10	17～ 18	機材センターにおいて、場内片付作業中、鉄筋異形棒鋼材を移動するため、被災者が玉掛を行い、巻上合図を送った荷が吊り上がった瞬間、吊り荷が被災者に対し右方向へ振れた。右方向には、可搬形発電機が置かれており、被災者が鋼材と発電機の接触を止めようと咄嗟に右手を差し出したが荷の振れを止める事ができず、右上腕部が鋼材と発電機の間で挟まれ骨折した。	42	30201	7	1～9
2017	10	10～ 11	塗装するために鉄骨（L字型、約3m、約20kg）を縦に並べて吊る作業をしていた。一番下の鉄骨をしゃがんで吊ろうとしていたところ、バランスを崩して尻餅をつき、鉄骨が足くるぶしの上に落ちてきて負傷したもの。	22	11209	4	10～ 29
2017	10	16～ 17	作業場にてマシニング加工中、ペット板から製品（材料）を外す際に、左手中指第二関節部分を8mm程切る。表面上の傷は治るものの、鈍痛と違和感が残る。傷に触れると痛みがあり、赤みもあった。異物が残っている可能性があったが、レントゲンでは判断できず、経過観察していたが中指全体が炎症で腫れ、メディカルでMRI後、手術を行い、切除した組織を病理検査に出すことと	45	170101	8	50～ 99

			なった。				
2017	10	16～ 17	作業場にてマシニング加工中、ペット板から製品（材料）を外す際に、左手中指第二関節部分を8mm程切る。表面上の傷は治るものの、鈍痛と違和感が残る。傷に触れると痛みがあり、赤みもあった。異物が残っている可能性があったが、レントゲンでは判断できず、経過観察していたが中指全体が炎症で腫れ、メディカルでMRI後、手術を行い、切除した組織を病理検査に出すこととなった。	45	10805	8	10～ 29
2017	10	7～8	工場内で加工終了後、車に積み込む中、手を滑らして鉄板で右手首と筋を切る。	56	11209	8	1～9
2017	10	17～ 18	台風による強風で屋上の鉄板屋根（148cm×289cm）がずれて穴があいた状態になり、6階の機械室に雨が吹き込んだ。そのため、職員5人で、この鉄板を元に戻した際に激痛で動けない状態になった。	55	130109	19	10～ 29
2017	10	17～ 18	台風による強風で屋上の鉄板屋根（148cm×289cm）がずれて穴があいた状態になり、6階の機械室に雨が吹き込んでしまった。そのため、職員5人で、この鉄板を元にもどした際に腰と股関節を痛めた。	55	130109	19	10～ 29
2017	10	12～ 13	当社工場内において昼休憩の間に喫煙場に向かっていたところ、床に落ちていたクギに気付かず踏んでしまい右足踵を負傷する。	21	10409	9	30～ 49
2017	10	23～ 24	鉄製パレットを組み立てるため保管場所からパレットを手前に動かした際、パレットが被災社員と反対側に倒れたので咄嗟に支えようとして腰を捻った。	54	110101	19	100 ～ 299
2017	10	18～ 19	本社鑄造3号機において、鑄造された製品がコンベアから落ちていたので拾おうとしていたところ、もう1つの高温の製品が落ちてきて、左手の甲に当たり火傷した。	60	11502	11	50～ 99
		18～	工場内で柱上部を溶接するために、脚立を利用して3m位の高さか				10～

2017	10	19	ら柱に乗ったところ、バランスを崩して柱ごと地面に倒れた。安全ベルトをしていなかった。	49	170101	5	29
2017	10	14～ 15	トラックの荷台から荷下ろし作業中に、荷台の銅管が足の親指に落下した。	23	30109	4	1～9
2017	10	8～9	被災者は港に停留中のグラブ船を整備するため、90cm×180cm、厚さ5mm、重さ約80kgの鉄板を2人で運搬しようとしていた。立て掛けてあった鉄板を持ち上げて横にする瞬間に強風に煽られ鉄板を落下させ、骨折した。当日は台風の通過した翌日で、瞬間的な強風がたびたび吹いていた。	54	30199	4	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	製造工場にて材料のワイヤーをコイル状に巻いたもの（500kg）を移動中に、荷が段差により倒れて足を挟んだ。	27	11301	7	30～ 49
2017	10	16～ 17	当社資材置き場にて残材を整理片づけ中に、廃材の一部に残った釘を誤って踏み抜き、安全靴を貫通し、右足小指を刺傷した。	69	30201	9	10～ 29
2017	10	15～ 16	本社工場内において工場内を整理するためH鋼（鋼材）重さ約40キロを両手で移動させていたところ誤って鋼材が倒れ、右手人差し指を負傷した。	45	30309	7	1～9
2017	10	9～ 10	本社鑄造工場でハンマー作業中金型にセットする素材の位置が悪かったのに気付かなかったため、バリ（余内）が多くなり、バリの一部が切れて右股関節に当たり負傷した。	29	11209	11	50～ 99
2017	10	6～7	プレス自動運転中、製品が横倒しとなり、そのままの状態ですしたため上部金型に製品が喰らいついた。被災者は同僚とともに喰らいついた製品ごと金型を取り外す作業に入った。取り外し作業中に被災者は、下部金型の損傷が気になり、下部金型確認のため、上部金型と下部金型の間に入れた時、上部金型が外れ右手の上に落下被災した。（落下物28.6kg）	43	11001	4	100 ～ 299
2017	10	4～5	土砂置き場改良工事作業中、現場は海沿いで、台風の影響も受け、足元も悪かった。式鉄板の泥を洗い、汚れを落としている時	48	30199	5	1～9

			に重ねた鉄板が、ずれてきたので思わず支えて右手を鉄板とコンクリート床に挟まれ、右手の平を挟み全体を負傷した。				
2017	10	8～9	鉄板の段差修正のため、バールで鉄板を持ち上げ角材を入れようとしたところ、バールがすべって鉄板が落下し、右手人差し指を挟んだ。	26	30106	4	1～9
2017	10	17～18	自社工場内で鉄骨部材の整備中、仮置きされたH鋼の上を歩行移動中、足を滑べらせ転倒。H鋼とH鋼の間に転落し、右肩と右脇腹を強打し負傷。	49	30201	1	1～9
2017	10	9～10	トラック荷台でケースの積み込み作業中、立て掛けていた中柱が倒れてきて避けきれず右足を負傷した。	62	40301	5	10～29
2017	10	11～12	敷地内にて台船（鉄の箱）に鉄板を取り付ける作業をしていた時、鉄板（4m×0.25m、約60kg）が滑って落下し、頭部に当たり転倒した。	45	11501	4	1～9
2017	10	16～17	工場内で、定盤の上でステンレスパイプとフランジを溶接にて取り付け作業中に発生した。両手でパイプとフランジを合わせているとき、手からフランジが滑り落ち、左足甲に当たり負傷した。 (安全靴は着用していた。)	31	11209	4	1～9
2017	10	14～15	自社工場内において治具にセットする作業中、鋼材（約100kgの半加工品）を厘木の上で広げる作業中に鋼材の下に手を入れてしまい、右手小指を裂傷した。	33	11209	8	1～9
2017	10	8～9	当社工場内でターニングローラー上に載せている船舶用ボイラ胴板（内径2,000mm、奥行き1,200mm、厚さ16mm、重量950kg）の開先をグラインダーで研磨した後、胴板を天井クレーンで移動させるために取り付ける金具を探していたところ、胴板がバランスを崩して落下した。被災者は胴板が背中上部に当たった衝撃で転倒し、近くにあった他の製品（船舶用ボイラ下管寄せ）で胸部を強打して負傷した。	41	11301	5	30～49

2017	10	10～ 11	店の手伝いで、天場にブロック積み作業中に、つまずき転倒して下階に落ちる。	57	30209	8	1～9
2017	10	10～ 11	作業が完了したので自社の資材の片付け作業中単管（486φ）L=4.0mと単管L=1.0mがついたままの状態（自在クランプ）であったので、取り外す時、単管L=1.0mが回転し、別のクランプを持っていた右手親指に落ちて怪我をした。不安定な足場での解体作業を行っていたので事故を起こした原因と思われる。	46	30201	7	10～ 29
2017	10	13～ 14	足場架設準備中、鋼製足場が倒れてきて転落。	70	11501	5	1～9
2017	10	9～ 10	今治ハッチカバーのエンド材の板継ぎ溶接作業に従事していた。板継ぎ溶接したエンド材約368kg（880×1.6M×t20と880×1.8M×t12）の裏側に敷いている裏当材と、その押さえつけ用のフラとバーを同時に引き抜くため、右手にボールを持ってこじ開け、左手に鉄を持ってその隙間に差し込んでいたとき、ボールが滑ってエンド材が落ち、鉄と定盤間で左手の人差し指を挟まれ負傷した。	66	11301	7	10～ 29
2017	10	11～ 12	機械工場の土間スラブ配筋のため、鉄筋アンカー約600本を道具と足を使い手直しをしていたところ、腰に激痛が走りその痛みで足を滑らせ倒れた。	37	30201	19	1～9
2017	10	14～ 15	工場にて、鉄骨の積み込み作業中、1段目に立って指示を仰いでいた時、クレーンオペレーターの確認不足と不注意により門型クレーンと鉄骨が接触した。その衝撃で自分の方に鉄骨が倒れかかってきたため、咄嗟に、約220cmの高さから飛び降り、両足の踵を負傷した。	28	40301	1	30～ 49
2017	10	16～ 17	倉庫内にてステンレス銅版厚さ2ミリ広さ1m×2m-1板を吊りハッカーで吊るために銅版の下にりん木を差し込み手を抜く時に銅版エッジ部の返りが出ている部分に手が触れ左手人差し指を手袋ごと切創した。	27	11209	8	50～ 99

2017	10	8～9	朝礼後、1F外部足場外側に立て掛けてあったワイヤーメッシュ13枚を固定していたトラロープを外し7枚を玉掛けしようとした際、立て掛けていたワイヤーメッシュの角度が垂直に近かったため、被災者に倒れてきた。	29	30309	5	10～ 29
2017	10	12～ 13	1F電気室土間コンクリート及び立ち上りコンクリートを打設中、立ち上り天を鏝で均し中、腰壁型枠固定用栈木に足元が引っ掛かり土間差筋（差筋養生用キャップ）に左側喉元に接触し左首元を負傷。	54	30201	8	30～ 49
2017	11	8～9	被災者が1階の屋根にいて、他2人が2階の屋根からロープで鉄板のコイルを引き上げている際に、ロープから荷が外れて被災者の上に落ちて、荷と一緒に下まで落下した。	44	30209	1	1～9
2017	11	14～ 15	現場で漁船の解体物品仕分け作業中に廃材が山に積まれており、下にあったアルミを掴んで引っ張ったところ、厚手のゴム手をはめていたので、強めに引いたため、右の親指の所が3cm位切れた。本人は深い傷と思わず、その日は絆創膏を貼ったり強く縛ってタオルを巻いて我慢したが、次の日、血が止まらなく、痛みもあり病院に行った。	64	30209	8	1～9
2017	11	9～ 10	倉庫内で荷物の整理中に長物を壁に立て掛けて作業していたら、先に立て掛けた物が右手親指に倒れて来て負傷した。	32	50101	5	10～ 29
2017	11	8～9	倉庫内で転圧機（プレート）を搬出しようとした際に、足元に物がある不安定な状態で引っ張り転倒して腰を痛めた。	38	30199	2	1～9
2017	11	13～ 14	当社敷地内にて、足場部材を車両荷台より降ろしている作業中に、部材（支柱）の間に指を入れて手で持ち上げる動作をした際、バランスを崩して持っていた支柱間に左指を挟めて負傷した。手袋はしており、手元が滑り易い状態でもなく通常下だったが、支柱2ヶ（各14kg程度）の間に挟んだ後異常を感じ、同日中に仕事を早退して病院を受診した。	22	80409	3	30～ 49

2017	11	9~ 10	工場内で台車に立て掛けて置いていた3枚の鉄製のパネル（2300mm×700mm）を作業台へ移動させる際に、一人でパネルを支えながら協力者を待っている時に、パネルのバランスが崩れ、覆いかぶさるように次々と倒れてきてパネル下敷きになり、掛けていた眼鏡で右目蓋周辺が切れ、右上半身に打撲を負った。	19	11409	5	100 ~ 299
2017	11	13~ 14	工場内組立定盤上で、旋回Rブラケット（幅300mm×長さ575×高さ210・重70kg）2個をクレーンで運び終えたところ品物が重なっていた為、自力でずらそうとし左手をブラケットの下にあてがったところ品物が一瞬ずれた拍子に左手中指、薬指を挟んでしまった。	59	170101	7	10~ 29
2017	11	13~ 14	工場内組立定盤上で、旋回Rブラケット（幅300mm×長さ575×高さ210・重70kg）2個をクレーンで運び終えたところ品物が重なっていた為、自力でずらそうとし左手をブラケットの下にあてがったところ品物が一瞬ずれた拍子に左手中指、薬指を挟んでしまった。	59	11209	7	100 ~ 299
2017	11	16~ 17	当日、当事業所資材置き場内にて、システム部材（長さ1800mm素材鉄）の手摺りを手運び中、振り向いた際に、近くに積んであった支柱（長さ3600mm素材鉄）の束に利き手である左手をぶつけ被災した次第である。	21	30201	3	10~ 29
2017	11	9~ 10	当社工場内において加工した鋼材の場内移動中、被災者の手前側、そしてその奥と2本並んでいた大梁材のうち、奥の大梁材を玉掛け・吊り上げた際、手前側に置いてある大梁材（H-600×200）に引っ掛かり、それが被災者側に傾斜し、とっさに受け止めようとしたが、重量物のため受け止めきれず、正座した体勢になり両腿に倒れ込み、負傷してしまう。	23	11209	5	10~ 29
		13~	工場B棟（ショット機と開先機の間）でショット作業を始めたが、先に別サイズの製品を仕上げるためH248×124?4800×20本を動かそうとワイヤーを通したところ、片方のフランジ部が台木ギリ				

2017	11	14	ギリの所に置いてあり、片手を上部に手を掛け、もう片手でワイヤーを取る際、荷崩れがおき両足にH形鋼6本が落ち下にあったH鋼に挟まれ右足を骨折した。	23	11209	4	—
2017	11	17～ 18	路上にて事故車をレッカーで引き上げる準備のため、タイヤのシャフトを外してレッカーで持ち上げようとした際、外れたシャフトが右足に落下し負傷した。	37	11701	4	10～ 29
2017	11	10～ 11	レジから出た際、レジ加工置場で転んでしまい、コラムの脚に頭をぶつけてしまい、切ってしまった。	24	11204	7	30～ 49
2017	11	15～ 16	帰宅しようと同僚2名の計3名で工場の駐車場に停めてある車まで向かう時に、3台バラバラに駐車していたため、別々に分かれた。駐車場を斜めに横切るようにマイカーまで向かい歩行していたが、辺りが暗く車止めに気付かず足を引っ掛けて転倒し右膝を強打し被災したものである。	27	170101	8	100 ～ 299
2017	11	15～ 16	弊社派遣先である電縫鋼管製造ラインにおいて、内径ビードを機械で切断しやすくするため火ばさみで挟み補助する作業中、ビードが折れ曲がった状態で手前に振れ火ばさみを持っていた右手に当たり負傷してしまった。	27	11209	8	100 ～ 299
2017	11	12～ 13	こんにやく工場内でこんにやく製造機のギアを別の商品のギアに交換するため、お湯のタンクの縁に乗って作業をしていたところ、長靴が滑って左足がお湯の中に落ちて火傷を負った。（お湯は75℃～85℃位）	43	30199	1	30～ 49
2017	11	12～ 13	ガス管埋設工事において、150A鋼管（9m×5本＝45m、900kg）を掘削溝内に吊り下ろす位置まで台車で運んだ。掘削溝から離れていた為、位置を調整していたところ、端部から掘削溝に滑り落ち始め、被災者がパイプと共に転落して挟まれ被災した。運搬台車はキャスター付きで、4輪とも回転するタイプであった。	55	30199	1	30～ 49
			第1工場生産部単発エリアのレイアウト変更中で、当日は増肉パイ				

2017	11	8～9	<p>プ1号ラインの150トンプレス機などを移動していた。工場の高さ4.55m付近の壁の横梁（H鋼）上に通している設備用電源配線をアルミ製の脚立を長さ4.1mに伸ばして、3.2m付近まで登って高所作業中に落下した。脚立の脚と滑り止めゴムキャップは付いていなかった。補助員を付けていなかった。落下原因は本人の記憶がなく、目撃者もいないため不明である。</p>	67	30201	4	1～9
2017	11	15～16	<p>子どもを1Fに誘導する際に、階段を足元が見えず（荷物を持っていたので）踏み外し、4段程落下した。その際、足首をひねり着地したので足首を骨折した。</p>	22	11002	11	10～29
2017	11	7～8	<p>1t位のスリーブ（鋳物製品）をクレーンで工場内を移動するために補佐していた時、右手を壁とスリーブの端に挟んでしまい、右手人差し指第2関節より切断し、中指を骨折した。</p>	37	10805	8	50～99
2017	11	16～17	<p>2階警備室横から1階へ下りようとした際、バックルーム階段2階の上から4段目で足が滑って前のめりに転倒し、4段転落した。右踝と右恥骨部位を骨折した。</p>	43	80209	19	10～29
2017	11	9～10	<p>材料を曲げ金型を使用して加工中に、通常は加工後に下型上に残るものが、上型に張り付いてしまい材料を叩いて取ろうとした際に材料が外れ落下し、右手薬指を金型と材料との間に挟んでしまい負傷した。</p>	49	30201	7	10～29
2017	11	8～9	<p>玄関ロータリー内庭園の樹木を1人で剪定中、足場にしていただ枝が折れ庭園芝生の上に落下転倒し、右足親指を骨折した。</p>	66	10109	2	100～299
2017	11	17～18	<p>構内で機材を高い所にのせようと、足を踏み込んだ先に、ドリーが足元にあり、股を割るような姿勢になってしまい、右足大腿部裏側を痛めてしまった。</p>	20	30209	2	1～9
2017	11	11～12	<p>構内で、大型広告塔の主看板組立作業中に（フレーム上段と下段をボルトで連結する）2箇所目にボルト止めの為、右から左へと移動する際、不安定かつ適切でない看板のフレーム部分を移動した</p>	31	40301	4	30～49

			結果、バランスを崩し、1.6m下に落下した。				
2017	11	16～ 17	自立の出来ない入居者をベッドから車椅子への移乗を行っている時、かなり体重の重い入居者で、全く身体を支えることが出来ない方の為、被災者一人の力で車椅子へ移乗させなければならない。両腕を相手の脇の下に入れて運ぶのだが、ずり落ちそうになり、無理に腰に力を入れて支えた為、腰痛が起きたのだと思われる。	26	30203	3	10～ 29
2017	11	21～ 22	店内サービスエリアにて、お茶の準備をしようとした際、近くにあった空焚きされ熱くなった寸胴鍋に触れてしまい、左手に火傷を負った。	17	140201	11	30～ 49
2017	11	15～ 16	当社資材倉庫にて翌日の現場作業準備中に、H鋼の破片に足が引っ掛かり前のめりに転倒してしまった。その際、右脇腹を足場パイプに強打した。その後、痛みが引かないため病院に行った。	62	30309	2	—
2017	11	10～ 11	被災者は、地下5階南工区で梁のフープ筋を1人で種分け作業をしていた。その真上（高さ約3m）の鉄骨梁上で別の鉄筋工2名が梁配筋作業をしており、持っていた宙吊り主筋（D32長さ7.5m重さ約46.7kg）を吊り金物フックに乗せて、鉄筋を結束しようと手を離れた時鉄筋を落とした。その時に、下にいた被災者の頭（ヘルメット着用）に当たり被災した。	77	30201	4	1～9
2017	11	8～9	解体工事足場養生をしていて足場を降りた際、地面に釘があり踏んでしまった。	54	30201	9	1～9
2017	11	8～9	FRP管φ500の荷卸し作業の時、クレーン式バックホウで上部管材を吊り下ろしする作業の時、管を束ねるスリング材を管に回す作業を手伝おうとした被災作業員が、管から足を滑らせ落下し、着地した位置にレバーブロックがあった為、左足を被災したものである。	65	30309	1	10～ 29
			ガス管理設工事において、150A鋼管（9m×5本＝45m、重量900				

2017	11	12~ 13	kg) を掘削溝内に吊り下ろす位置まで台車で運んだ。掘削溝から離れていた為、位置を調整していたところ、端部から掘削溝に滑り落ち始め、被災者がパイプと共に転落して挟まれ被災した。運搬台車はキャスター付きであり、ストッパーは付いていなかった。現場巡視及び点検の為の出張（消火器の点検）※会社パトロール	52	30199	4	100 ~ 299
2017	11	14~ 15	同僚2名とRFスラブ上にて、外壁胴縁部材を北側外壁面に吊り下げる作業を担当していた。屋上のソーラー鉄骨上に仮置きしていた胴縁を3メートル程度横移動しようとして、同僚の一人と声を合わせ部材を被災者が引っ張り、相番者が押したところ、勢い余って、被災者が持っていた100角とソーラー鉄骨（溝形鋼背面）の間に、小指を挟んで負傷した。	29	30201	7	100 ~ 299
2017	11	14~ 15	当社工場内において材料分別作業時、重なっている鉄板をバールを用いて中腰の体勢で分離中、しゃがんで力を入れたが、見込み重量より重かった為、鉄板が上がらず、腰に負担が掛かってしまい、腰を痛めた。当日はそのまま帰宅したが、翌日から立ち上がることに、歩行が困難になり、病院へは後日に行けた。	60	11305	19	10~ 29
2017	11	8~9	当社、工場内のコイル置場において、順送りの材料をレベラーにセットする作業中のことだった。コイル収納ラックの柱の外側に立て掛けてあったコイル（外径1200mm×内径500mm×幅700mm、重量750kg）を移動させるためクレーンで吊り上げようと、チェーンをコイルの内径に入れようとしたが、ラック柱との隙間が狭くチェーンを入れられなかったため、隙間を広げようとバールを使いコイルを動かしたところ、コイルが倒れて下敷きになり、右大腿部を骨折した。今後は、転倒防止ラックを活用し、チェーンやバンドで固定して転倒事故を防止する。	50	11203	5	10~ 29
		21~	支店にて、大型トラックに商品を積み込む作業中、最後数個の積み込みとなり、ラッシングバーを荷台後部に施して、そこに鉄板				100

2017	11	22	を立て掛けた後、ラッシングバー越しに商品を積み込んでいたところ、鉄板（荷役時に使用する鉄板）が倒れ、右足アキレス腱部に当たり、8針を縫合する切創を負った。	61	40301	5	～ 299
2017	11	15～ 16	排水脱水機の搬送機の給脂作業を終え、戻る際に開口部の蓋を通っていた時にその蓋が腐食しており、脱落したことで一緒に被災者も約5m下へ転落し被災した。	29	10601	1	300 ～ 499
2017	11	13～ 14	10枚ほど重なった状態で容器内に入っていた製品を両手で持ち上げた。運搬する際、荷姿が悪いと判断し、荷姿を変えようと反転しようとした。その際、重みで製品が斜めになり滑り、右手中指を切った。	58	170101	8	100 ～ 299
2017	11	13～ 14	10枚ほど重なった状態で容器内に入っていた製品を両手で持ち上げた。運搬する際、荷姿が悪いと判断し、荷姿を変えようと反転しようとした。その際、重みで製品が斜めになり滑り、右手中指を切傷した。	58	11502	8	100 ～ 299
2017	11	13～ 14	工場作業時に、鋼材（H鋼72kg）を、二人で移動させようとした際に、一人が手を滑らせ、鋼材を離れた時にバランスを崩し、本人が鋼材と定盤の間に手を挟まれ受傷した。	61	11209	4	1～9
2017	11	14～ 15	当社工場内において、鉄板の段取り作業中、地面に置いてあった鉄板（400mm×300mm重さ2kg／枚）を30枚程作業台（高さ1m）の上に数枚ずつ置いていたが、板木（幅100mm）の上に置いたため、板木が小さくバランスを崩し、誤って鉄板が崩れ右足親指の付根に当たり負傷したものである。	68	11203	4	1～9
2017	11	11～ 12	個人宅の外構工事現場において、ブロックアンカーに鉄筋を入れる作業中、法面で足を滑らせて前向きに倒れた時、アンカーにさしてあった鉄筋で首の左側を切創した。擦り傷で大したことなく放置していたが、腫れてきたため病院で受診した。	58	30199	8	1～9
2017	11	15～ 16	構内資材置き場で、資材の整理作業中、資材を降ろす時誤って左手指を挟み負傷した。	20	30309	7	10～ 29

2017	11	11～ 12	エンジン組立職場へ部品を供給するための自動運搬車にハウジングと呼ばれる部品（20kg程度・円盤状）を積み込む際に、部品の向きを間違えたため向きを変えるために部品を回転させた時に、両手が交差する姿勢になり部品を保持できなくなり手から落として被災した。	34	11403	4	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	工場内にて、いつも通りの作業中、U字型のパイプ（15kg位）が2本重ねて立て掛けてあり、その内の1本を取り、持って行こうとした時、もう1本に躓き転倒した。その足の上に製品（もう1本のパイプ）が倒れてきて、右足の脛に当たり、負傷した。	44	11209	6	10～ 29
2017	11	18～ 19	食堂厨房内の洗浄室にて、床の排水溝の掃除中、金属製の排水溝の蓋を元に戻す時、左手を離すタイミングが遅れた為、左手の中指と薬指が挟まれてしまい、掌側の先が裂傷した。	62	140201	7	50～ 99
2017	11	14～ 15	钣金工場内において、鉄商品を溶接機で溶接後、自分の背中側の台に置き、次の商品を溶接していたところ、置いていた商品の熱により、近くにあった座布団が発火し、衣服に引火した。気付くのが遅れたため衣服を脱ぐのに手間取り、火傷を負った。	71	11209	11	10～ 29
2017	11	13～ 14	池の北の堤の傾斜地内で草木の伐採中に、番線が左足の足首の上辺りに刺さり負傷した。	0	60101	8	1～9
2017	11	9～ 10	加工センター内の鋼板を移動させる為、玉掛け作業を行うべく、別の鋼板に移動する際、着地に失敗し、足首を捻った。	54	80109	19	10～ 29
2017	11	16～ 17	仮設材の整備作業をしており、資材を積み重ねている際、持ち上げていた左手が滑り、右手中指を材料で挟み、骨折した。	47	30309	4	30～ 49
2017	11	9～ 10	工場内にて作業中に、足元に鉄板を並べて置いて動かそうとした時、鉄板が崩れてきて左足指の上に落ちてきた。	69	11209	5	1～9
2017	11	13～ 14	工場の仕上げ場で、めっきした製品を積んだパレティーナをホイストで移動中に、パレティーナを揺れ防止のために手で押さえていて、停止から再びホイストで動かした時に製品の一部が落下	55	11204	4	30～ 49

			し、頭部に当たった。				
2017	11	12～ 13	工場内のレール置場にて、レールの入っている木箱の蓋の釘を抜き処理している時、靴越しに釘を踏み足底に刺さった。大したことは無いと思い様子を見ていたが、腫れて痛みがひどくなったため受診した。	43	11305	9	50～ 99
2017	11	9～ 10	塗装ヤードで、クレーン作業中、鋼材（溝形鋼）を移動する際、マグネットの磁力が不十分な状態で鋼材が2本持ち上がってしまい、1m程の高さから1本が落下した。その反動で、鋼材が大きく動き、左手中指の先が切断された。	26	11209	7	10～ 29
2017	11	9～ 10	倉庫東側門型ヤードにおいて被災者であるクレーン運転手、玉掛け作業者は、トレーラーにH600×200×11/17（SN400B）10M-3本・1結束を積んだ。その後、トレーラーの運転手がトレーラー上にてワイヤーの片側を外す作業を終えたので、クレーンの運転手はクレーンのフックをトレーラーの横側へ移動し、玉掛け作業者の手が届く位置まで下げた。（その時のフックの位置は製品の上部フランジより下がっている。）玉掛け作業者はトレーラーの横側を移動し、ワイヤーを製品から抜き、フックに掛け直して退避しようとしたところ、クレーンの運転手が巻き上げ操作をした。その際、3本結束の内、トレーラーの一番外側にある製品のフランジ部に振れたフックが引っ掛かり製品が落下してきた為に、トレーラーの横にいたクレーン運転手、玉掛け作業者の計2名が挟まれ負傷した。	59	11001	4	50～ 99
2017	11	15～ 16	工場内で、エッチング工程において生産時の連結テープを剥がす際に、親指と人差し指でテープを保持しながらスライドさせた時にテープが切れ、そのはずみでワーク（ステンレス材400mm×500mm×0.3mm）が浮き端面に中指が接触し裂傷してしまった。	39	11209	8	100 ～ 299
2017	11	16～	梱包材打上工場内で古パレットを直す為、板を外している時、板を外す勢いでそばに外して置いていた釘が付いたままの板を踏ん	23	10401	9	10～

		17	でしまった。					29
2017	11	9~ 10	15GNショットのターンテーブルから南側のローラーコンベア上にある搬送容器に鋳物（約20kg）を手で持ち運搬していた。その際、手が滑り持っていた鋳物を左足の甲の上に落とし負傷した。	26	170101	6		500 ~ 999
2017	11	9~ 10	15GNショットのターンテーブルから南側のローラーコンベア上にある搬送容器に鋳物（約20kg）を手で持ち運搬していた。その時、手が滑り持っていた鋳物を左足の甲の上に落とし負傷した。	26	11002	4		50~ 99
2017	11	11~ 12	リフォーム工事に使用する窓枠を加工する為の材料（長さ4m×2~3kg）3枚を、自社作業場において、手に持っていたが、手が滑り材料が足の上に落ちて負傷した。痛みがあったが我慢して仕事をしたが、痛みがひどくなった為、仕事が終わってから病院を受診した。	21	30202	4		1~9
2017	11	16~ 17	パイプ直径360厚さ6mm長さ約5mのパイプを三ヶ所仮溶接をした所を、サンダーで切り取り作業をしていたところ、切り取りが不十分であり、両手でパイプを持ち、揺すっていたところ、急にパイプが落ちて、パイプと下のスリーブの間に指を挟み怪我をした。	37	11501	7		1~9
2017	11	14~ 15	押出機製造現場において、押出インフレーション機械のエアリングをダイスの上に取り付ける作業をしていた。その際2人でエアリングを持ち上げていたのだが、エアリングは油がついていたため、片方の従業員が手を滑らせてしまい、エアリングは直下した。その結果、エアリングは従業員の足の上（安全靴のカバーが入っていない部分）に落ち、従業員は負傷した。〔再発防止対策〕 エアリングを取り外す際と取り付ける際にはハンドリフトにパレットを差し、その上にエアリングを置くこととする。	35	10899	4		30~ 49
		15~	工場内において、鉄製構造物（AとB）を組立作業中ボルトで結合する箇所（C）を右手で触って確認していたところ、構造物を支え					50~

2017	11	16	ていたりん木に足が当たり構造物（B）が傾いて右手人差し指先を負傷したものである。ボルト穴に指を突っ込んだ状態で傾いた為、指先の爪と肉が削げるように切断した。骨に異常なし。	41	11301	8	99
2017	11	17～ 18	両手で鋼材（9mm×150mm×300mm）5枚を運んでいた時、ずれて左足甲に落ち、負傷した。〔対策〕複数枚運ぶ場合は、結束して運ぶこととする。	67	11209	4	10～ 29
2017	11	8～9	工場内を作業場に移動中、アングル（1,770×1,214の額縁）が倒れ掛かって来て、左足の上に倒れ負傷した。クレーン等で移動させていたものではなく、立てていたアングルが何らかの拍子に倒れて来て、左足が挟まったとのことである。	33	11209	5	30～ 49
2017	11	17～ 18	工場でボール盤でアングル（6mm×長さ229mm）に穴開け加工中、台座に固定してφ20.3のドリルで穴開け加工をしていて、ドリルが強く食い込んでアングルと一緒に回転してバイスが手に跳ね返って、左手小指に当たり負傷する。	33	11301	6	10～ 29
2017	11	10～ 11	配達先において、1m×1mのパレットの上に紐でパレットと固定されていた約70cm四方の鉄製マンホール（四角型）を2t車の荷台からおろそうと、パレットごと持ち上げた際に、持ち上げたパレットが手前に傾いたことにより、マンホールの重量で縛っていた紐が切れ、滑り落ちたマンホールが左足つま先に落下し負傷したものである。重量物をパレットごと1人で持ち上げたことにより偏荷重となり荷物が落下した。安全靴を着用していたもののマンホールが縦向きに落下したことにより、衝撃により左母趾及び左第2趾を負傷した。	48	40301	4	50～ 99
2017	11	9～ 10	機材センターでトラックに積込作業をしている時、導水管が腰に当たり骨折した。	39	30199	4	10～ 29
2017	11	16～ 17	テニスコートでフェンス支柱取り替え作業中にフェンス支柱をダンプに積み上げる際、肩に強い痛みを感じ、その後作業を控えた。次の日の朝も痛みが引かない為に通院した。	50	30209	19	1～9

2017	11	14~ 15	<p>当社工場内で被災した。被災者は、定盤上（幅1525mm×長さ3050mm×高さ400mm）のステンレス板と、ステンレス製の枠を接着する作業を行っていた。接着剤を塗布後、接着面を固定する為、鉄製の重り（幅60mm×長さ840mm×高さ60mm×重量20kg）を枠の上に置き、左手を床について、余分な接着剤を右手に持った布で拭き取っていた。その際、重りが落下し左手人差し指の上に当たり負傷したものである。被災原因として、定盤の端で作業を行っていたことに加え、重りの載せ方がステンレス枠の上にきちんと載っていなかった事が考えられる。尚、被災者はゴム手袋を着用して作業を行っていた。</p>	42	30302	4	50~ 99
2017	11	13~ 14	<p>当社工場内において、資材等の整理整頓作業中、手袋を装着し長さ約1m重量約10kg~30kgのステンレスパイプ端材1本を両手で抱え所定の位置に移動させ床に置いたところ、該パイプと床面に左手を挟み、その際左手示し指、中指を負傷した。</p>	48	30203	7	10~ 29
2017	11	11~ 12	<p>第1塗装工場で塗りダスティング工程にて、車両のトランク内部のエアブロー作業を2名で実施していた。作業終了のタイミングで共同作業員へトランクを下ろして良い旨の掛け声合図を行い、共同作業員がトランクを下ろした際、トランクとボディの間に右手小指を挟んだ。外傷は無かったものの違和感を感じた為、後日病院を受診した。（16歳の時に複雑骨折によるボルト固定、17歳の時に伸びた筋を切断しワイヤーで繋ぐ手術を行っている。）</p>	20	11502	7	1000 ~ 9999
2017	11	17~ 18	<p>棚の整理をしていたところ、棚から長い水糸が垂れていた為、強く引っ張って取ろうとしたところ、棚に打ち込んで糸を結んであった3~4cm位の釘ごと外れ、手先に飛んで来た。咄嗟に右手で避けたところ、右手中指の腹を負傷した。仕事柄、こてが握れないので、数日労務不能となってしまった。（作業靴、キャップ着用）</p>	65	30209	4	10~ 29
			<p>クリーンルームの組立現場で、50キロの部品を2人で運んで、作業</p>				

2017	11	10~ 11	台の上に置いた。1工程を済ませ2工程を実施する時部品を90度回転させる必要があった。本来二人作業のところ、一人作業で回転させた結果、部品がバランスを崩し下段の台に100mm落下した。落下時とっさに手を出してしまい、台と部品で指を挟んだ。	47	11409	7	10~ 29
2017	11	21~ 22	事務所作業場にて鉄骨資材塗装中に、養生中の鉄骨を倒してしまい、指を挟んでしまった。	26	30199	7	1~9
2017	11	16~ 17	外壁改修に伴う仮設足場で外部足場解体を行う前に足場養生をしている壁つなぎ用鋼管パイプ1.5mを取り外し、地上にいる作業員に荷下ろしをしていた。地上より高さ2.7mあり届かないにも関わらず、残高1.2m~1.5mから落下させた。荷受け時に手を滑らせてしまい右足中指を負傷した。	32	30203	4	10~ 29
2017	11	15~ 16	工場にて、アルミ板を移動する際に誤ってアルミ板を落としてしまい、アルミ板の角が左足小指に当たり負傷した。	34	11209	4	10~ 29
2017	12	16~17	会社の工場の片付けをしている時、釘を踏んだ。皮膚科を受診したところイボと診断され、治療を受けたが悪化し、別の皮膚科に転院したところ、バイキンが入り腫ようができていと言われ手術をした。	19	30202	9	1~9
2017	12	14~15	駐車場脇に設置してある看板が強風で煽られているということで様子を見に行き、補強しようと押さえたところ、開閉式ガラス板の蝶番が外れ、足に落下し、右足を負傷した。	34	140309	4	10~ 29
2017	12	11~12	搬入口で、二人で屋根のつららを落とす作業をしているとき、もう一人の者がステンレスの棒を投げつけてつららを落とそうとし、その投げたステンレスの棒が、下を向いているときに上から前頭部にぶつかってしまった。	58	80209	4	50~ 99
2017	12	10~11	工場内の作業台で、金属製品を溶接作業中、製品を手前に回転させて移動する際、手がすべり、作業台から製品が落下し、避けようとしたが、左かかとにぶつかり負傷した。（製品は50cm四方で30kg程）	42	11209	4	1~9

2017	12	20~21	工場で、ガスキャビネットの組み立て作業中、点検口開口部の端面に触れ切創した。	22	11709	8	100 ~ 299
2017	12	13~14	当社派遣先工場内（構内請負事業場）において、搬送ライン上の製品（H鋼、高さ250mm×幅125mm×長さ4000mm、重さ120kg）が倒れたので製品を起こそうとしたところ、ラインから押し出されてきた製品と起こそうとした製品の間に左示指を挟まれ受傷した。	24	170101	7	1000 ~ 9999
2017	12	14~15	当社敷地内にて、保管していたH形鋼をクレーン車で移動する作業をしていた際、H形鋼を片付けようとしてH型鋼の隙間に手を入れたところ、押さえていたつかえ棒を誤って離してしまい、その反動でH型鋼に手を挟まれた。	44	10901	7	10~ 29
2017	12	12~13	第2工場の溶接作業場において、鉄板（400mm×1400mm×12mm、重さ35kg）のゆがみをバーナーで熱しハンマーで叩いて矯正していた際、落下防止の為のクレーンを使用しなかった為、鉄板が作業台から滑り落ち、左足甲に当たり負傷した事故である。	49	11301	4	10~ 29
2017	12	9~10	当社工場内にて、段取り作業中、プレス機にセットしてあったコンベアーを移動しようとコンベアーをのせていた台車を移動した時、コンベアーを安定させる為にのせてあった鉄の塊（重り）が台車から落ち、左足の甲に当たり負傷した（安全靴着用）。	32	11502	4	50~ 99
2017	12	11~12	当事業所リサイクル工場において、手袋をして家屋解体後の廃材を分別していた。マンホールの蓋を持ち上げたところ、手が滑り左足親指に落ちてけがをした。痛かったが安全靴を履いていたので大丈夫かと思い、夕方までがまんしたが痛みがひかず、医療機関にかかった。	39	10909	4	1~9
			鉄製手すり（フラットバー板厚約4mm、巾12mmで加工されたもの：大きさ・高さ約0.8m、長さ約3m、重さ約50kg、2枚）をフォーク				

2017	12	16~17	リフトで作業台の上に載せ仕上作業を行うため、1枚ずつずらしたところバランスが悪く、1枚が床に落ちたので作業台の脚に不安定な状態で立てかけたまま、もう1枚も落ちないように2名で押さえていたところ、立てかけてあった1枚が被災者の被災者の左足甲にあたり負傷した。	29	11204	5	50~ 99
2017	12	10~11	動物病院の廃棄物回収のため、トラックの荷台で荷物の積み込み作業をしていた。積み込みをした鉄のカゴがすべり落ち、鋭角部分が左大腿部を裂創させた。	33	30309	4	1~9
2017	12	10~11	当社工場内において、タイヤ切断機により切断時に発生した細いワイヤー（形状としては1mm、長さ1cm程）が衣服に付着していたのを払う為、業務終了後にその都度払っていたところ、3本のワイヤーが作業靴から入ってしまい、右足で踏んでしまったが、大したことはないと思い仕事を続けていた。年末休みに入り、休み明けに足に急激な痛みが発生し、救急にて病院に行き、ワイヤーが原因による入院となった。	71	150102	9	30~ 49
2017	12	16~17	鉄製の手すり（フラットバー板厚約4mm、巾12mmで加工されたもの。高さ約0.8m、長さ約3m、重さ約50kgを2枚）をフォークリフトで作業台の上に載せ、仕上げ作業を行うため1枚ずつずらしたところ、バランスが悪く、1枚が床に落ちた。落ちた板を作業台の脚に不安定な状態で立てかけたまま、もう1枚も落ちないように2名で押さえていたところ、立てかけてあった1枚が被災者の左足甲にあたり負傷した。	29	170101	5	10~ 29
2017	12	11~12	教育実習棟（旧病院棟）2階男性用トイレにおいて、用を足そうとした時、床の中央付近にある排水溝のフタに足をとられ転倒して、左足を強打した。	65	120109	2	500 ~ 999
2017	12	1~2	ロングレール交換を実施中に、レールに張力をかけて引っぱっていたところ、締結していた金具がはずれ、内側に移動し、作業していた本人の足に当たった。	45	30209	4	30~ 49

2017	12	9~10	工場の屋根工事の現場で、下請として足場の解体作業を行っていた時、被災者が地上で足場の受け取りをしていたが手を滑らせ、足場材が落下し足にぶつかり、負傷した。	28	30209	4	1~9
2017	12	7~8	布巾でレジ後ろのサッカー台の拭き掃除をしている際、勢いよく拭いていてサッカー台側面に右手薬指を強打し、第一・二関節を骨折した。	52	80201	3	100 ~ 299
2017	12	15~16	溶接作業をしていた所、作業から廃材のガス溶断を行った際に、よじれた廃材（36mm×150mm×120,000mm）がよじれた反動で跳ね上がり右足に接触し、骨折した。	47	11209	4	10~ 29
2017	12	14~15	会社の資材置場で単管パイプ等の資材を手作業で整理している時に足場が不安定だった左足側が崩れてしまい、左足関節後踝骨折となった。	44	11709	2	10~ 29
2017	12	22~23	厨房内にて皿洗いの業務をしているとき、足場付近に立てかけてあった鉄板に足をひっかけてしまい、そのまま転倒し、膝を強打した。	21	170101	2	500 ~ 999
2017	12	10~11	1階店舗部コンクリートスラブ上で、被災者は徒歩で移動し、電工（加害者）は奥にある高所作業車を中央部に移動しているときに、被災者は右肩にアルミ製（長さ1800）の脚立を抱え、電工は高所作業車を移動するのに邪魔なフォークリフトを動かした。駐機していたフォークリフトのバックレスト部にビティー杵が9枚立てかけてあり、固定されていなかったが、電工がツメで持ち上げた。ツメを下ろすときに杵6枚が前方に倒れ、「危ない」の声でしゃがみ込んだ被災者の右肩部に当たり、被災した。	22	30209	6	1~9
2017	12	15~16	トラックから供花をおろす作業中、トラック荷台の入り口のところに出ていた突起（ネジのようなもの）に右手人差し指を引っ掛けて切ってしまった。	20	11709	8	30~ 49
			会社資材置場で年末の片づけ作業中、左前輪がパンクしていたダンプカーのタイヤ交換作業をしていた。なかなかタイヤホイール				

2017	12	16~17	が外れないため、ホイールの穴に指をかけて外そうとしたところ、無理に力が掛かり右手小指を骨折したものである。	64	30209	19	1~9
2017	12	11~12	工場構内（1Fヤード）において、トラックの荷を下ろし、お客様が帰った後、鉄くずを手に持ち置場へ運んでいた際、置場を仕切っているH鋼（高さ30cm×長さ3m、重さ100kg）が足元へ倒れ、右足第二趾の付け根に当たり、受傷した。受傷当日は違和感があったが歩けたため受診しなかったが、後日痛みが発生したため受診したものである。	55	150102	5	10~29
2017	12	16~17	事業所の作業所にて、鉄筋棒他の片付け作業を行っていたところ、誤って右手中指の爪先部分に結束線（厚さ2~3mm）の先が刺さり負傷した。当初は小さなケガと思われたが、細菌等により化膿して痛くなった。	48	30209	8	1~9
2017	12	13~14	埠頭内にてトレーラーの荷台に積込作業中、建設機械部品（6.5m×1.2m×1.5m）を荷台におろした時に部品が倒れ、荷台横にあったガードレールと部品の上に挟まれ、右大腿骨・右脛骨・右腓骨を骨折した。	65	40301	5	10~29
2017	12	17~18	電気工事のバケット車が移動したので、その後ろを小走りで追いかけていた。被災者が通る道路に鉄板が敷いてあり、その上ですべって転倒して、右ひざを損傷した。夕方で暗く、鉄板に雪が積もっており、状況が分からなかった。	61	170201	2	10~29
2017	12	10~11	工場内に鉄製丸パイプを搬入する為、ラックに載せ、それをキャスター付台車に載せて手押しにて移動させていた。その台車の向きを変えるために台車を押した際に丸パイプがラック内で転がり、ラックの片側に寄ってしまったことでバランスが崩れ、ラックと丸パイプが台車より落下した。その際に右足がラックとパイプの下敷きとなり、右足腓骨・内果を打撲骨折したものである。	23	11209	4	30~49
			当社工場内に於いて、仮付け治具（当社専用品の為型式品番無				

2017	12	9~10	し、高さ床上から台上800mm、幅2100mm、奥行500mm) からクレーンで製品 (長さ1m60cm、重さ65kg) を取り出す際に、製品が斜めに傾いたので確認してみると、ピンが固定されていることに気づき、クレーンで元の位置に戻そうとしたところ、途中で製品が治具に引っ掛かり、はまらなかった為、手で製品の頭を持って振ったところ、製品は治具にはまったが、その際に治具と製品との間に右手の薬指 (手袋は装着していた) が挟まり受傷した。	38	11301	7	30~ 49
2017	12	14~15	加工課ベンダー工程にて、約700mm角の大きさの板金を4辺曲げる際に、2辺の曲げ終了後に、持ちかえた際にL型の鋭利な部分が手袋と作業服の隙間に当たってしまい、動脈1本と腱2本を切断してしまった。	39	11301	8	100 ~ 299
2017	12	9~10	工場内において、トラックの荷台へ鋼材を積み込み中に、薄い鋼材4枚を仮止めせずに、次の鋼材を積み込んだため、下の台木に足が触れ、薄い鋼材が倒れ、積み込み中の鋼材とトラックのアオリの間に右足を挟まれた。	52	40301	4	10~ 29
2017	12	16~17	本社工場1F野菜原料庫内で、他の社員と2人で排水柵を清掃するため、排水柵の上のパレットを持ち上げた際に、横に積み上げていた荷が崩れてきた。それを手で支えようと持ち上げていたパレットを放したため、足の上に落下し、受傷したものである。	51	10104	4	300 ~ 499
2017	12	11~12	工場内にて、リーチリフト (1.5t) を使いプレス機にコイル (直径1m、重さ320kg) をセットしようとしていた際、コイルの向きが逆だったため、向きを変えようとリーチリフトの爪にフックで掛けた状態のコイルを人力で動かしたところ、フックが爪から外れ、コイルが手前に転倒し、その際にコイルが右足に当たり負傷した。	54	11203	4	30~ 49
2017	12	11~12	2tトラックの荷台に積んであった軽量材 (L5.0m) を、被災者が荷台に乗り、1人で手作業にて荷下ろしをしていた際、体勢を崩して荷台から地面に墜落し、同時に荷台の軽量材3束が被災者側に落下	43	30201	4	1~9

			して被災者に当たり、左方と左胸部を負傷した（左鎖骨・左肋骨骨折）。				
2017	12	15~16	工場内でH鋼製品（H200×100、1m）を作業台上で治具を用いて反転作業中、通常は自分側から奥側に3回で反転させるところ、手前に1回で反転させようとした。製品が作業台から落下し、右足人差し指に接触し負傷した。	24	11209	4	10~ 29
2017	12	10~11	取引先工場内にて、スクラップの引き取りの際、鉄箱の上に置いてある鉄板が邪魔で避けるときに、右手小指を鉄板と鉄箱の間に挟み骨折した。	63	150103	7	10~ 29
2017	12	2~3	荷卸しするためホームに接車して、鉄板を下ろそうとしてラッシングベルトを外したとき、フックも外れ、鉄板が右足の甲に落下した。	40	40301	4	30~ 49
2017	12	10~11	バックヤード通路にて、デジタルサイネージ回収作業でTVをダンボールへ入れるため高さを調整中、上の鉄板を支えながらネジを外していたとき、両サイドのネジがゆるみ、右腕を鉄板に挟まれ、右腕を打撲した。	45	170209	7	100 ~ 299
2017	12	6~7	ガレージにある1巻25kgの番線を、ガレージの前に停めていた車に積もうとしたとき、バランスを崩して番線を落とした。足に当たりそうになったため、それをかわそうとした時に、停めていた車に小指を強打した。	18	30209	4	1~9
2017	12	11~12	得意先の構内で荷物の積み込み途中（パイプ、一束が10本結束）、1段目と3段目を胴巻き（ラッシングベルト）で固定しようと、荷台の横にいたとき、突然3段目のパイプが頭上に落下し、ヘルメットが割れ、そのあと右足に落下して骨折した。	49	40301	4	50~ 99
2017	12	18~19	営業所構内において、荷台のパイプを積み直す作業中に手を滑らせ、パイプと荷台の間に左手人差し指を挟み負傷した。	44	40301	7	30~ 49
			構内立施盤の前にて、リング形状の鉄の素材を寝かすため、素材				

2017	12	15~16	を立てた状態で一旦仮置きした。周囲のスペースを確保するために素材と反対側に向った直後、立て置きした素材がバランスの悪い形状であり、被災者の右側より素材が突然倒れ、被災者の右膝付近に当たり、後向きで尻もちついて倒れたあと、素材に右踵を挟まれて骨折した。	52	11301	5	1~9
2017	12	10~11	倉庫にて冬用タイヤに交換しているときに、エアーコンプレッサー（機械）のセルモーターが故障し、手動にてエンジンを掛けている際、手回しの鉄のハンドルが跳ね返り、顔面に当たり怪我をした。	51	40301	4	1~9
2017	12	14~15	車両の荷台室内にて、保安基準の仕切りパイプを取り付け中、鉄パイプがはね返り、右手の平に当たり、反動がきつく右腕が後にもっていかれ、右肩の関節に激痛がはしった。病院でMRIを撮ったところ、右肩関節の筋肉（すじ）が切れていた。	70	11701	6	1~9
2017	12	9~10	営業所作業倉庫内で、当社商品の水圧シリンダーの積み上げ作業中、シリンダーのジョイント部と本体に左手中指の指先を挟み骨折した。	50	80209	7	1~9
2017	12	8~9	金型補修場に金型（約150kg）を運搬台車に乗せて移動中、台車の車輪が引っ掛かり、台車から金型が滑り落ちた。その際、右足の上に金型が落ちて足首から甲にかけて被災した。	38	11502	4	100 ~ 299
2017	12	13~14	鉄骨を積み込み中、リン木を片手に持ち、トラック荷台に積んでいた2段目の鉄骨の梁（約7m×40cm×20cm、350kg）に手を掛けて登ろうとした際、梁が手前に傾きバランスを崩し、足場になっていたトラックあおりに落下し、そのあと地面に左半身から落下した。更にそのあと、梁が一旦トラックのあおりに当たって、本人の右腰に落下してきた。	32	40302	1	50~ 99
2017	12	10~11	整備工場内で、トレーラーの下にもぐり、部品を交換する作業をしていた。交換する部分のボルトを外していたとき、不安定となったボルトが倒れてきて鼻に当たった。	40	11701	4	10~ 29

2017	12	16~17	在庫用資材の荷受けと立ち会いのために行った当社倉庫にて、協力会社従業員が、フォークリフトで資材（鉄製棒、約6m×14kg）をトラックから降ろす作業を行っていたところ、資材を移動中に資材が荷台からずれ落ち、足に当たって負傷した。	27	80209	5	10~ 29
2017	12	14~15	ガソリンスタンド建設中の建築現場で、鋼管杭打ち作業中、杭打ち後に高止まりし、地上に出ていた杭を切断後、吊り上げて横倒しするためにワイヤーを掛ける作業をしているときに、切断して自立していた杭が、完全に縁が切れていたため、鋼管杭が傾き、玉掛け作業をしていた被災者の方に倒れてきて、被災者が杭の下敷きになった。	48	30201	5	1~9
2017	12	8~9	被災者は普段、NCを使って鉄板を切断する作業に従事している。被災時には鉄板の片づけを行っており、鉄板を運搬中に何かに当たってしまい、立て掛けていた鉄板が崩れて下敷きになった。	29	11209	6	10~ 29
2017	12	16~17	ユニット内にて棚の整理作業中、画鋲が落ちたのに気づかず左足で踏み、痛さでとび上がり、右足に負担がかかり、膝を痛めた。	67	130201	19	50~ 99
2017	12	10~11	会社内にて、自身の持ち場のシャーリングで鉄を切ったとき、右第2・第3指を鉄と機械に挟まれた。	51	80109	7	10~ 29
2017	12	9~10	倉庫で大型車両から荷物を降ろすため、倉庫側と荷台をつなぐ鉄板をかける際に、鉄板の下に手を置いたまま鉄板を下ろしたため、左手中指を挟み負傷した。	47	40301	7	10~ 29
2017	12	15~16	当事業所工場内において、製造後のダクト（1800mm×1000mm×600mm、重さ約6kg）を同僚と工場内を移動させて地面に降ろしていた際、同僚との息が合わずバランスを崩してしまい、ダクトと地面に右手小指を挟み、骨折負傷したものである。	44	30309	7	10~ 29
2017	12	14~15	当社工場内で、鉄骨の仕口を組み立てる作業中に、ホイストで仕口を吊り上げ、反転させて下ろしたとき、仕口が左右対称でなかったため、バランスが崩れて自分の方へ倒れてきた。その際に	62	11209	5	10~ 29

			避けきれず、左足の脹脛に当たり、負傷してしまった。				
2017	12	9~10	新築工事現場において、2tトラック荷台側面より耐水石膏ボード（900×1,800）を降ろし、運ぼうとして進行方向へ向いたところ、一緒に並んでいた耐水石膏ボードが足元に滑り落ち、右足膝下部分に当たり、骨折負傷をした。	65	30202	5	10~ 29
2017	12	8~9	本人は、本社工場内でトラック荷台に工具類を積み込み中に、工場内北西側に積み置きしていた鋼製パイプ（長さ4m・重量約30kg/本×20本）に歯止めで緩衝した際、パイプが荷崩れを起こして落下し、右足甲に当たり受傷した。	30	11702	5	30~ 49
2017	12	15~16	工場敷地内にて錆止め作業中に、H鋼（1m位）の向きを変更しようとした際、片側にいた人が、金物が邪魔なため、少し押したときにH鋼がずれて、本人が持っていた方が台に落ち、鉄鋼と台の間に挟まり、裂傷・骨折を負った。	24	30201	7	10~ 29
2017	12	11~12	工場内の溶接作業場で、自立する金属製鉄板部材（長さ5m×高さ50cm位）の溶接作業に従事していた。通常は、金属製鉄板部材の製品につっぱり棒を入れるか、寝かせて作業をするが、当日はそれをせず、製品を立てて作業をしていたところ、溶接で歪みが入り、動いたはずみに左足甲の上に倒れ、左足甲に打撲・骨折の怪我を負った。	56	11501	5	10~ 29
2017	12	13~14	自社土場にて資材の整理整頓中、1m~4mの単管パイプ資材の受け渡し中に、声の掛け合いが不十分で受け損ね、資材が左手に当たり負傷した。	27	30209	4	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html